英國議會解散

【倫敦十六日發電】英國議會は十六日を以て解散となつた、國王陛下は開院式の勅語を下賜された、同十六日官報を以て一月八日新議會を開會する旨の勅諚が發布された

大東京都市計畫

復興院建築局長報告

【東京電報】十六日の帝都復興院評議會特別委員會に於て佐野建築局長は大要左の如き都市計畫を報告した

一、住居地域　上野飛鳥山
一、商業地域　京橋日本橋の兩側高臺一帶神田の全部下谷、淺草、芝の一部
一、工業地域　本所深川荒川放水路附近及隅田川上流赤羽志村附近一帶
一、混合地域　月島、芝浦隅田川下流本所深川の一部日暮里、金杉附近

等であつて之等に對しては變更の必要を認めないが只魚市場の豫定位置たる水交社附近の住宅地を商業地域に又芝浦の埋立地及新設豫定の道路の沿線も商業地域と指定したいと考へてゐる

震災區域

租税減免調査

【東京電報】震災區域に於ける地租及相續税に就いても減免する必要ありとし目下大藏省主税局で研究中であるから兩三日中に確定決定の運びに至るべき同省では明治四十四年の濃尾地震の際適用した地租特別取扱規則を參考として立案中であつて田畑税に就いては凡そ五ケ年位を低下年期を採用し所得税營業税等の減額を得る爲め減免租の範圍は相當廣くする必要があらうと云ふ然して右法案は通常議會に提出する筈である

復興計畫は別物

從來の行掛りや政黨關係と　政府某大官語る

【東京支局特電】來るべき臨時議會に於て復興計畫が問題となり政府は困難の立場に陷るであらうと想像するのは少しく早計であると思ふ、帝都の復興は一面地方負擔を增加せしむる如くに考へらるゝが此の點は政府に於ても充分に考慮し計畫の豫算も決して莫大なるものではない殊に我國の文化の中心である帝都を恢復發達せしむることの必要は云ふまでもないが唯議論の餘地ありとすればそれは豫算の如何にあるが政府の豫算に就ては多少の修正は免れぬとしても復興計畫の根本を破壞する迄に修正するものとは思はれぬ震災後各國の同情は我國に集まり復興の計畫は各國の注目するところであるが帝都復興の實を擧國一致で行ふことは一種の國際的義務でもある從來の行き掛りや政黨的關係は復興計畫其ものに對しては何等影響を及ぼすものでない

內相が上院操縱

に當るらしい

【東京電報】後藤內相は十六日夜上院研究會の水野、青木、黑田、小笠原等の數氏を麻布櫻田町の私邸に招待し晩餐會を開き其席上では何等政治的問題に觸れなかつたが只帝都復興院の基礎計畫と帝都復興地圖を示し說明を與へたに過ぎなかつたが之れを以て山本內閣の貴族院操縱掛りは後藤內相之れに當る可く當夜は特に研究會操縱の瀨踏みと見られてゐる

在阪鮮人戶口調査

大阪內鮮協和會の活動

【大阪電報】過日丸山警務局長が來阪して內鮮人融合の爲に講演したのを機會に大阪府社會課內に內鮮協和會を設置して融合に努める事になつたが同課內にある職業紹介所では過般朝鮮人の係員をして今宮方面に居住せる朝鮮人千名にカードを配付して其生活狀態其他の調査に着手した結果既に其中二百枚は出來上つた其二百枚のカードに依ると二百名中一戶を構へて居るのは僅十四名で其他は間借三名下宿百八十三名であつた下宿料は一日五十錢で住込みは內四名他は悉く其日〳〵稼々と下宿を代へてゐるのである家族を有する者十七で他は全部獨身にて職業は職工百二十八土方人夫三十無職二十人で出生地は此の方面のは濟州島が一番多く百四十二名全羅南道二十八名慶尙道十三名で內鮮里へ送金して居るのは五十六名であると

同會では近く職部在住朝鮮人の調査に着手する筈である

岡山縣多額納税議員補選

【岡山電報】星島謹一郎氏の補缺多額納税議員選擧は十七日岡山縣廳で執行されたが勝手保太郎氏が大多數で當選した

明春でないと周航てきぬ

答禮艦に擬せらるゝ木曾艦

今次の大震災に付き世界各國から甚大なる同情を寄せられたに對し近く國際的儀禮として答禮使を派遣する事となるので之等一行の乘艦として吳所屬軍艦木曾が世界周航の途に就くべく臨時議會終了と共に發表される事は既報の通りであるが之に關し軍艦木曾艦長井上中佐は語る、そんな風說はあるが未だ正式に命令は受けては居ない既に第二豫備艦に編入され海軍の修理をせねばならぬから假令命令があつても明春でないと出動されない、只儀禮として司令官以下艦僚の日程の準備はあつても國內が狹いので迚も乘組員以外の大人數では長途の航海は出來ないからどうとも確答出來ぬ（舞鶴電報）

池上大阪市長

愈々辭表提出

【大阪電報】豫て引退說を傳へられた池上大阪市長は愈々十七日大阪府を經て內務大臣宛正式に辭表を提出した後任市長としては元第一助役法學博士關一氏の呼聲が高い

支那側不景氣

【安東電報】最近支那側木商中に於て倒產する者續々と現れ其數既に二十餘戶以上に達して居るが之れが主なる原因は昨年來打ち續く不況と今夏の水害に依つて著しく木材を流失せしめ且唯一の地盤たる北滿方面に於ける財界の不振に伴ふ賣掛け代金の回收不能に依るものであるが尙一面作蠶絲商並に輸入雜貨商に於ても目下市況の不振に依り困難に陷り既に四五軒の倒產者を見つゝあると

朝鮮の實行豫算は變らぬ

歲入の減少は別途補充金で補ふ　各新領土の實行豫算決定

【東京電報】各新領土の大正十二年度實行豫算は過般來各新領土當局と大藏省との間にそれ〴〵交涉中であつたが問題は公債打切り若くは減額に依つて決定せらるゝ事となつてゐるので案外容易に諒解なりたる結果關東州に於ては閣議の決定通り公債全部八十萬圓打切りを自發的に申出で樺太は四百萬圓を百萬圓減額して三百萬圓に妥協なり臺灣も又二百六十五萬圓と決定朝鮮だけは公債總額二千萬圓を一千萬圓の減額に多少難色あり特に有吉政務總監は全額承認に就き山本首相樺山翰長大藏當局と交涉の結果大體全額承認を與へられた模樣であるから結局各新領土の實行豫算は朝鮮一億四千五百餘萬圓臺灣九千七百餘萬圓樺太六百餘萬圓となつたが只關東州だけは公債全部を打切つたが事業の性質上中絕を許さぬので特に本年度に於ては國庫補充金を公債額だけ補塡する事としたので豫算額に於ては何等增減なく只問題の生活必需品關税免除の結果朝鮮臺灣等の歲入減に對しては特に本年に限り大藏省に於て其減收額に相當するだけは別途補充金を交付する事になつてゐる由である尙南洋は補充金だけで公債事業がないから實行豫算は本年度豫算と何等變らぬ

朝鮮金融問題陳情

商議上京委員各方面の諒解を求む

【東京電報】朝鮮金融問題に關し中央の諒解を得て之れが救濟を計らん爲め全鮮商業會議所聯合會より上京委員たる京城商業會議所會頭渡邊定一郎、平壤商業會議所會頭福島莊平、釜山商業會議所會頭香椎源太郎の三氏は十六、七の兩日に亙り文部、大藏、日銀、殖銀、拓殖の各方面並に鮮銀支店、東拓等を歷訪し各方面の諒解を得る所があつた陳情の要項は左の如くである

一、朝鮮財政に對する國庫補助金並に事業公債は此の際特に削減又は打切り等を爲さざる事
二、鮮銀及殖產銀行に對し金融上の便宜を圖られたき事
三、東拓に對し貸出上積極的の態度を採られたき事
四、鮮內主要幹線道路の完成を圖られたき事

陳情委員東京出發

【東京電報】金融陳情の爲め上京中の商業會議所聯合會上京委員渡邊定一郎、福島莊平、香椎源太郎の三氏一行は十七日東京出發大阪に立寄り歸途につく由

東京コール（東京電報）

十七日東京コール左の如し
翌日物一錢五厘—一錢七厘（保合）無條件一錢七厘—一錢八厘（保合）普通一錢八厘—一錢九厘（保合）月越物二錢—二錢三厘（保合）

大阪コール（大阪電報）

十七日のコール左の如し
翌日物一錢一、二、三厘、無條件一錢三四厘月越及三十日物一錢八厘乃至二錢一厘、六十日物二錢乃至二錢四厘

電柱課税低率

京城府內に於ける街路其他に建てられた電柱に對しては一ケ年一圓の課税をしてゐるが之を內地各都市に比較すると頗る低率で內地に於ては最高十圓最低四圓位である而して京城府內に於ける電柱の數は大正三年府制施行當時は二千五百四十九本であつたものが漸次電燈の需要者激增して目下七千四百六十本に達して約三倍の增加を示してゐる

京鐵局の更正豫算

收入減一百萬圓の捻出が問題　釜山奉天直通一往復廢止意向

大震災に依る京鐵局明年の豫算は事業費の大削減や營業收入減で目下更正豫算の作成に着手したが此等の原因で震災前の豫算編成に依る營業收入は十二年度豫算に比し二百二十萬圓の增收を示して居た所事業費削減で咸鏡建設工事に大影響し十三年度內に開通すべき約八十哩の新線が開通期が遲れるので新線より收入なく其他に伴ふ局用品一般貨客の收入減は大約百萬圓見積られて居る由で豫算更正に際して此百萬圓を如何に捻出するかに就ては唯經費の節減の一途あるのみであつて目下起てられたる案の主なる者は列車の運轉數を整理すると云ふ方針らしい。其內容に就ては尙秘密に附せられてあるが聞く所に依ると比較的同時間に運轉して居る列車を廢止する計畫で現在奉天、釜山間の直通特急列車一往復を取り止めとして其代り京城、釜山間特急七八兩列車を安東まで延長する計畫があり直通特急列車を廢止すれば約七八十萬圓（安東以北奉天までの經費は本社支辨）の經費節減が出來其代り七八特急列車を安東まで延長する經費を控除して四十萬圓の節減となり京城驛の一ケ年改工期延期に依つて五十萬圓を捻出し其他各方面の經費を約一割見當に削減したなら何とか方法が附くだらうとの意見である

然るに此直通特急列車は國際的に今年七月運轉を開始したものでこれは滿鐵及滿洲線との關係もあり三線の協定を經た上でないと決定しない譯であるが當局としては成る可く左樣したい意向らしい。

感化院の開始

元山松田灣は理想の地　矢島社會課長語る

朝鮮感化院の其後の狀態に付矢島社會課長は左の如く語る

朝鮮の感化院は世間周知の如く遲れて居たので此際之を設けしむるに至つたのであるが何分朝鮮に於ける最初の試みであるし旁々以て懸念してゐた所が最近となつて漸く設備も整ひ愈開院し得る事となつたので來る本月の廿五日頃から開院したいと思つてゐる收容者は當初大分多人數の如く云はれたが今の見當では先づ合計三十餘名であらうと思ふ場所としては御承知の如く元山の松田灣であるから是亦理想の地と云はねばならぬが先づ當分は此の一ケ所に止めて置き今の所別に增設する樣な計畫も何も持つてゐないのである然し勿論追々は收容人員も增加すると思ふが兎に角これが最初の試みであるだけに果して理想通り進むや否やは不明であるが出來得るだけは理想のものとしたいと思つて居るし向は漸次改善も行つて行きたい云々

朝鮮機業狀況（二）

其の現在及び將來

朝鮮機業存立の根據は、織物中に工場生產に適するものと、家庭生產に適するものとの區別あること、換言すれば一は機械製織を可とし他は手織製織を便とするの差異ある處に存する。目下朝鮮輸移入織物の大宗たる大巾無地金巾の如きは、到底織機によりて生產すべからざるも、小巾物、色物、紋織物の如きは色により、紋織により、數度製織を中止し變改せざるべからざるを以て、連續作業により能率を保持すべき機械製織工場の生產には不適當である。大正十一年中輸移入綿布に於て大巾は三千餘萬圓小巾二百餘萬圓である。若し大巾小巾を論ぜず工場生產機械織物が有利なりとせば、大部小巾なる朝鮮綿布は疾に輸移入小巾綿布の爲に驅逐せられたりしならんも、事茲に至らずして輸移入小巾綿布が增加せざるは、以て小巾物が大巾物程工場生產に適せざるを察することができる。朝鮮在來の小巾綿布は實綿を原料とし、而して地質頑厚にして防寒に適し、綿布に於ても機械製織に在りては綿糸は甚だしく緊張せられて織込まるを以て、布味稍硬く手織製織にありては綿糸緊張せられざるを以て、布味軟かなる長所ある等或る種の織物は手織を可とするの事實は、既に機業存立の餘地を與ふるものである。

尙他に朝鮮に於て機業存在の根據とすべきは、鮮內山嶽重疊交通不便なるを以て、其奧地市場に於ては輸移入品は運賃嵩み、且數次仲介商の手を經る等の爲め價格騰貴を免れず、之に反し地方生產品は自產原料を用ひ家內遊手により製織せらるゝを以て、現地市場に於ては往々輸移入品に對抗して有利なるの事情あり、これ實に其地方に於て機業の衰へざる理由としなければならぬ

朝鮮棉作と紡織（下）

尙ほ一層の改善を要す

地木綿の粗製品であることは機械の不完全にもよるが根本原因は手紡織が不合理なるに基く。世界の地木綿中最優秀なものは英領印度のダッカ綿布である。カルカッタ市の北方ダッカ地方から產したもので今は生產せず各國の博物館に世界の珍品として保存されるのみである。この原料が綿からで研究して見ると、綿は百番手內外であり製品は薄くして輕くレースの代用に用ひられ英國に輸出されたといふ、英國マンチエスターの綿業が、到底斯る細い糸は紡ぎ得ないので夫れ以上であつたといふ古い記事さへ見える、現在印度織物から到底ダッカ綿布の原料であらうと推定を下して來た次第であるが、夫れにしても技術の優秀には驚かざるを得ない。印度の或る王女が極めの式服にダッカ綿布を窓飾りに用ひて居た處、脚が透いて見えるので恋人がアット驚いたといふ物語りさへある。尤も之れは玉藻が小々熟すぎた爲めかも知れない。

之れに比べると、朝鮮地木綿は同日の論でない。これは原料にもよらうが嗜好や機にもよるが、最大原因は原始的な手紡糸を用ふるに依る。近年內地式のバッタン機又は足踏織機が移入されてゐるが依然たりである。木浦棉作支場で、漸次進步はして來たが織布は名古屋高等工業學校に試驗を依賴した處に依ると、朝鮮陸地棉で立派に四十二番手がひけるのである然るに四十二番手がひける棉花を用ひて十番手をひき出來へせぬ地木綿を織つてるのが朝鮮の現況である。

然らば之を將來どうしたらいゝものであらうか、第一に助長發達せしむべきものであらうか、自然の推移に委すべきものであらうかそれとも根絕せしむべきものであらうかの意見をきめねばならぬ。方針がきまらねば獎勵策が樹たぬ。機業が農家經濟の安定を圖る上に缺く可からざるものであり、機業が農家殊に婦女子の冬期副業として最適のものの一つである以上は之を適當に指導し發達せしむるの方法としては最良な方法である。

然しながら之れは朝鮮に棉花を生產するや否やとに拘らず正しき論であるが、現在、朝鮮に棉花が繰綿四千萬斤も生產されるとなると問題は稍複雜になつて來る。之れは紡織を獎勵すれば朝鮮產棉花の地元消費が大部分に增加し取も直さず棉花輸移出高を減ずることゝなるからである。之れを技術眼より見るとき朝鮮產棉花を今日の地木綿用として消費することは誠に惜しい限りであるが然し地木綿生產者自身から見たらどうしたものであらう、生產棉は其まゝ賣り放ち、地木綿用として內地紡績絲を求め機織したが有利である。もの か、又は生產棉から手紡した絲を用ひて機織した方が利益があるであらうか、本年の如く朝鮮に於ける棉花の相場が高く、內地紡績絲が安く綿布も從つて安い年には實棉のまゝ放置することが、棉花栽培者殊に地木綿製織者にとつて一番いゝ策である。朝鮮に於ける棉花の相場は主として米國の相場に支配せられて上下し內地紡績綿絲の相場は又米國の相場に依つて上下するので、兩者の關係は連鎖し離れないものがある。

又一方內地紡績綿を用ひて織上げた品質のいゝ改良地木綿が、夫れ丈け高價に買はれ得るものなりやも疑問である。

朝鮮だけに孤立して考へると何人と雖も恐らく裁斷し難き問題となるであらう。次に少しく朝鮮を離れて地木綿の將來なるものを考へて見よう、生產方面に於ける機械工業の發達、需要方面に於ける文化的發達、嗜好の向上等を仔細に考へて來ると、地木綿の將來は何となく影がうすい樣な感がある。實際は印度にもある日本にもある地木綿は精巧なる工場生產品、大量生產による廉價なる工場生產品の爲に驅逐し去られたのである。朝鮮に於ける地木綿も同じ運命をたどるものではあるまいか若しそうとすれば積極的に其生產改良を獎勵するは如何のものであらう、地木綿生產者の利益增進の爲種々の施設をなすは眼前の急務であらうが、夫れも技術上の向上機械の改良位の程度に止め、飽く迄機業の地位に止めて改善を圖るのが最全の策であらう（完）

十月輸移出入小包

十月中京城郵便局取扱ひに係る輸移出及び輸移入小包郵便物數並に保有品價格總額は左の如し

一、輸移出小包郵便物數、三千五百三十二個
一、同保有品價格十萬九千三百七十六圓四十八錢
一、輸移入小包郵便物數、三萬一千百三十三個
一、同保有品價格百二十二萬八千四百八圓二十二錢

濟州島電信不通

全羅南道順天濟州間海底電線障碍の爲め濟州島各地宛電報は當分の間通信の途なく木浦から郵便に依ると

公會私會

◇報德會幹事講演　京都桃山報德會幹事志方樂天氏は滿洲各地の講演を終り十六日朝入城十七日午前貞洞第一高女にて午後一時より新町遊廓組合にて講演をなしたが十九日朝第二高女その他にて講演し全鮮主要都市を巡講しつゝ南行の筈

珍しい現象

北鮮沿岸一帶に

季節外れの魚族が獲れる　震災の影響ではないか？

元山水產株式會社專務　若中半六氏語る

【元山】本年晚春の頃から現在にかけて元山を中心とする北鮮一帶沿岸の漁業上珍しく且面白い現象あり、一般に不漁の上に更に時節外れの魚族の漁獲あり現に最近從來此の沿岸では獲れた事のない七ツ星大羽鰯が盛に獲れた如き其一例で、漁夫仲間に於ても不思議がられ、或は關東地方大震災の影響を受けた潮流の關係に依るものではあるまいかなど噂されてゐるが右に付いて元山水產株式會社專務若中半六氏は

『關東地方の大震災の影響を受けたのであるか否かは疑問であるが、此の珍現象が全く潮流の關係であるは確實な事實である、即ち北鮮沿岸一帶の潮流は常態に於ては四月上旬から六、七、八月頃迄暖流が流入し九月初旬頃から十二月中旬にかけて漸退し代つて寒流の流入を見るのが例になつて居る、而して此の暖流の流入する場合は、凡て暖流魚族即ち鯛、鰆、鯖、鰤等が之に乘つて來る、若し其の暖流が幅廣く來ても層が薄かつた場合は中層魚族が少く上層を泳ぐ魚の多いのが普通である。而して本年の暖流の流入は薄くして廣く來たのでは無いかと想像さるゝ節が多い即ち普通例年五月下旬から六月上旬にかけて元山沖合三十尋線位迄では暖流となり寒流魚は獲れ無いのに本年は一箇月を遲れた七月上旬に於いて尙且つ鱈、明太魚、鰊等の寒流魚族の獲れる事多かつたと言ふ珍現象を見た。更らに尙ほ藏內浦に於いて十尋位の處に於て暖流魚に交つて少數ではあるが寒流魚が獲れた事等があるこれに見ても暖流層が廣くはあるが層が極めて薄かつたと云ふ事は證明し得らるゝと思ふ、此事は推測して本年初冬に於ける中層魚族の漁獲は定めし不漁であらうとは既に盛夏の頃から想像して居た處であつたが果せる哉時期に入つても中層魚族即ち鯖、鰤等は近年稀に見る不漁である。之れに反して從來此の近海に見なかつた七ツ星大羽鰯の來游が極めて多かつた、元來此の魚は內地日本海北岸に游泳して居る魚族であるが前述の薄くして廣い暖流に乘つて來たのであらうと想像する外はない、何故ならば若し層が厚かつたならば中層魚族たる鯖や鰤等も共に來て居らねばならぬ筈であるが之を見ないからである、而して一方に於いて本年は寒流の流入が又意外に早かつた爲め之れと衝突遮斷されて稍々上層に浮び爲めに稀有の鰯の大漁を見たのである、故に現在に於いては寒流魚も亦極めて豐富に來て居るべき筈であるが其の分布が極めて廣いので本年冬期に於ける初漁期の寒流魚族の漁獲は不漁であると見るを至當とし寧ろ晚漁期に於いて相當の漁獲を得らるゝものと見るべく特に北鮮の特產たる明太魚漁の如きも此の轍を脫し得まいと思はれる而して此の狀態が何時まで續くかは勿論不明であるが遲くも明年乃至明後年に於ては暖流の反動的大流入を見て本年の不漁を取り返して尙ほ剩りある豐漁のあるものと想像し信じて居る』

ヨシアシ

◇關田博士曰く五圓の帽子を失くして其代りに四圓五十錢の帽子を買つたとすると結局其損失は四圓五十錢だと、正にその通りである。
◇日米支三國間にもつれてゐる無電問題は更に佛國が割込んできた、線がなくてこんがらがるのだからチト手數がかゝる。
◇京城府內の電柱税は內地に比して頗る低率であるのである新府協議會員の牢記すべきものゝその一つである。
◇正義人道を高唱する米國では東洋人排斥法案を提出するに決定したと云ふ話がある。何がなにやら。
◇第二藩府會評議員の選擧が問題へ出した、第一藩府會議での決定事項の實行を先づ以てしてからのことだ
◇非政友派の合同は昨今一段と具體化したやうだ、問題は果して第三維新の實を擧ぐるかどうか。

甘粕の公判

三面より續く

甘粕は、それでは其の點はお聞きにならん方が良いと思ふ」と答へ……

貯金デー

活動寫眞で宣傳

演藝案內

大正館　松竹特約　每日晝夜　十三日より三大名畫封切　▲ゴールドウヰン社　▲ニコニコ劇「日曜學校」全二卷　▲ゴールドウヰン映畫　正劇 酒の世の中 全五卷　▲メトロ會社提供　人情劇 大馬鹿者 全六卷　▲ミルトンシルス演　松竹キネマ特作現代映畫　血の叫び 全五卷

喜樂館　本町二丁目　電話五九七番　十三日より秋季特選名畫大會　奇劇 吃の又平 六卷　グル 第二回四卷　連續 ホワイトイー

黃金館　松竹キネマ直營　每日晝夜　人情劇 荒濱と戰ふ男 全六卷　大活劇 英雄キッド 全三十卷四卷公開　三人妻 七卷

中央館　マキノ映畫　每日晝夜　現代映畫 刹刀 全五卷　大悲劇 老僧の戀 全五卷　運續冒險 大魔王 四卷

浪花館　明治町　電話二六〇　大久保彥左衞門　現代雲右衞門一行

開盛座　龍山　十一月十二日より開演　白鳥會一行

保險金領收廣告

一金壹千圓也
右は東京動產火災保險株式會社と契約中の處今般罹災致し賠償金京城代理店の手を經て正に受領仕り候依て同會社の確實なることを證明す
大正十二年十一月十七日　京城本町四ノ十三　契約者　岸下友幸

保險金領收廣告

一金壹千圓也
右は東京動產火災保險株式會社と契約中の處今般罹災致し賠償金京城代理店の手を經て正に受領仕り候依て同會社の確實なることを證明す
大正十二年十一月十七日　京城本町二丁目三番地　契約者　增田房吉

保險金領收廣告

一金壹千三百圓也
右は東京動產火災保險株式會社と契約中の處今般罹災致し賠償金京城代理店の手を經て正に受領仕り候依て同會社の確實なることを證明す
大正十二年十一月十七日　京城櫻井町一ノ一三二番地　契約者　秋山右三郎

保險金領收廣告

一金壹千五百圓也
右は東京動產火災保險株式會社と契約中の處今般罹災致し賠償金京城代理店の手を經て正に受領仕り候依て同會社の確實なることを證明す
大正十二年十一月十七日　京城本町四丁目十三番地　契約者　長谷川幸數

小笠原流　結納のし　種品揃　定價表送呈　京城府櫻井町二丁目一七三　壽松堂（花園町公設市場南）

ね小便とてんかん病　小便近き人實驗全治の良藥を申込有　兵庫縣スマ局區內　專門藥舖

ぜんそく　せきずい病　骨まく炎の人　日輪寺

色白くなる　きんたまの

京日案內

金融　株券　電話　公債　買入　觀相　果樹　下宿

假設詮衡委員會（三）
―安東地方委員候補者―

河合芳太郎君
甲委員　緻密な頭腦と明敏の觀察は有して居られるが相當識見が缺る場合がある樣です
丙委員　同君は正義觀念者の一人であると信じます本委員は同君をして、しかく意思の薄弱な人とは思いません
乙委員　同君は一面に於て温和な態度の所有者でありますが聊か責任觀念が薄いかの樣に見受けます
議長　三君の意見は綜合して適任と認めます、次は

田中猷藏君
丁委員　名の如く猷々主義ではありますまいか
丙委員　始終猷々は聊か困ります
ね然し鹿を逐ふの野心ある以上相當の識見と自信は持つて居られることゝ信じます
甲委員　同君は自己の既往者であります宜しく徹底を望みます
議長　皆さんの御意見は採決に困りますから暫く保留と致します次は

秋山幸雄君
甲委員　實業に於て如何かと思ひますが相當識見の所有者で適任と思ひます
乙委員　實業の點に就き目下達大の計畫を樹て全力を傾注して居らるゝので出馬されないと思ひます
議長　然らば立候補しないものと斷定します、次は

三上大作君
丁委員　同君の出場は突然消滅の觀があります
乙委員　其識見と手腕は既に定評あり好適任者と認めます
丙委員　適任と認めます
議長　贊成意見と思ひますから當選圏内の人と認めます、次は

式村茂君
甲委員　元老の一人で論議始終公正であります前年來隠退して居られます然して鹿を逐ふ意志があるか疑問です
乙委員　府民會の現狀は動もすれば情實に流れ又は一部權威者の壟斷に任する傾向があります、之れ偏に元老株が率先に默過して些の忠言を與へず其職權に任する結果であります換言すれば市政に忠ならざる罪とも謂へませうか、
丁委員　乙君の説に贊成しますと共に希望を述べます、最近安東市政の一方には或る種の黨閥が生じて密に相反目する傾きがあり各方面との統一を缺ぎ歩調相異る場合が多々あると思います、之は其の牛耳を執つて自ら率ゆるの人物に乏しく又有りとするも其の貫祿が相應せぬのに因ると思います、此點から推察すれば同君の如きは其貫祿に於て全體を調和し得るの人物であると思ひます是非此の際同君を推して出場を希望したいと思ひます
議長　適任であると認め出場を勸告することとします、次は附屬地側候補者に移ります

金井佐次君
甲委員　適任者と思います
乙委員　篤實な點と經驗とを以て事務を總攬するのは宜しいが聊か公共に對する熱意が薄い樣に見受けます、公共的觀念の缺如から生れる現象ではありますまいか

新維新三君
丁委員　それは反對派の同君を誹した一種の惡評なき風説です
議長　同君の人格を尊重して左樣なことはないと信じますから適任と認めることに致します、次は
丙委員　識見手腕に於て適任者であると思ひます
乙委員　同君は識經家の人です
甲委員　識經家であるが故に正見を曲げる如な同君ではありません
議長　適合な者でないと信じます次は

佐藤俊久君
丁委員　同君は識經家の人ですが、保合後大安東建設に其の如き土木事業等の專門的智識を有する人は此際特に必要であります
三委員　同感であります
議長　大多數を以て適任者と決定致します、次は平山君を評議ひます

未曾有の混戰となつた
各地の協議員總選擧
激戰地は釜山＝大邱＝仁川＝元山＝新義州＝
勝敗の岐路は今明日に在り

釜山　釜山の選擧戰は全くの激戰狀態で白熱的爭奪戰が漸くに擡頭し始めて居る伊藤、小島、武原、小原、澁井等を筆頭として各其選擧事務所には嚴めしい立看板が掲げらるゝと同時に花々しい推薦ビラも屢々撒布して如何にも挑戰的氣勢を示して居る一方各候補者の顏色は漸く悲壯の態度を現はし、[illegible]に遊び分けて世間を迷はした上杉古太郎氏が最後の形勢に壓迫れがして斷然十四日手を引く事となり迫間氏の周圍の離叛から自然脱退の形勢に移りつゝあり若し迫間氏勢ら起たずとすれば行き掛り上和歌山縣人會から大黒西松氏を擁立するの何れかに決定すべきを以て先づ内地人側の候補者は丁度定員の二十名が動かぬ處なるべく之に對する鮮人側の形勢は依然として混沌裡に推移して居るが鮮人側の活躍如何による實際選數だけが内地人の落選となるべき趣きを呈して居る

大邱　空前の大混戰に終始した商業會議所議員の選擧が濟んだ、選擧戰、選擧苦鬪、候補者二十名の定員に二十六名の立候補者であつた爲めに六名は落選の悲運、内地人側にありては横綱、大關、關脇も揃ふて討死したので次に來る府協議員選擧には一層の努氣を張し今や舞臺に白兵戰を交へつゝある、此の調子を以てせば内地人の十三名鮮人側の七名合計二十名に對して三十名内外の立候補者を見るであらう、重なる候補者の顏觸を試みると辯護士の
▲本木房吉氏　内務部長、警察部長等の官歷ある人、今や大邱法曹界の重鎭、選擧戰
▲中江五郎平氏　は道廳の官歷も有り肥料商としての元町邊に重きをなす人、人格を以てし石鹸を唱いて戰るよりも確實であらう
▲小田幹氏　は三業系を地盤として山十組より出る人、善戰怠らず
▲竹尾植造氏　は鮮醫士會の一部と避病院其他を見當てに出馬、多少は苦戰の覺悟を要しやう
▲畑本俊平氏　は例の臨戰破りで府協議會を地盤に其他の同攻を思込んで起つた人
▲小川勝平氏　に鈴木繁組工場の主任で温厚篤實、同縣人會其他も星町方面に得票がある
▲永井幸太郎氏　は自ら斷髮を剪選し府議に勝敗を決せんとする人縣人會町内の有志消防方面の應援がある
▲佐々木董藏氏　は上町の町總代たるの故を以て上町有權者の擁護によりて出馬に決心
▲小倉武之助氏　は商議戰で見事土俵の外に投げられたので今度は必死の覺悟
▲吉武甲子男氏　は大邱印刷と平素の信用を眞つ向に振りかざしての奮鬪其向ふ處敵なかるべし
▲稻井新臣氏　は商議戰に於ける手腕家、諸藤氏及東城町の有權者が推立したもの
▲伊藤吉三郎氏、は商議戰に落選した恨み骨髓に徹し大いに雪辱戰を試みるであらう
▲立木要三氏　は鳳山町有志の後援と、推薦により公正會常任幹事を辭し、[illegible]の汚名をも甘んじて受ける覺悟で出馬に決心
其他三五の立候補を見る筈であるが未だ其の出所進退は鮮明でない要するに今次の大邱府協議員の選擧は白熱化すると云ふより寧ろ殺氣殺々の凄愴味を見せてゐる

馬山　靜かであつた馬山の選擧界も果然十三日以來局面展開して各方面有志者の奮起を見るに至り今朝日中には新馬山に於て西田木總市、龜綏二の兩君を推擧し立候補の經緯をなさしむべく其外の三名中より二名奮起すべく舊馬山側は同地の有志中に於て弘瀨節之助、友田松二郎君を推擧擁立することに決定し同時に夏目哲三、吉村虎治郎の兩君自ら馬を陣頭に進むべく各方面とも漸々混戰狀態を現出し選擧氣分はいよく濃厚となつて來た

群山　群山府協議員選擧候補者は期日切迫した十五日に至り始めて樋口虎三氏、大澤藤十郎氏僅に二名が名乘りを揚げたのみであるが十五日現在に於て候補決定を傳へられて居るは西村及三郎、花岡義松、中柴萬吉、赤松繁夫、香原助太郎等五氏で戸澤繁太郎、增田吉夫、光富嘉八、森田重興、日高千代三、山本虎次郎等六氏の出馬も豫測されて居る一方鮮人側では結束して李東基、趙重煥、邊光鎬氏等を推すことに協定したらしいが或ひは金洪斗氏の出馬を見るやも知れず金氏出馬するとせば李氏辭退すべく豫測されて居る

鎭海　協議員選擧戰も日を追ふて戰鬪激烈今や全く混戰狀態で、殊に各候補者の運動愈々猛烈となつた、北陸鄕友を背景とせる越田北三郎氏、松尾正信氏の兩派聯盟、坂原和潤を根城とせる土井伊太郎氏も出陣するもの如く而して鮮人側を見ると定數四人の割合に對し六人の立候補で是亦運動激烈を極めて居る

光州　府協議員選擧も茲數日に切迫したに拘らず情氣漫々張合のない事甚しかつた豫想の如くぽつく落穗拾が水面に現れかけた第一に名乘りを擧げたのは前學議の谷口庄氏に次で岡山縣人の坪井源太氏の兩新候補者である谷口氏は各方面に戸別訪問を開始し坪井氏は東門通りに事務所を構へて運動を開始した選擧委員は何れも候補に立つべく夫々準備はなしある如きもまだ名乘りを上げた者は無い模樣鮮人議員に二三打て出る者があるかも計られざる狀態である鮮人の方は鳴りを鎭めて居るが夫れでも有權者が少いにも拘らず内地人と同數の六名を擧出すべく意氣込んでゐる

全州　内地人側立候補者七名に決定し各々猛烈に運動中である顏觸れは山本、大木、加瀨、大坪、武内、三浦、松本の諸氏で參謀を置いて大寮戰である又鮮人側は十四日午後一時より公會堂で豫選大會を開き有權者二百三名に對する出席者僅に三十名に過ぎなかつたが更に角投票の結果左の如く入選した
李海晩十八、崔昇烈十六、金秉淑十六、李晙泉十五、印昌植十二、李圭兩十一、鄭華鎭六、五票一名、四票一名、三票一名、他に一二票宛が七名であつた

仁川　仁川府協議員候補者の運動は一層激烈を加へ白熱化に入る鮮人側は十一日の有權者會席上公認候補者の推選に當選した六名の内張錫佑、丁致鳳、金相主、李宰求の四氏は立候補に決し李東時、趙顯三兩氏は候補斷念之に操選に漏れた朱命基、金允福兩氏を加へて都合六名を公認候補者として聯盟を整へ結束を堅め運動怠りなく鮮投票の統一を圖らんため各有權者の戸別訪問を行ひ投票の均等を期しつゝあり殊に鮮人側は有權者會の席にヤヽ起ち後れの憾あるも結束の如何に依りては意外の好果を收むるであらう、内地人側では相互に[illegible]が某々有力筋の後援を得て十四日俄然名乘りを擧げ多數の運動員を八方に飛ばせて猛烈なる運動を開始したので内地人立候補は十二名となつた之に鮮人側の候補者六名を合すれば都合十八名となり結局二名の落選者を見る斷定だ立候補者の氏名は次の如くである
張錫佑▲丁致鳳▲朱命基▲河野竹之助▲加來榮太郎▲中條榮藏▲平山松太郎▲美濃谷榮次郎▲後藤週平▲藤井八重藏▲以上（現）十名
金相主▲李宰求▲金允福▲力武喜次郎▲丹羽茂三郎▲井上藤香▲高木助市▲丸岡平助以上（新）八名

元山　元山府協議員選擧は期日間際に至り候補者の續出を見て一大混戰を現出するかも知れぬとは豫て豫想した通り果然十五日に至り豫て噂の有た小島守治、新谷新七二氏の公然名乘りを揚ぐるに及んで、確實なる候補者は鮮人五名で内地人十一名計十六名となつて定員を超過する事二名、之れに内地人側に在つて人氣を集めて居るのは杉山、北崎の兩氏[illegible]見る譯である事は上述の如く面下的の大變化を示して來つたので他に觀客を立て面白く自己の地盤を固むると共に[illegible]を取るに至つた、又鮮人側[illegible]の話に聞いて居た、黒川寅太郎君の出馬説が、本誠どころが全くの事實で必死の猛運動をなしつゝある事が判明する

―水原の八郡聯合物産品評會―

開城　府協議員選擧戰[illegible]の候補者を立た[illegible]の大接戰を演じつゝある

海州　府協議員會員は十二名だが現在では内地人六名、鮮人六名であるが内地人側は候補者間の[illegible]

安寧議員六名を擧ぐる事に決定した又鮮人側は内地人との對抗上八名の候補者を押立てる見込であるが[illegible]内地人候補者は左の通りである
荒代帶助、隅利吉、鈴木小四郎、鏑木治右衞門（以上現議員）、清末房吉、貝志新五郎（以上新候補者）
有權者總數百五十四人　内譯　内地人九十九人、鮮人百五十六人

平壤　平壤府協議員選擧は一向選擧氣分がせず鳴りを靜めて居る、二三ケ月も前には目覺しい運動が開始されて有權者も嬉しい程早いのに驚いた位なのであつたのに之は亦氣持の悪い位沈滯氣分が漲つて居るのも或は嵐の前の靜けさか鮮人側の方に幾分運動らしい活動が見受けられるのみである、選擧場は公會堂と確定し二十日の選擧立會人は左の四氏に決定した　朴英錫、鄭觀朝、大橋恒藏、宮川五郎三郎

鎭南浦　府協議員選擧に就ては鮮人側では此際團結して最も公平なる候補者を選擧す可く十二日午後一時より客主組合に於て有權者大會を開催した出席者は四十二名で[illegible]氏の開會の辭あり次に候補者に就き[illegible]が代つて公認公候補者の選擧に移つた處六人説と八人説で賛否の論鋒を振ひたる後、候補者の二名を折衷して二名説記投票で開票の結果左の諸氏當選した
林炳日十一票、李鍾燮十票、張瑞奉九票、金泳闓五票、鄭正敏五票、金熙善四票、馬稷坤四票

新義州　國境警軍の稱ある多田榮吉君が府議改選に於いては早くも陣頭に立つて運動を開始した候補者であり傍ら大新義州建設上眞の議政者を得たいと云ふ意味から勇退を固辭して訊かなかつた現議員横江重助、阿部國造の兩君を推すと共に更に神保信吉君を擁ぎ上げて忠實なる國境政治の料理人として共に活躍せんと大見得を切つて緊張味を缺いでゐた逐鹿界に大石を投げ込んだ事は既記の如く先づ選擧界に例のない珍談であるが推服された一人である神保君は同じく一人の横江君とは親友であり然も陣省中で形勢の非なる處から自己の一票なりとも親友の爲めに投じたいと云ふ美しい友情の發露で十三日多田君と諒解の上立候補を斷念した事は充分に成算ありし神保君の美擧として識者も讚めはやさない者なく同時に惜しい人物が渦中から消え去つた譯である、今回立候補した内地人側は神保君を失つて結局十一名それをゝラリと紙上に乘せて見ると何と云つても陣頭第一に擁ぎ出すのは[illegible]
▲多田榮吉君　は多年府協議員として同盟會長乃至何々長と其肩書に長の付いたもの許りも十幾つある程各方面に活躍してゐるニックネームはライオン又の名はブルドック
▲横江重助君、木材商の重鎭、[illegible]
▲増田光平君　若手候補者で多少[illegible]
▲奈良井勝市君　[illegible]
▲島本寅式君　早くも立候補を宣したが[illegible]
▲鷹本茂君　[illegible]
▲松原哲太郎君　當選せば府議員中[illegible]可成り人の世話もしたといふから同情者が多い
▲本出伊太郎君　一等當選者として自他共に相許してゐる事であらう
▲中込新一君　謹嚴なる紳士實業家で[illegible]されてゐる
▲鷲頭秀吉君　現議員たりしも或る事情で辭職したが感ずる處あり再び政界に押出した
▲以上十一名の外に鮮人側は辯護士李熙適君が僅ケ月の差で立候補の資格がないので各候補者の懇請を受け選擧長といふ格で一團を統率せしめまいと云ふ意氣込である今の處立候補者は金宗源、白孝俊、朴在寬、張晩禪の四君であるが現議員の[illegible]君亦色氣あり近く出陣と見て總計十六名である

義州　平北道義州は道廳移轉と不景氣に崇られ可成困つて居る事とて目前に迫る府協議員改選には相當な野心家を除くの外内鮮人共立候補を宣言した者なく本年は二票位で意外の人が當選するかも知れない

斜めに見た義城と安東（七）
大邱支局　横瀨生

義城北部の畜産は甚だ誇るに足るべきものがある、而し數年來財界の不振は依然として不況を續け農業蠶産物の下落も著しく從つて區域内にある畜牛數は大正十一年を許さない現在安東郡畜産組合の本部畜産の前途も甚だ樂觀する事度と殆ど大差なく耕地面積二萬九千九百卅町歩六反農家戸數二萬三千三百十戸であつて、畜牛數は一萬三千九百六十頭、即ち農家百戸に對し五十九頭餘、畜牛一頭當りの耕地面積は二町一反餘、である、けれども、畜牛賣買は主として郡内九ケ所の牛市場並びに隣接各郡牛市場に於て行はれ本年度の賣買頭數は六千三百三頭であつて之れを前年度に比する時は一千二百九十五頭を減少し價格に於て本年度が二十六萬四千六百九十五圓で前年度に比すれば約一萬五千百圓を增加した、本郡の林野面積は十萬九千七百町歩あり、就中成林地は五千町歩、稚樹發生地八萬七百町歩の二萬四千町歩は全く樹木を有しない草生地でなければ山骨稜々たる禿山である、本郡林政の前途は甚だ遼遠と謂はねばならぬ本郡は一種の高原地帶であつて、海岸線を有せぬけれども本郡を貫流する洛東の大江があり、赤洛東江に合流する幾多の小支流があるので鮎、鯉、鯰等を産するけれども水産としての價値は多く誇るに足るべきものを有しない
本郡の商工業は交通の發達及地方産業の開發に伴ひ逐年勝路に赴きづゝあるも一般財界不況の打擊を蒙りたる事も先づ尠しとせず其商取引は多く朝鮮古來の習慣によつて期日を定めて開始する市場に於て行はれる赤洛東江の舟便の便を利用して便館地方とその取引があり、牛車馬車を利用して大邱方面及醴泉郡との間に取引が行はれ一ケ年間の輸移出入は約百五十萬圓外である、殊に本郡の主要物産である麻布は大正十二年麻布組合の設立と共に品質の改良と統一が行はれて朝鮮内各地及び内地方面との取引が行はれづゝある事は前述の通りである
安東と鐵道沿線との交通路は安東を發し義城を經て大邱に至るの線を第一とし洛東江の舟便による線と尙州とを聯絡して金泉に至るものと兩線を重なるものとして居るが、最近一部有志間には慶北の東海岸盈德より知品、僉嶺を經て便捷里、松西に至る一線の速成を呼んで居る、蓋し安東としては一つの海岸線に出入路を設けて海産物の吞吐を計畫せんとする事は自然の要求する處であらう

麻布輸入激減
【仁川】支那方面より鮮内一般鮮人の需要者によつて供給さるゝ麻布は主として仁川を經由し輸入されるが昨年度に於ける輸入年額は實に八百萬圓の多きに上つてゐるに反し本年度は三百萬圓を遞減して五百萬圓に過ぎない右は昨年度における輸入過剩の結果所謂滯貨品が豐富なりしによると亦財界不況のため鮮人需要者の節約に依るもの如く觀られてゐると

第三回　婦人軍隊見學團
兵營見學―射撃豫行
初年兵の入營も濟みましたからこの機會に第三回婦人軍隊見學團を募集致します、兵營に於ける家族の御婦人方は勿論一般の御婦人方も多數御參加を希望いたしますが若き婦人の爲には特に射撃豫行演習をも行ひます
▽時日　十一月十九日午前十時
▽集合場　步兵第七十七聯隊營内
▽申込所　本社平壤支局
▽會費　不要
▽注意　辨當草履携帶の事
主催　京城日報社平壤支局

優良店員表彰
【釜山】釜山商業會議所の優良店員表彰式を十八日擧行表彰されたのは左の八名である
▲釜山本町[illegible]氏店員勤續二十五年十一ケ月中金藤重
▲釜山大廳町釜山支店行員勤續八年一ケ月[illegible]本館治
▲釜山本州通り牛尾正一氏店員勤續六年五ケ月安江賀我三
▲釜山金州通り浦原貝吉氏店員勤續七年二ケ月栗崎秀夫
▲釜山大和町神林松吉氏店員勤續十年十ケ月鑑地治三郎
▲釜山本町渡邊芳太郎氏店員勤續十六年四ケ月國利平吉
▲釜山榮町[illegible]氏店員勤續六年四ケ月田中太三
▲釜山電氣會社電氣技手勤續十ケ年堀源一

平壤旅館組合
茶代廢止實行
但し呉れる者は貰ふ？
來る三十日から實施
【平壤】警務當局指導に基き各地共一齊に旅館に於ける茶代廢止問題が喧傳されると同時に着々と實現されてゐる平壤の旅館組合でも運動米[illegible]數々集合して協議中であつたが愈々十四日廢止する事に決定し其協定の宿泊料額は一等店にありては二圓乃至一圓五十錢を二等及三等店にありては一圓五十錢乃至一圓と勝負した、然し從來は各等共宿泊料は三段級に分たれてゐたのを今回より更に一階級を新に加へられて高い宿賃は幾分調節される事になつたのと宿屋組合員を一二三等に分類されて居たものを矢張り四等店迄に延長低下し客室並に設備に依つて等級が定められたのは確かに當局の折衝最も宜しきを得たものである、只京城の改正宿料に比べて室代は一圓方低廉ではあるが食料に於て三十錢乃至八十錢高騰を見てゐる點に略同額と見て差間へないだけ果して京城の旅館と同等に總てが價値付けられるかゞ疑問である、改正された宿泊料は左の通りである。
▲一等旅館宿泊料　八圓五十錢、六圓五十錢、五圓五十錢、四圓五十錢の四種
▲二等旅館宿泊料　五圓五十錢、四圓五十錢、三圓五十錢、三圓
▲三等旅館宿泊料　四圓五十錢、三圓五十錢、三圓、二圓五十錢
▲四等旅館宿泊料　三圓、二圓五十錢、二圓
因に右宿泊料の實行は三十日大同江鐵橋開通式當日からであるが組合員の中には茶代は廢止したとは言へ特志を以て呉る人があれば貰はぬと云ふ說と廢止した以上は絕對に貰はぬと云ふ兩說があるらしいが茶代を出したり貰つたりした者は料料にでも處する法規がない限り完全に履行が困難であらう。

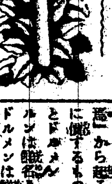
大同江鐵橋開通式と
電鐵二期線の速成
晝夜兼行で同日に開通の爲め
急遽宮館府尹出府交渉を開始
【平壤】平壤府十三年度繼續事業の一として電車第二期線は船橋里に延長する電車第二期線は借入金の關係上一時沙汰止みの狀態であつたが來る三十日大同江人道鐵橋の開通と共に對岸との交通も自然頻繁となるは當然であるのに鑑みて突然ながら府に於ては十四日來遽かに該區間六百五十間の敷設問題が擡頭して出現の色彩濃厚となつて來た、尤も右區間六百五十間の内三百四十間は鐵橋路面に屬するもので此の分は架橋工事と共に既に線路は敷設を終りたるものなれば殘るは僅三百十間に過ぎず工費も軌條を除けば三千數百圓を以て足れる程度のものである關係上此の際鐵橋開通式と同時に電車をも開通せしめる樣極めて時機に適した施設である、然るに該工事は未だ認可を受けぬ事業なるが故に宮館府尹は十五日道廳に米田知事を訪問して意見を述べた處知事も大いに賛成の意を表したので大いに力を得て直に認可の準備に着手せしめると同時に急遽十五日夜行列車にて本府に出頭し鐵道部及遞信局に交渉の爲め出發することになつた、鐵橋開通式迄には僅二週間を餘すのみであるから三百餘間の軌條敷設と雖も普通の工程なれば到底竣功覺束なきに依り一兩日中よりは晝夜兼行にて工を進める筈である、財源は延長した電車收入を以て之に充てる計畫で十二間と云ふ統計を示して居るが、目下平壤電車一台一日の收入は三船橋里線が開通すれば此方面の電車收入は市中のものより確に增收見込であると謂へば四千圓に滿たぬ工費位は年度内に充分收納出來得ると云ふ

八達山も歡聲に搖ぐ
大盛況の水原聯合品評會
【水原】水原郡外七郡物産品評會は豫定の如く十五日から開催秋の朗かな光を浴びて渦を卷いた觀衆は押すなくの大盛況である場内は整然と出品物の陳列裝飾等總て手落なく各事務所は何れも大多忙大車輪の活動振り又協贊會も此の大成功に悦に入つて得々然として居る各町は一齊に裝飾を凝して夜はイルミネーションを點火して不夜城の壯觀を現出し八達山も搖ぐばかりの盛況を呈して居る

平壤府協議會
【平壤】平壤府に於ては二十日府協議員の改選を了し新議員の顏合せと兼ねて新議員聘用の府協議會を二十四五日頃開催し次の事項を協議すると
一、電車追加豫算の件
一、市場設置に關する件
一、隔離病舍の官有地借下げの件

平南明年豫算
【平壤】平南道大正十三年度豫算は目下查定中であるが豫算總額百二十七萬圓にして十二年度豫算より七萬圓餘を緊縮されて居る經常費は七十萬圓臨時部五十七萬で現在の豫算に比すれば經常費に於て八千圓增加し臨時費に於て七萬圓減少して居ると

初霜と初氷
【釜山】釜山本年の氣溫は十一月に入つても依然小春日和續きで非常な暖かさを感じ漸く十五日夜初霜を見た前年より三十五日平年に比すると尙五日晩れを示して居る山手の中島町邊りでは同夜薄氷を見た
【大邱】十六日の朝初めて氷點下に降り去年より六日早く昨年よりは五日晩い氣溫の降下に連れ濃厚な霜を見低溫地には二分乃至二分五厘の霜柱を生じた郡部の水が結氷するに至つた、是大邱に於ける初氷である是を平年に比すれば十四日遲く昨年に比すれば六日晩い

洋燈の都（六）

春川の將來と官民よ
角田生

流石は貊國の古都だつたと云ふだけに春川には相應しい古蹟、名勝がある然し三韓以前に全盛を極めたと云ふ餘りに前代が經過してるので流石にどれもこれも明瞭な記錄を存してゐるものは餘りにかないやうだ、その中で重なるものは
●鳳儀山、●昭陽亭、●牛頭山、●貊國の古蹟、●離宮跡、●淸平寺、●九曲の瀑、●[illegible]及び五重塔、●壯節公の墓、●席破嶺、●ケールン（石塚）とドルメン（支石）
等がある。
鳳儀山は邑の北背に突兀として聳立してゐる支脈は南に起伏して邑を擁蔽してゐる北の山麓は昭陽江を隔てて牛頭大平原があり西の方前面に[illegible]を望む標高一千百十五尺だそうだ春川邑の北方約二里新北面泉枝洞地方は二千年前の貊國の遺墟地だと傳へられる王の宮殿を設けた跡だとのことだ小高き丘上で城趾の如きものがある麓に殿跡と稱する地があるが今は化して水田となつてゐる
邑内要安堂に離宮跡と云ふのがある今から二千餘年前に春川留守の関判鎬が李太王の命で興延危急の場合の避難所の離宮として二年有半を費し道内の膏血を搾取して建築したものだそうだが今の江原道廳は即ちそれだ淸平寺は邑北五里北山面淸平山にある千七百年前の建築で二百年前重修して佛像の[illegible]
る石年は高麗時代の佛寺に建てたもので後者は[illegible]
斯くの如く完全な[illegible]
ことだ

地方人事
▲野田政北警察部長　十一日京城十三日城津警察署の巡視を行つた（城津）
▲堀謙三氏（東拓京城支店長）十五日朝下仁關係方面を視察午後六時銀水に於ける官民有志の晩餐會に臨み即日歸城（仁川）
▲磯野平北道内務部長　道議新廳舍分檢の爲め十五日來新即日歸任（新義州）
▲村澤同會計課長　同上
▲安藤平北道警察部長　十六日來新一泊（新義州）
▲古野丈夫氏（釜業技師）十六日午前着任（大邱）
▲柳原茂氏（新義州法院支廳判事）病氣引籠中の處十六日から出廳（新義州）
▲福田豐喜氏（平州支廳判事）還在中の處十六日歸任（新義州）
▲石川正氏（高等法院判事）十六日來新鐵尾旅館へ（新義州）
▲鈴木新任開城警察署長　十七日午後着任（開城）
▲朴宗錫氏　今回平北宜川郡新府面長に任命（宣川）
▲李致榮氏　平北道宜川郡新府面長辭任（宣川）
▲小平山陽長木下八人　遺骨を携へ十七日郷里鹿兒島へ（仁川）

職業婦人 事務の暇々にはお嫁の稽古
勉強次第では判任官に 管理所の女事務員（中）

數字に對する觀念の試驗と目と指頭の鋭敏さと常識問題等の三つの試驗をして採用されると、各係に分屬される、其處には夫々事務に熟練な先輩があつて夫々實務の傍ら管理所の判りとも云ふべき珠算の練習をする。

遞信局では各種の珠算の速度、正確の試驗の結果一定の練習規定、心得を拵へ拇指と食指の二本を以つて直垂にして他の指を一切使用しないことにしてゐる、そして練習規定に依つて指頭の手轉を確定してここの珠算規定の型に入れる、初任者は一時間宛居殘りして練習させる、約半歳もすると凡そ一人前に上達し管理所で規定した珠算競技上の最低の組五級に編入される。

□

事が生命であると同時に傳票に記入する數字の練習をする之も管理所に數字手本があり、算證の規元を定めて甲の事務員が如何に急いでした傳票でも甲が缺勤の場合乙の事務員で何等の錯誤なく事務を繼承する樣にしてある一日に約六萬枚の傳票を取扱ひ然もそれが直接民衆の利害得失に甚大な關係を持つてゐるから內地の各遞信局で多年研究を積んで最も錯誤の少い記號を採用したのである。

右の珠算も、習字も始終試驗をして合格不合格を決し、昇給すべきものは昇給し一面從業員の發憤に資してゐる。

給料は高等小學校卒業者で月額二十七圓以上で年齡、經驗等に依つて多少の相違があり他に諸手當の制度がある、高等女學校出身者で三十圓以上三十三圓位で昇給は年四回で成績に依り最高八十圓を給し判任官までは上れる、現在遞信局に二人の女判任官がある。

□

勤務時間は普通の官廳通りで夏季は午前八時から午後四時まで七月十日から九月十日までは午前中勤務で冬期は午前十時から午後四時までの勤務である。

□

休養も官廳同樣で日曜祭日は休養が出來る、所員の教養に對する施設としては『管理所へ女子を託すればお嫁入りに大した差支へない』作法を修得さす』と言ふ目的で一般常識講話、活花、作法、裁縫、料理、音樂等婦人として修得して置かなければならぬ必須の科目を選んで夫々專門の教師を囑託して教授してゐる

□

若い娘達のことであるから風紀の取締には管理所でも頭を痛めてゐるが成るべく執務するにも女事務員同志を集め昇降口、便所等は男と區別し、家庭との連絡を保つ爲めに通信簿を拵へて管理所で居殘勤務を命じた場合にはその旨記入して家庭へ報告することにしてゐる

畏くも良子女王の質素な御日常
眞岡木棉をも數回洗濯され セルの袴は二三度仕立直し

今度の大災害で日本は夥しい富を失つた、これから帝都を始め全國の驚い產業の復興には全く擧國一致的の努力が必要である、この秋に際して奢侈を嫌め節約の奮勵を促し頽廢を防ぐ爲に詔勅を發布された事は寔に畏い極みである夫につけても近く畏くも東宮妃たらせらるべき久邇宮良子女王殿下の御質素な日常御生活振を伺つても感激せずには居られない、永らくお側に在つたある夫人はいふ『良子女王樣が平素から御質素なことはお側の者がほんとうに畏れ多いほどで例へばお召ものなど學習院への御通學の頃から今日まで

お襦袢 は晒木綿ばかりを召され前物も御平常は銘仙に限られてゐるので私共は何を着ていゝやら判らないほどでございました夏のお召ものは眞岡木綿の浴衣地を一般に用ひるのと少しも變らず幾度も洗濯したものをよろこんでお召になるのですお袴もセル地のものを二度も三度も仕立なほしてお召けになるのをあんまり

恐縮で すからお附きの人から何彼と申上げると『着物の事などうでもいゝではないか』とお言葉を頂戴して却て赤面したことも少くないのでした、それが震災後はまた一しほの御節約で先達ても罹災者へ御配與になる衣類をお手づから御仕立てになつて居りました際『學習院時代のお紺絣を大切に使つたからまだ何ともない』と昔のまゝ勿體ないろなく御保存になつてました、それから多の間お召しになる

お襟巻 も御自分で毛絲の編ものを遊ばされ萬事が斯樣な御質素で一度拜見した人は自然と御感激を覺えるやうなものばかりです

一度罹れば癖になる 姙婦と腎臓病
神經過勞食事の不攝生 寒さと濕氣が禁物

冬から春へかけては此の世に入の子が生れ落る一番の時です、そのお産の前姙娠の後半季に起りやすい腎臓炎及腎臓病に就て少しばかり御注意を申します、先づ大體に於て良性のものでお産がすめばなほるものですが、中には取くなつて遂に命にかゝるやうな事もあります、一般の症狀は足とマブタに

水氣 が來ます、それが取くなると水氣が全身に現れ、小便の數が少くなり、甚だしいのは、ほとんど無尿の狀態になります、そして頭痛がしたり、目眩がしたり、視力がにぶつて眼がチラツキ、はき氣、下痢など起します、此病氣は最初の姙娠に起るとまだその次々と起りやすいものです獨逸のリッツマン氏は十回の姙娠に九回、同じくグロースマン氏は十二回の姙娠中に八回起つた實例を報告してゐます、ですから

姙娠 の後半期には特に注意をはらつて醫者に見てもらふなりまた相談をかけることを忘れてはなりませんこれは一般に腎臓炎及び腎臓病と同じ譯なのですが心神の過勞食事の不攝生を禁物とします、しげき性の食物それも、いけません、從來は（今でも一部にはさうですが）牛乳をのめるだけのめとすゝめたものですが、それは却て

腎臓 を疲らせることになりますから一日に三合かとまりでせう、それから身を常にあたゝかに保つことを專一とすべきで、殊に足をひやしてはなりません寒くて濕氣のある所に居るのなぞあぶない事です降藥的の治療は別として、以上の注意のどれも忘れてはなりません、日本の婦人はまだ左程に病氣を氣にしない風がありよしや氣にするにしても捨て置くと云ふ調子がありますそれは實に思はざるも甚だしいものでして自己の

存立 の主張の爲めにそしてその家々の幸福の爲めにもつと氣をかへねばなりますまい

廢物を利用して石鹼膠を作れ
酸性劇藥の解毒劑となる

女子實業學校の教授連中が研究した石鹼の廢物利用で未だ世間の家庭では全然知られてゐない面白い方法であるその方法は至つて簡單で

石鹼 の使ひ屑で捨るやうな所を水の入つた器に入れて置くとだんだん溶けて飴のやうな一寸石鹼のかたくりみたいなものが出來上るこれをハンケチとかカラーとか小さなものを洗ふ時に使用すると非常に便利でいゝこれを應術上では『石鹼膠』といつてゐるところがこの石鹼膠は硫酸硝酸鹽酸等を間違つて嚥んだ場合にはこの上もない解毒劑になる一般に醫師の方では

酸類 を嚥んだときには假性マグチシア液を服させることになつてゐるが純粹でない藥劑師の檢査を經ないものだと炭酸瓦斯を發生して胃を破壞して仕舞ふことがあるがこの石鹼膠だと硫酸ナトリウムが出てステアリンが毒を遊離して呉れるので誤つて子供が酢などを嚥んだ時には

醫を 呼ぶまでに之を服用させて置けば死ぬやうなことはないそれにこの石鹼膠を家庭で作りつけると愛用してゐる石鹼の良惡と云ふことも判る惡い石鹼だと白土とか礬とかメリケン粉のやうな全然溶けないものが器の下に殘るそれから其石鹼が柔かいか硬いかと云ふことも其水に溶ける時間で確めることが出來る言ふまでもなく幼兒の

皮膚を 洗ふには柔かい石鹼を使ふこと×アルカリ性の入つてゐないものを使ふことが肝腎であるアルカリ性が入つてゐないものを使ふことが肝腎であるアルカリが入つてゐるか何らかは藥局へ行つてフエノールフタレインと云ふ藥をアルコールにとかして石鹼を實驗して見るとアルカリがあれば眞赤になるしそこへ硼酸を入れると元通りの色になる隨つて硼酸の入つた石鹼が子供にはいゝ事になる

新東京小景　村上狂兒

鳥歸る

秋はどこも淋しい。だが東京のは寂しい廢墟に近い市中を歩いて居ると、何だかこれつきり昔の東京にはお目にかゝれない樣な情ない氣がする。

假ばかりの復興は、實は立直しで修繕なんかとても利かない。バラツク建ての飲食店が復興の魁だとは何うしても思へない。東もあれ秋は寂しい。燒け殘りの樹立も物淒いし、水の樣に澄み切つた空も冷たい。生產工業の根が絶えたので、今まで灰色だつた空が急に綺麗になつたのだ矢張り自然らしいものゝ方が親しみ深い。チチ、チチ……頭の上を一群の渡鳥が飛んでゆく、多も近いのだ。

演藝ノゾ記 新劇團組織？

朝鮮には好いお芝居が來ない、好い新劇が見られない、地方廻りの白鳥會や蝶々會の喜劇ものでは物足らない好劇青年の間に新劇に對する熱烈な希求が二つの劇團となつて誕生した、總督府外事課にゐる小林君等の藝術協會と、秋山、原田、李等の文藝青年に依つて組織された火星座とがそれである何れもアマチュアの集團で公演の度に少からぬ手傷を負ふて藝術協會は京劇で一回の公演と美術倶樂部階上で脚本朗讀會を開催し火星座は浪花座と本町座で二回の公演と一回の脚本朗讀とをやつたまゝ何れも經濟的の難關苦行で現下は多眠の姿になつてゐる、處へこの七月京城に入來の市を上演した文藝座が滿洲で分解して水谷等が男優四名女優一名で近く京城へ乘込むことになつてゐる藝術協會も火星座でも今の所御難つゞきで自ら設を明け樣と言ふ勢ひはなしこのまゝ分散するには忍びない、年內にもう一回公演して置きたいと言ふので焦慮してゐるし、一方文藝座の分散派は今の人數では舞臺にも上げられぬと言ふ苦境にあるので少時の日數を假したら此間に彌縫作用が行はれて案外面白い献立が出來るかも知れない（光永）

嚴格な法廷に女性の裁判書記
日本で最初の試み

婦人の職業が總ゆる男子の領分に入つて來る世の中となつたが裁判所でも婦人を書記に採用する事となり先に釧路地方裁判所で行はれた裁判所書記の登用試驗に群馬縣出身の高橋とよの（二二）といふ婦人が優等の成績で合格したので近く何處かの裁判所に任用することになつてゐるさうだ、今後も續々司法部內へ女子を採用する方針で、近き將來には法服をまとうた妙齡の女性が現れ、嚴格な法廷の空氣を軟げるであらう、右につき司法省の皆川人事局長は

今度始めて釧路で女子が裁判所書記の試驗に合格したが、これを採用する點については未だ決まつてゐない裁判所內にも統計とか會計とかその他種々婦人に適した事務が澤山あるのでその方面に使つたら却つて成績が擧がらうと思ふ、外國あたりには女子の判檢事や辯護士等もあり日本も社會の進步に伴うて婦人の參政權さへ叫ばれるやうになつたから裁判所の椅子も早晩女性の爲に開放されるかも知れないがまだそこまでは考へてゐないと語つた

嚴谷小波先生 新作童話 「白蛇の留守」
二十日朝刊より掲載

京城產婆會 十八日淸香園で例會開催

京城產婆會では十八日午後六時明治町淸香園に於て例會を開催し新任總督府醫院婦人科部長高橋博士の洋行お土産話工藤橋本兩先生の井會長の有益なる講演と會員の實驗談等がある筈猶當日は一般婦人方の來聽を大に歡迎すると

手藝品講習會

最近婦人の職業に對する熱が勃興して各所に編毛講習會等が開催され會員は繼續的に製作品を毛絲店等で取纏め市中に賣出してゐるがこの職業的家庭內職を補修する意味で技藝女學校卒業生から成る芳蘭會では此の要點に講習會を開催したことがあるが其後も編毛、刺繍、裁縫其他の婦人手藝に關する質疑が多いので芳蘭會では近く各週土曜日を期し土曜講習會を開催すべく土曜日午後一時から約二時間づゝ各種の講習をすると

消防家族慰安會

常備消防隊員の家族慰安會は十七日正午より本町四丁目浪花座で開催したが小熊所長の挨拶に次ぎ消防手の『白浪五人男』『忠臣藏五七段目』等數番の素人芝居がプログラムの順に從つて操過され和氣靄々裡に散會したのは午後六時頃であつた

家庭覺帳
血液の汚點

血液が布についた時に拔く方法は色々あるが最も簡單で最も成績の好いのは大ぎの方法であらう、それは汚點に唾液をかけて兩手で强く揉むだけである、後は普通の方法で洗濯すれば好い。ずつと古い汚點でも大底のは不思議に取れる

唇にはリスリン

少し寒くなるとすぐに唇が荒れて來る他の所は奇麗に手入れして居る人が唇をガサガサさせて居ると大へんに多い形の好い唇が紅くすべすべして居るのは見るからに氣持ちの好いものである。そうありたいならば少し注意して毎朝及び食後に濃いめのリスリンを指で薄く引けば只それで充いのである。わけはない香水や香料の空瓶があつたらそれにリスリンを入れて置けば香がうつつてわざわざ香を入れる必要がない

お寺と教會

▲京城組合基督教會（南米倉町）十八日午前九時三十分日曜學校、午前十時三十分禮拜說教『傳道の驚異』長谷川牧師、午後七時三十分『滅亡より不滅へ』同牧師（來會歡迎）

▲メソヂスト教會（旭町）十八日午前十時半禮拜說教『最高の愛』ケール宣教師同午後七時半傳道說教『更生』曾田傳道師

公設市場小賣値（十七日）

特等白米	一升	三六〇
一等白米	同	三五〇
白大豆	同	一八〇
小豆朝鮮上	同	三〇〇
金時內地	百匁	〇八〇
黑豆	一升	二三〇
綠豆	同	二〇〇
小豆內地	百匁	一〇〇
白胡麻	一合	〇三〇
黑胡麻	同	〇四〇

產科婦人科 外科花柳病科 入院隨意 仁川濱町 鶴田醫院 電話七三四番

ブロチン
新鎭咳祛痰劑
適應症 急(慢)性の呼吸器疾患にして咳嗽喀痰を伴ふ諸症並に百日咳。
本劑は服用し易く。効果佳良。副作用絶無にして應用安全。多數実驗諸家の好評嘖々たり。
吉村博士。內藤学士外數氏の実驗報告集あり。無代進呈す
粉末・錠劑及液劑の各種あり。各地有名藥舗にて販賣す
發賣元 東京室町 三共株式会社
出張所 大阪市淡路町堺筋・台北市表町一丁目
(B—1)

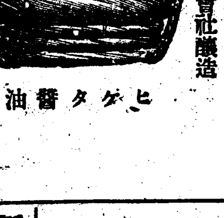
生殖器の形と力
專賣特許 眞空療法器を自宅で簡單秘密に使用せば生殖器の短小を發育せしめ包莖を治し神經衰弱、陰萎、遺精、早漏、勃起力不全、及性病等は理學的作用により最も的確なる偉効を奏す臼杵田中二大醫學博士も其實効を證明し實驗諸氏の感謝續々ハガキで申込あれ說明書無代密送す
東京市神田區カヂ町二の五 大阪東區道修町二の五一 電話神田七七九三番 東京眞空療法研究所 東京眞空療法研究所支部

株式會社 朝鮮商業銀行
創立明治參拾貳年 倉庫業兼營
京城府南大門通一丁目十九番地
頭取 超鎭泰 專務取締役 岩崎虎次郎
支店〔京城南大門・同本町・同東大門・仁川〕〔平澤・利川・群山・釜山・元山・濟津〕

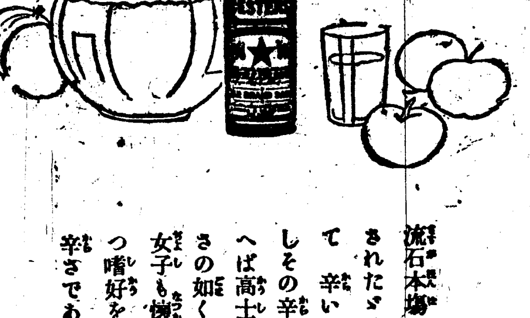
圖解 處女及妻の性的生活
作陣大家澤田順次郎先生新著 ●代金引換送料廿二錢 ●前金注文送料八錢 四六判 特價金壹圓七十錢 第入四版
▼女の肉体の構造、性的作用、性慾發作等を露骨に說明せる最新刊！人生の花と誇る處女、さては姥櫻殘りの色香なほ失せやらぬ妻、が內面的に起る性慾の衝動、本能的發作等、總て女の肉体の構造、作用、性的關係を處女、妻、母、と別ちて生殖器から性交による肉体の變化、局部より諸器管の本能的動き、其他普通人の心付かぬ內部の動作を密圖入りにて詳しく解剖說明せる、最新快書。
◎大震災寫眞一組無代添附 此際の御注文者に限り持參す
東京市麻布區富士見町五番地 正文社書店 電話芝五〇八〇番

眼鏡專門 並に貴金屬製作 本町二丁目 大學堂本店 カタログ進呈

藥
勉強第一 親切本位 在庫豐富 出荷迅速
釜山辨天町一丁目 合資會社 大黑南海堂 電話長四〇五 三七一 振替京城四五六

宮內省御用達 千葉縣銚子港 銚子醬油株式會社釀造


代理店 京城明治町二丁目 山邑酒造株式會社京城支店 電話長八五九番・一四五四番 振替貯金口座京城七五番


流石本場で陶冶されたゞけあつて辛いが併しその辛さは例へば高士の嚴しさの如く老幼婦女子も懷しみ且つ嗜好を進める辛さであります
星印ソース

羅紗と毛布と毛絲
東京横濱ノ全滅ハ日本ニ於テ販賣スル羅紗ノ七割以上ヲ燒失シ時恰モ多物季節ヲ目前ニ滿ヲ持シテノ災害ハ忽チ日本全國ノ羅紗相場ヲ暴騰セシムルハ火ヲ觀ルヨリモ明ナリ滿洲朝鮮ノ羅紗屋洋服屋ノ多クハ其供給ヲ受ケツツアリシヲ以テ其成リ行キヤ知ルベキノミ然レドモ白木屋洋服店ガ販賣スル羅紗及ビ毛布ハ全部英國ヨリ輸着シ居ルヲ以テ些ノ動搖ヲ感ゼズ亦一錢ノ値上ゲノ必要ヲ認メズ益々安價ニ良品ヲ提供シ平素ノ御恩報謝ヲ此秋ニ充分奉仕スル事ヲ喜ビ且ツ大ニ得意トシ自慢スル處ニ有之候
スコッチ 多服地 一ヤール付 金三圓 金五圓
メルトン 多服地・オーバコート地 二ヤール付 金五圓 金六圓 金七圓 金十圓
不變色サアジ 紺 合服地・多服地・極厚服地 一ヤール付 金六圓 金七圓 金八圓 金十六圓
禮服地 一ヤール付 金拾圓 金拾三圓
縞ズボン地 一ヤール付 金七圓
學生服地紺ヘル 一ヤール付 金三圓 金六圓
白毛布純毛 一等 拾二圓（巾五尺六寸長七尺 量目五百五十匁）二等 拾圓（巾五尺六寸長七尺 量目四百五十匁）
寢室用同 三等 八圓（巾五尺六寸長七尺 量目三百五十匁）
旅行用縞毛布純ラクダ 一等廿五圓 二等廿四圓 三等廿三圓（巾五尺二寸 長六尺 量目六百匁）
小包料 一枚に付 滿洲・朝鮮・內地 四十五錢・六十錢・七十五錢
毛糸 編物用 一ポンド 二圓五十錢 三圓 百廿匁
英國織物直輸入 品質自慢 安賣道樂
大連大山通り 白木屋洋服店 電話代表番號五一七五番 五四〇番 振替口座（大連）

內科 眼科 小兒科 本田病院 京城黃金町三丁目永樂町通り 院長 本田建義 入院隨意 附屬 京城肛門病痔疾療院 普通病室 隔離病室 病院用電話本局二四〇三番 自宅用電話本局二〇九番 振替京城三二一二八番

痔疾專門 入院隨意 京城久枝肛門病院 京城明治町二ノ三二 電話本局二一〇二番 病院用三七二二番

當落の岐路に立つ 府議候補總まくり
決戰の日は愈よ切迫した 鹿逐ふ人々の胸中や如何

京城府會の選擧戰もいよく瀬戸際といふ段になつて所謂お天氣見の連中がノコく現れ定員三十名のところへ候補者四十三名となつたので一大白兵戰となり火花を散らしての大混戰の運動振は傍觀してゐても快い位、然し當の本人の身になつて見ると殆ど夜の目も眠らないで智力を絞り警策をめぐらして暗中飛躍し中には淡白な態度を放つて遂に内迫戰を演出し親戚も分らぬ大亂の死物狂ひとなつて阿修羅の如く東奔西走すれば「狂者走れば不狂者も亦走る」の譬で運動屋と稱するものがカレコレ騒ぐと目さるゝ者、親兄弟も親族縁者もみな來い來いで選擧戰後の血眼思ひ茲に至るとうたゝ哀愁の情を禁じ得ない、『我こそはと……』と自惚だけはあつても誰が誰でも此内十三名は落選の憂目を見ねばならぬ、その最後の決戰日たる二十日も目捷の間に迫つた、武者振立つた勇士の胸中や如何、茲に記者は内地人側候補者の謦咳を紹介したいと思ふ

府政の樞機に參した人 服部豊吉君

服部豊吉氏は明治四十年統監府度支部會計檢查局の書記官となり日韓併合後朝鮮總督府度支部土木局事務官大正六年より金谷、吉村の二代の府尹の下に第一課長として十年一月まで大小の府政の樞機に參し十年一月官途を辭し中央物産會社の社長となつた人である、氏は語る

府協議會はやがて來るべき自治團體の前提である、諮問機關ではあるが茲で充分の仕事が出來ないは力が薄弱で充分の自治團體とし度い、京城市街を一覧するに何等の秩序もなく何等の組織的基礎がない都市はその膨大するに從つて保安、衛生其他の見地から整然たる組織を必要とする現在の京城都市研究會をもつと完備したものにしたい、下水工事は第一期計畫の幹線は竣工した、更に第二期の各支線の完成を待つて始めて完全となる、獎忠壇訓練院の外北部並に龍山に各一箇所の公園を設置したい、電氣事業は當然府に於て經營すべきものである、何れの都市も市營である、京城に於ても一日も早く市營に引直さなければならぬ、毎夏制限給水又は斷水を繰返してゐる水道も是非根本的に擴張の必要を認める、京城の多年の懸案なる汚物處分、道路の改修、局部改修も必要であり消防隊の増設完備等は一日も忽せにならぬ問題である。

當面の大問題を掲げて 堀直喜君

ドアーを押して玄關に入ればストーブを圍んで居た人相の好い爺さんと若い書生が起上がて迎へる三和土には五六足の靴が並んで居る二階から降りて來た主人公、堀君は快活さうに『いや決して樂觀どころの話じやありません、全く惡戰苦鬪です、まア何卒』と歯切れの良い口調で應接室へ導いた此の年若い候補者は熊本縣熊本市の産で大正三年東京帝國大學法科を卒業し内地に於いて判事を勤め大正五年朝鮮總督府判事に任ぜられ主として京城に在任し同十年官を辭して辯護士を開業し法曹界に其の人ありと認められて居る當年三十六歳の新進氣鋭である、堀君の頭腦明敏なる事は反對者ふまでも無い所であるが職業の傍ら政治に趣味を有して居る、今回の出馬に當り同君は

『私は京城府に安住の地を得て居りますが故に京城府に對しては深甚なる愛着の念を有し從つて其の大發展を希望すると同時に府民諸君の福祉を祈念して止まないものであります、此故に今回舉行せらるゝ京城府協議會員の改選に當り不肖自ら恐れず其立候補を致しました、私は府政に關し豫てから次の樣な事が實現されるならば非常に結構な事と思つて居ります即ち(一)京城府政自治の實現、(二)府民負擔の輕減(三)獨占的事業の府營實現、(四)都市計畫の完成促進』

と斯う云ふ當面の大問題を振翳して敢然と起つた、前途遙々たる少壯有爲の議員が幸に當選し得たならば府協議會に一段の生彩と異彩とを副へるであらう、堀君は以前撞球とか圍碁とか狩獵などに多少趣味を有して居たが辯護士を開業して以來是等の娛樂を拋棄し專ら業務に執着して居ると

巴御前が必死の運動 高木德彌君

『本町一丁目から一人も府協議員を出さぬのは餘り府政に對して冷淡なやうで……』と町内の有志からヤンヤンと肥滿せる軀幹を擔がれて出馬した高木德彌君は孝行息子の評判で名高い岐阜縣養老の瀧の近郷に生れ當年六十一歳の好々爺、約三十年前に京城へ來て雜貨商を營み煙草が專賣になると共に京城煙草元賣捌株式會社の社長となり元煙草會議所議員を勤めた事もあり現に町總代として町内の爲に努力して居る有志の態度で斷りかねて今度の選擧の陣頭に打つて出るべく決心の臍を固め戰鬪の準備をさくく怠りなき折柄病魔に魅られ野戰病院ならぬ池田病院のベツトに身を横たへて刻々來る戰報を耳にしては『決して他の候補者の地盤を切り崩さぬ樣に』と心を千々に碎いているといふ『課稅の負擔を輕くせよ、都市計畫の實現を速進し市區の完成を計れ』とは君の持論で何より好きな晩酌の盃を、骨董をいぢりながらも此の抱負を忘れた事がない、夫人さだ子は長崎の産で、男優りの女丈夫君の一大事とあつて自ら陣頭に進め三軍を叱咤……も大袈裟だが數多の運動員を督勵しながら勵々奮迅する雄々しさは、元龜の昔、近江粟津ケ原に愛人木曾義仲を援けて奮戰した巴御前の面影がある

京城府の完成の爲に 高山孝行君

明治十五年十一月富山縣東礪波郡の産で同三十一年に居村の收入役に擧げられ其後村農會副會長株式會社取締役重役等に推され同四十年朝鮮に渡り牧畜業を經營する事十年現に朝鮮土地株式會社取締役、朝鮮特産物株式會社々長を兼ね學校組合議員である

氏は理路整然たる辯論の雄者で昨年の大旱が未だ完く癒えない

◇立候補の理由　先輩の慫慂有志の勸告

◇抱負經綸　思ふに京城府は關東大震災の餘響を受けて前古稀有の財的苦艱に逢遭してゐる、然るに府政の現狀を觀るに未だ施設すべき多くの事業が殘されてゐる、府勢の伸暢に關しては深甚の考慮と研究を要する、現在の府營事業は敢て不經濟とすべからざるものを府營とし當然府營とすることに依つて府民の福利を增進すべき事業にして放置されてゐるものがある、京城府の伸暢の爲めに施設すべき事業は枚擧に遑がない、震災、事業公債打切豫算縮少と總て悲觀材料許りであるが府民の福利を增進し生活の安定を計る施設は一日と雖も疎かには出來ない、何れを先にし何れを後にすべきか、事業の先後も考慮しなければならぬ從來府營とし來つた所の事業でも府民の享くる福利の淡きものは之を整理刷新しなければならぬ京城府は完成への途中にある幸に府民諸君と府政に對する研究を積みこの京城府完成への事業のために一臂の力になり度いと思ふ

毎日刻めいに戸別訪問 武上安一君

日出小學校横の路次を入つて左に折れると武上安一君の選擧事務所がある、選擧事務所に通ると机上には推薦狀なんぞが取散らされて居た當の武上君は今しがた戸別訪問より歸つたばかり洋服も脱がず語る

『學歴はないが多年總督府に奉職し傍ら侯城義塾、日出、壽町總代、京城神社大總代の職に就き本年三月官を辭した、立候補の動機は府民の義務として此般の公共事業に盡力するのは當然であるのに官職にあつた爲自由を得ず先般職を辭したので比較的自由の身となり素志を實行する時機が來た爲である、地盤と云つても各官廳會社と町内位のもので毎日戸別訪問して居るもの丶樂觀は許されぬ』

傍らに居た奥さんは『どうかして皆樣のお仲間入りしたいものです』と合槌を打つて居たが主人の緊張した面持を見て『これも皆樣方の同情に縋るより外はありません』と宜しく内助振りを發揮して居た、明治五年大分縣下毛郡眞坂村に生れ中學校を卒業したのみで高等官に躍進したのに徴して其人物の一端が窺はれる、抱負は自治的府政の發展を促し課稅の基本調査の正確と公平を促すこと等

使つて見れば使へる男 竹内菊太郎君

十七日午前十時君を漢江通りの自宅に訪問する、日當りの好い裏庭に面した机で新聞に餘念がない、『お忙中ではありですか』と云ふと『いや昨晩遲かつたので……時に形勢はどうです』と反對に切出して置いて偖語る

『立候補の理由動機ですか、新龍山方面からの立候補者があまり無し町内の人も勸めて下さるので起つたような譯です後で福島が起つたと聞いて友達同志で如何しようかと思つて居りましたが皆樣が竹内は使つて見れば使へる男と推薦してなつたので御承知の無資産者ですが斷然奮鬪する事になりました、御覽の通り友人や有志の方々が手辨當で熱心に應援して下さるので皆樣の尻に附いてでも當選し度と思つて居ます、府政に對する抱負…、それは澤山ありますが要するに府尹をして府尹らしい仕事をさせ度い、城南發展會の仕事も澤山あると思つて居ます』

君は明治二年十一月十九日新潟縣中頸城郡有田村字春に生れた、明治二十一年官界に入り鐵道局に入り同二十五年判任同四十年奏任となり同時に朝鮮總督府鐵道局事務官となり京城に來任し爾後副參事から參事に昇進し大正四年三月退職したのである現在は漢江通り十六番地で新炭商を經營し大正十一年新龍山金融組合創立と同時に理事となつて今日に及んだ

國母陛下 綿入を御下賜 罹災民の身を案じ給ひて

畏くも皇后陛下には此冬期に雨露を凌ぐ罹災民の身の上を痛く御案じ遊ばされ特に大人綿入五千枚子供綿入五千枚を御下賜相成ることになり思召を拜し目下女子學習院常磐會並に實踐女學校に於て縫製中である(東京電報)

府政に對しては白紙 中井忠三君

櫻井町から推された中井忠三君は明治三年愛知縣櫻井町に生れ東京陸軍士官學校の前身たる教導團に入つたが病氣の爲中途退學し爾來法律學校等に學んだ、明治卅七年以來京城に居住し酒造業を營んで居る、現公職としては京城酒造組合長、食料品商組合長、全鮮酒造聯合會長、優城金融組合長等を兼ねて居る、選擧事務所に訪へば中井君は留守であつたが賢さうな令息や五六人の參謀に迎へられた、

『父が立つた動機つて別にありません、只町内の方々から推されましたのと花園町、黄金町四丁目、林町及び食料品組合の方々から薦められましたのでツイ立つ事になりました、東部方面には下水問題や道路問題等が横たはつて居りますので推さるゝまゝに立ちましたが果して御期待に添ひ得るか如何かは疑問です、田中さんが出て下されば何も問題はないのですが……併し折角推して下さるのですから府政に對しては白紙でも出來得る丈けは盡すと力んで居ます、父は謡もやれば碁も打ちますし比較的多趣味な方であります』

參謀の一人『町内は熱誠に結束して居ます、私等は中井さんに多年御世話になつて居りますので、せめてもの御恩報じの積りでやつて居るのですから決して他からの侵入は許しません』と中井君の雄鋭ぶりは之に依つて窺ひ知るべしである

當日は家内總出で接待 曾我勉君

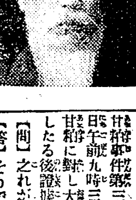
立候補武上君の選擧事務所の隣は曾我勉君の自宅である、事務所を黄金町三丁目に設け連日連夜戸別訪問に努めて居るが總代、教育會と會社を勤めて居る佛教青年會と云ふ方面の地盤の投票があり黄金町三丁目を中心に本町三丁目、南山町三丁目、旭町まで侵入して居る選擧當日は家族總出で接待すると其日の來るのを今や遲しと待構へて居る、君は東京の人で明治元年十一月四谷區五番町に呱々の聲を揚げ明治法律學校を卒業して渡米したが歸朝後間もなく渡鮮し京城にあること實に卅一年居留民團議員商業會議所議員學校組合議員の要職にあり今回は自治の實現を標榜して蹶起したのである

友人が手辨當で運動 梅林卯三郎君

西四軒町の梅林旅館に選擧事務所を置いてゐるが氏が渡鮮した時初めて此旅館に止宿したのが緣となり此度の選擧も主人が義俠的に自分の家を使用せしめてゐるとの事だ恰度本年が不惑の四十歳、郷里は鳥取縣であつて赤門出の法學士である、現に京城鐵道金融組合理事長を勤めてゐる、京城に初めて渡鮮したのが大正三年であると云ふから一昔の前から京城に居住してゐる譯である、趣味としては冬になれば鐵砲を肩にして野山を驅巡るが關の山で他にこれと云ふ趣味もないらしい

『府民の自由意思に基く清き一票を集め選擧界の廓清を圖りたいと云ふ理想を有てゐる、それから府を健全なる自治團體とせねばならぬ、我等は之に向つて最善の努力をせねばならぬ』と力んである、選擧事務所に集まつた五六人の人達は皆氏の爲めに手辨當持ちで一生懸命に運動してゐるが、何分各自に職があるので殆ど夜間を利用して努力してゐる『當落は時の運ですが努力だけはして見るつもりです』と眉宇の間に決心の色が漲つて居るが、ムツツリとして無口で何方かと云へば無愛想な方であるが然し笑ふ時に目尻に皺が寄る處に愛嬌がある

老軀に鞭つて邁進する 大垣丈夫君



萬延元年生れ渡鮮後、明治十八年慶應義塾卒業、同十九年大和新聞主筆、次いで新潟新聞主筆となり同三十年東京さくら新聞社長に就任同三十七年渡鮮大韓自強會を起し之れが顧問となり現に大東斯文會顧問、大正親睦會相談役、儒教經典研究會理事、京城府協議會員と學校組合議員を兼ねてゐる立候補に就て旭町二丁目の私邸に訪へば氏は雪白の髯鬚を撫して語る

『政見など云ひ度くない國政を議する代議士なら知らぬこと代議士の政見が市政の政見となり町政の政見と低下して來たのである、選擧人としても被選擧人としても必須の條件は(一)公平にして私なきこと(二)常識を完備して勤勉なるとの二項に盡きる、民團以來公職にあり府政の樞機に參し其内幕を知つて窃かに土地の買收をなすなどは紳士として天下の物笑ひである又自家營業の關係から問題中樂日の出席もせぬ人がある、止むを得ない事とは言ひ條公職者として決して適任とは言へない候補者も選擧人も相俱に考慮すべきことである、將來の理想抱負については只一意府民の福利の爲めに老驥に鞭つて機に臨み變に應じて整策實行するまでゞある』

五十の坂を越した新人 大村百藏君

明治三年七月二十三日生れと云へば本年五十四歳、老練の域に達した年、新井市郷下八十一番地に生れ中學卒業後大東新聞主筆たりし事があり明治四十四年渡鮮し、民團時代に龍山民團議員に當選され爾來龍山方面の事業を始め、民團時代に龍山民團長代理を勤め大正三年選ばれて學校組合議員となり現職員である、現在は大同生命保險社員として活動し目下市民大會代表として東上朝鮮財政救濟のため奔走中で選擧期日までには歸鮮しない相である、從つて氏の抱負經綸は聞かれないが現職員としては條理整然たる議論をなし新思想の所有者新人として上下に受けの好い人である、氏は東上不在中、新龍山有志懇談會で擧國一致的に推されたもので元町自宅の選擧事務所には乗吉秋山松本執行者などが詰め切つて盛んに運動中である

年に似合はぬ白頭翁 益永十作君

理想選擧、虚禮打破を標榜して立つた益永十作君は明治十二年生れ當年四十五歳の男盛りであるが年にも似合ぬ白髮の爺さんである、標榜が標榜だけに他の候補者の樣に運動員が居るでもない、丁度訪ねて行つた時は十四五歳も若かりさうな美しい奧さんと差向ひで食事中であつた、益永君も熊本縣の産であると云ふが今回の立候補には熊本會が四名ある、勝木、大城君、平山君、澤田君、益永君である、同君は明治三十九年渡鮮統監府に入り四十三年居留民團の助役候補となつた、新聞事業にも關係し其後三和酒會等を經營して現在では民事刑事辯護事務局を經營して居る、京城府在任十有八年、比較的古參の方である今回立候補の動機は選擧革正が主なるものであるが同君は府内に古い關係が多いので是等の有職者を地盤として全く獨力で戸別訪問をなし傍に理想選擧の實現に努めて居る、府政に對する抱負としては

『大小種々あるにはありますが私は選擧以前に於いて麗々しく箇條を並べ立てる樣な事を輕率にしたくないのであります、若し幸に當選しましたならば私は議會並に府民に對して最も忠實な議員でありたいと覺悟して居ます、趣味ですか――私は書畫骨董が好きでして大正五年以來朝鮮美術同好會を組織して居ます』

笑つて會ふ日が來るか 福島清一郎君

新龍山三角地を地盤に猛然と起つた福島君今夏の學校組合議員の候補を潔く寺尾君に讓つたのは殊勝て今日あるを思はしめた、君は埼玉縣兒玉郡北原村大字北堀四七の生れ本年五十一歳の働き盛りだ正式な學問はあまりしないが書物は澤山持つてゐる質に法律、宗教、哲學の類である家は軍用雜貨專門を經營し同町の總代で府内候補と同樣新龍山金融組合理事である同君は語る

『新龍山から竹内君と二人起ちましたがお互に手を引き合つて行き度いと思つて居ます、私の立候補の理由は府民を代表する議員は必ずしも一流や凄い學者のみに限られて居る譯ではなく私のような平凡なものでも努力次第では諸君の期待に副へない事はないと確信したからです立候補に新龍山までには種々な曲折もありましたけれど私は初一念を曲げる事なく起つた次第です私は非常に京城を愛すると共に地方的にも龍山を愛します今後大京城は南に發展する事は否定し出來ない事ですから都市計畫なども種々研究して見たいと思ひます運動は竹内君と協定して絶對に御互の地盤を侵略しない事にしてあります、有志や友人の方が熱心に骨折つて下さるので或は近く笑つて會ふ日が來るだらうと思ひます』

病後の疲勞も忘れて 古城梅溪君

『京城は今まで設備に於て施設を要する事業は枚擧に遑ないが先立つものは財源の問題です、何と云へば起債ぢやソレ増稅ぢやと來ては京城の發展も全く心細い次第です、何しろ府民の課稅は十年に七倍の負擔となつてゐる重稅に堪へ得ぬから滞納者が殖えるのぢや、私は此上の増稅には大反對です、そこで私の考へでは府の財源を得る一策として南山の裏手にある五百萬坪の國有林を拂下げ之に府營住宅を建設すれば五百萬圓乃至一千萬圓の財源を得らるゝ事は容易である』

古城梅溪君は病後の疲勞も忘れて府政に對する抱負をまくり立てるセルの袴に五つ紋付を羽織つて座敷に納まつた恰好は熊谷人の好い紳士といふところ六十三年前に大分縣東國東郡熊毛村の片田舍に生れ甲種醫學校を卒業し明治十九年渡鮮以來、卅年間も民團議員を勤め引き繼いで府協議員の職にあつた丈け府政に對しても一定の政見を有し其論ずるも隨手たるものがあつて衞生界の完成(就中汚物の處分法)電車の府營、財源問題、課稅の輕減等に就て滔々と意見を述べる、そして『他の候補者諸君の發表された所の政見には私も贊成です、皆立派な事を云つて居られるので其以上には一つも反對すべき點がありません』となかく老巧な處を見せる、趣味は讀書と詩と圍碁

中正穩健なる人格者 肥塚正太君

肥塚正太君は明治二年十一月山口縣吉敷郡の産で、二十七年東京獸醫學校を卒業し東京にて煉乳製造業を創始し次いで神戸に畜産會社及家畜市場神戸屠畜會社を創設之が取締役に擧げられ四十一年渡鮮、朝鮮畜産會社を創立し社長となり四十三年辭して蓬萊町四丁目に獸醫牧場を起し傍ら京城南大門外金融組合の會長を勤めてゐる、同君は現府協議員で常に府民の愛顧を基礎として侃々諤々の氣を出して夙に民衆の輿望を負ひ今回再び推されて起ち蓬萊町を始めとして門外及び門内に地盤を占め今回の立候補中最も安全に最も強固な地歩を占めてゐる一人であるのも亦偶然ではない、然るに今回の選擧は異常の爭奪戰が行はれるので同君の地歩も幾分搖るいた感はあるが同君の人格と力量とを信頼し倚藉する多數の有權者の擁護は決して同君をして悲境に陷らしめる樣な事は萬々あるまいと推測されてゐる

生れ付いての政治好き 恵日守穗君

西龍山榮町の自宅に選擧事務所を設けた恵日守穗君、運動員と一緒になつて頻に活動して居る、記者が刺を通じると遠慮なく上つて下さいと云ふ、本年三十九歳の頑丈なドツシリした禪だ、廣島縣比婆郡美古登村大字九〇番が君の原籍である、君は經歴なんか聞はれたら困りますと云ふが曹洞宗中學林をやり兼ねて僧侶となつて渡鮮したのが今から十三年前である、渡鮮後は代書業を始めて今に及んで居る、君は生れ付き政治が好きで年來の希望を今回實現させ度いと云つて居る

府の二重監督制を撤廢し從來の府協議會を諮問機關とせず議決機關とし自治制を施行する事が急務であると思ひます幸にして當選したら是非此方面に活動し度いと思つて居ます御承知の通り至つて貧弱な財政ですから他の候補者のように派手な運動も出來ず鮮人方面に運動して居ますが今日などは一票頂くに三十分もかゝりました此分だと愚日を當選させるには一二年遊説しなければなりません……それでも死ぬ覺悟で奮鬪して居ます

と意氣頗る旺なものがある

實盛の古事が偲ばれる 安藤靜君

元治元年生れの當年五十九歳であるといふが年の割合に大變若く見える一見五十二三位にしか見えぬ薄くなつた髮の生際が白い處を見ると白毛染で染めてゐるのぢやないかとも思はるゝ、齋藤實盛が白毛を染めて馬を陣頭に進めた古事を聯想する

『戸籍は今東京にありますが郷里は愛知縣西春日井郡の豐山村です、學歷と申すと中央法政の前身を卒へました、公職と云ふのは現に府協議員をしてゐるだけです、事業としては高麗人參合資會社をやつてゐるのと朝鮮官價通信社を經營してゐます、私が京城に來てから何年になるかと云ふのですか、左樣、もう十七年になります、趣味は謠曲、義太夫、和歌、俳句等に興味を有つてゐますよ、聲を出す事に興味を有つてゐます、立候補の動機、府政に對する抱負經綸ですか、それは宣言書に書いてありますから御覽ください』

と事務室の火鉢に手を翳しながら語つてゐたが其態度に落着きがあつて親しみがある人である何でも當選圈内に入れば強ち高點を望まないと云ふ主義らしい

立志傳中の人で働盛り 平山利治君

今回の立候補者中で最年少者は恐らく平山利治君であらう、君は當年とつて漸く三十四歳の青年である、堀君と同じく熊本市の生れであるが堀君のやうに赤門系統でも何でもない、學歷としては餘りないのであるが平山君は夙に判任文官試驗に合格し警察官を振出しに累進して道保安課長となつた、此の間同君は小成に安んぜず拮据勉勵も倦まず遂に一回で見事に辯護士試驗に合格したのである、如何に勤勉力行の男であるか、如何に意志の強固な頭の良い男であるかは此が說明する、道理で平山君は歳よりも遙に四つか五つはふけて見える、大正八年以來京城に辯護士を開業して既に定評がある、去る六月學校組合會議員の改選に當り九百幾十票と云ふ破天荒な最高點で見事に當選した君は今回又復府協議會員の立候補となつて盛に活躍し相當強固な地盤を占めて居る、同君が立候補の動機や府政に對する抱負經綸は其の宣言して居る條々に躍如たるものがある、即ち曰く

(一)都市文化施設の地域的普遍化、(二)消防機關の昇格と其の徹底的内容充實、(三)大都市計畫の確立、(四)學校組合を廢して府の自治へ(五)獨占的公益的事業の府營移管、(六)府民負擔の衡平、と。平山君は讀書する事が唯一の趣味で圍碁も少しはやるが決して耽る方ではなく酒も嗜まず從つて待合方面へは絶對に脚を踏まない人物であると

三上興三君　内地旅行中であつた爲め訪問の機會を得ず從つて茲に紹介するを得ぬのは頗る遺憾である

商賣柄に似合ぬ雄辯家 澤田清君

南山の翠を取込んだ南山町の高臺に『一田園』と云ふ軒燈を掲げた粹な邸宅、澤田君は即ち料理屋の阿父つさんなのである。商賣柄に似合はず雄辯舌も立てば議論も立つと思つたらそれも道理元は熊本の醫として神官の家に生れて相當に學問もしたとある。デップリと肥つた好々爺、色艶のよい顏を見ると是が今年五十七歳のお爺さんとは何うしても受取れぬ位……『格別學問はないが是で生きた學問はして居る積りです』と云ひながら澤田君はポツリ/\と語り出す『町内から推されて止を得ず起ちはしたものゝ偖甚だ心細い形勢です然し町内の人々が手辨當で熱心に運動して下さるので府政に對する抱負として第一に上げたいのは課稅の公平を圖る事殊に助興稅の如き惡稅の撤廢を期する事である第二は現在府の事業の中には全く秘密になつて居るものが少くないから是に當選したならば府民の福利を増進する爲に適當の機會に於て之が公開を要求したいと思ふ、此の外にもまだあるが要するに私は徒に遠大な理想を說き度くない、先づ比較的實行の易いものから手を染めて行きたいと思つて居る』

と料理屋の阿父つさん却々理窟を捏ねる地盤は南山町二丁目同業會料理屋組合三業會等であるが實際は澤田君の云ふ程心細い形勢ではないらしい『當選を……』と云ふと『此の上選を願して何うなりますか』とニコ/\顏、果て面妖な

甘粕事件第二回公判(第二日)
小供の殺し方を私から聞いたと上等兵達が申すなら それも事實だらうと思ひます
曖昧な甘粕の陳述

甘粕事件第二回公判は引續き十七日午前九時三十分開廷、法務官は甘粕に對し大杉の行動に付き訊問したる後證據品として繩を示し

【問】之れが大杉を絞した繩か

【答】さうであります

次ぎに平井に對し立證をしてゐた模樣を陳述せしめ甘粕が平井を呼んだかと質せば甘粕は呼ばないと云ひ平井は呼ばれたと述べ兩者の供述に齟齬を生じた處法務官は之れで事實調べを終つたから、證據調べに入る旨を告げ最初からの各被告の陳述の大要を讀み聞かせ被告の調書の關聯を各被告に示し間違ひなきかと質し各被告は間違ひなき旨を答ふ

法務官は甘粕に對し淀橋署が尾行を解くと云つたから殺意が生じたと云ふ事に付二、三の訊問を爲し甘粕は決心した顚末を陳述す

法務官甘粕に對し

【問】上等兵等は子供(宗一)を殺す方法を大尉から聞いたと申立てゐる、その點は如何か

【答】私は言つた覺えがありませんが聞いた者があると云ふならば其方が事實と思ひます

と述べ次いで其他の被告に對しても陳述の不明なる點を再度取調べ正午休憩

午後一時十分再開辯護士の質問に入り總山辯護士は甘粕に對し

【問】淀橋署長は被告の事につき何かと聞いたらヨシ/\と答へて置けば良いと上等兵に言つてゐるが其意味は何か

【答】それは淀橋署が諒解してゐるからヨシ/\と言つて置けばよいと云ふ意味であります

【問】森があなたが子供を殺さなければ私が殺すと云つたのは被告が子供を殺す事を制止した譯であるか

【答】制止した譯ではありません同意した丈けであります

と答へ更に鴨志田上等兵に對し淀橋署に行つた事などの問答あり森山辯護士は尚甘粕に對し種々質問したがその言葉の中に國家に貢獻すると云ふことがあつたので法務官は貢獻とは何の意味かと云ふと甘粕はそれは人を殺すことであります

『國家に貢獻する』とは人を殺す事であります』 滿場を笑はせた甘粕の答へ

と答へたので塚本法務官以下滿場哄笑し同被告は尚甘粕に此際被告等の意見なりあらば申立よと告げると甘粕は『世間は軍人を特別の人種の如く考へてゐるのは遺憾に堪へぬ』と前提して社會と軍人との關係などを述べ

鳥水亭　すき燒　先久家　本町三丁目大樂舘横　電本一三八三

學藝會の椿事 五十餘名負傷

足尾銅山小學校では十六日學藝會を催したが二階陷落し生徒父兄二百餘名墜落し五十餘名の重輕傷者を出した(足尾電報)

女理學士
故島田氏葬儀

魂の力（第百十六回）

中川雨之助作　小寺柳村畫

陥穽

「京子！、僕の言つたことに、間違えが有るだらう？」

大館はモウ一度念を押すやうに云つた。が併し京子は返事をする勇氣さへ無かつた。

「では、何も彼も諦めて遁げやうかね」

大館は皮肉らしく言つて、更に京子の方へ詰め寄つて來た。

「東洋館の座敷で、お前が僕の細から二千圓の手附を受取つて居る所を、丁度僕が障子の隙間から覗いてゐたのさ、しかもお前は、僕たちが相談があつて、席を變へた後で、僕に無斷で、誰も居ない所でコツソリ受取つて呉れたやうだつたね。あの時丁度、僕は要事があつて座敷へ入つて行かふとすると其の始末なんだらう。いくら僕だつて、些とは驚くだらうぢやないか、は、、、」

大館の言葉は、火の粉のやうな鋭さで、京子の頭上から降り注いで來た。彼女はモウ大館のために手足を縛り上げられてしまつたやうな慘めさを感じた。

大館が彼の秘密を知つてゐたとすれば、今日病院の前で、自分を待ち受けてゐたのも、承知ふして夜遅くまで引止すのも、理由の有ることだと思つた。何方にしても京子は敵の陥穽へ、まんまと落ちてしまつたやうな氣がした。

『大館さん、面目も無いことを致しました。實はねえ、今日お目に懸つたのを幸ひに、お詫をしてお金をお返ししやう／＼と思ひながら、つい言ひそゝくれて終つたのです。ほんの一時の出來心で、あんな事を致しましたが、今になつて考へてみると、何うしてあんな淺間しい心になつたのだらうかと我ながら不思議に思はれるほどです。ねえ大館さん、屹度私を助けると思召して私の罪を許して下さい。お金は確にちやんと持て居るのですから、お返しいたします』

京子は纖弱是だけのことを言つた。

彼女が、今でも二千圓の金を持てゐるといふのが大館には寧ろ不思議であつた。金は、たとひ全部でなくても、幾分一郎のために、手が附けられてゐるだらうと思ひ込んでゐたのであつた。

「今更、金を僕に返したつて、それでお前の罪が消えるといふ譯ぢや無いから」

「それは然うですけれど……」と

京子は切なさうに太息を吐いた。

「だからさ、然な野暮を言はないで、あれはあれで、僕から手附を受取つたことにして置けば宜いだらう。僕の方が何も言はずに默つて翻けて出て居るんぢやないか、よく言ふ奴だが、魚心あれば水心といふことを知つてゐるだらう」

「では、私は何うすれば宜いのです」

『何うも斯うもないさ、僕の言ふことを肯て素直に身受をされて終ふのだね』

京子は又默つてしまつた。

『僕だつて好い顏をして、斯なことを言ひたくは無いさ。だが是もやつぱり、お前のことを何とか思つて居ればこそなんだから、少しは其邊の心持も察して貰はないぢや困るよ。ねえ京子、何も今更考へてごらん』

それでも京子は默然つてゐた。

『お前は、金を其處に持つてゐると云つたね。その金は、お前の心次第で、或はお前の前途を、暗黒に葬つてしまふ恐ろしい運命の鍵となるかも知れないんだ……僕の此の口の動き方一つで、お前は直に罪人になつて終はなきやならないんだらう……斯な事に分り切つたことを、今更考へてみることも何も無いぢやないか』

大館の執著は蛇のやうに、京子の心に絡み附いて來た。

松（御用の實重匠登錄中）名菓不老まんぢう 一個五錢　明治町木村屋（電本二八七〇）

江戸趣味 蒲燒 川長

京日文苑 投稿歡迎

漢詩 題「雪」尾上柴舟選
俳句 題「入營」内藤鳴雪選
川柳 題「義理」井上劍花坊選
締切 十一月卅日（各題共）
賞金 天一圓半、地一圓、人半圓
注意 一題一人三句、各別紙、用紙葉書、雅號住所氏名明記、京城日報社「京日文苑」宛の事
其他 各吟會報歡迎

俳句 内藤鳴雪選

題「月」──（七）──

○照川 威誠
鐵橋の月は更けたり夜歌

○照川 梅村
月代やトンネルぬけて旅の人

○忠州 陽山
夕闇や月出るまでに虫を聞く

川柳 井上劍花坊選

題「踊」……七……

○金涌 金涌子
踊會空手で踊る奴もあり

○水子洞 杜茂嘉
今踊る／＼と香具師は人を釣り

○京城 赤短冊
踊子は城壇の様によく揃ひ

○照川 威誠
子の位牌持つて踊の列に入り

○京城 かほる
踊衣裳の儘で來てよろこばせ

○草梁 正午
鳴呆に踊の師匠汗を拭き
叩く弾く踊る藝者の慰安會
鉦太鼓腹藥的に戸と踊り

○金泉 含笑亭
妓生の踊に淡い灯が點り
柔道の樣な手つきでダンス也
足拍子手拍子踊に狂ふ樣

次回新小說豫告

連載中の新小說「魂の力」は愈々百二十回を以て大好評裡に終了を告ぐることゝなりました就ては引つゞき掲載すべき新小說は

炎後の戀

上司小劍　挿畫 伊東深水筆

一夜のうちに、大東京の半を焦土にした恐ろしい災の後にも、優しい戀の花のみは、大戰地に散らされず、大火事に燒かれず、もとの美しい形をして咲き匂つてゐる。大自然の力も、男女の强い一念をどうすることも出來なかつた。燒跡のバラツクに咲くこの戀の花が、これからどんなに世の荒波に揉まれて、いかなる實を結ぶであらうか。町家の娘と或る詩人との戀！若い二人は滌れ／＼て、遠く北國士へまでも彷徨て行く。哀れ深い物語りがこの一編である。新鮮清新、構想幽奇、且作家は我國文壇の大家として既に定評あり必ずや熱狂的歡迎を受くることゝ信じます

朝鮮の讀者に見ゆるは今回が初めて！

自分の名を署して朝鮮新聞に掲げられた『二つの秘密』は斷じて自作ではない

上司小劍

京城の朝鮮新聞とやらに、私の作として『二つの秘密』と題する長篇が載つたことがあるさうな。私には今日まで『二つの秘密』といふ作はない。多分何かの間ちがひか同名異人の作であらうと思ふ。しかし、さうした間ちがひや、同名異人は、私にとつて甚だ困つたことである。少くとも、東京の文壇──日本の文壇──には、私と同姓同名の人がゐない筈である。小說は商品でないから、僞ものが現れたとて商標を登錄して商賣をしてゐるのでないから、作者の姓名やそれをどうするといふわけにも行かないかも知れないが、それだけ、德義上から言つて許されない事でもあらうと思ふ。たとへばこゝに德川家康と名乗る人が現れたとて、其の子孫から彼れ是れ苦情は言はれないであらう。しかし、おこがましくも德川家康と名乗る人はいくら鐵面皮な人間にもないやうである。何等の影響を其の歷史上の本人にも、或は現存の子孫にも及ぼさない人間の名前にでも、さうした遠慮はあつて欲しいものである。まして作家として立つてゐるもの、姓名を其のまゝ名乗つて、同じやうに小說なぞを書くといふことは、書いた人に取つて別に何ともないか知れないけれど、書かれたものには、ずゐぶんの迷惑であることを察していたゞきたい──しかしこんなことをいくら繰かへしてみたとて、鐵面皮な恥知らずにかゝつては往生である。──今度この京城日報に私が長篇を書くにあたつて、ほんたうの私が朝鮮の讀者に見ゆるのは、今回が最初であることを證明させていたゞくにとゞめやう。

○愛二浦 乾雨
月をしみ／＼別れて瘦たりけり

○尙州 猛獸
人去て月の渚や捨小舟

○京城 李雨史
手を引いて月に町の子唄ひけり

○京城 十五夜
ながく／＼と月の大路や影法師

○春川 浪女
靜かさを月高々と照らしけり

○大田 半來
樓の月里人は皆あつまりぬ

○京城 自堂
來る客の仭響めて居る月夜かな

○仁川 駿日
名月や笛横たへし美少年

○仁川 鹽郷
名月や桑より出でゝ桑に入る

○仁川 文蘆
手作りの酒に月見や芋畠

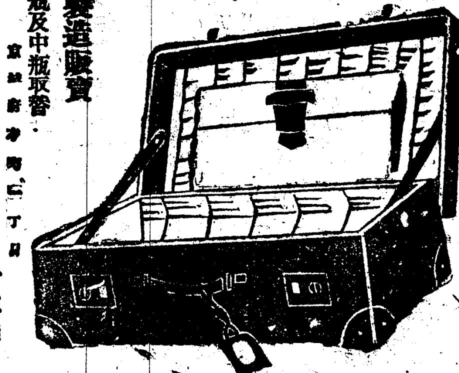
○京城 水月
田の畔を巡る男や夕月夜

讀者から

▲震災以來勸業債券の當選番號發表したでしよか（お伺生）▲アショップ氏經理總局御入用の方はド記へ（京城齋藤町一ノ三二山田勇）▲十月十九日京城驛松堂へ振替で雜誌三冊注文したが今日まで着本なく再三照會しても返事も來ない同店は信用ある店ですか（平北宣川困却生）▲大分縣生れの長野鐵治さんの御住所を（府内並木町一八二藤田太造）△よし子氏へ京城大和町二の二八平壤之婦人社編輯人は平野俊郁氏創刊號は出ました（係）

ロートラサシテ　パットヨヲアケテゴラン　ソノヨイ心地
目ニ見エテ　ズンズンキク　シマズ　イタマヌ
井上博士ノ　ロート目藥
●ロート目藥には消毒した布と新案の点眼器を添ねてあります。
定價（過用浸間・大瓶五拾錢・中瓶參拾錢・小瓶廿錢）
本舖 大阪 山田安民藥房
●全國各藥店にあり

靴・鞄・洋服
大田監獄調製學生服販賣開始
學生靴特價販賣す御入用の方は御一報次第市内は店員拜趣可致遠方の御方には型錄送付可仕候
學生鞄
一ボックス靴特價一足金三圓八十錢均一
地方は足袋文數御通知下され度見計ひ御送附可申上候
製造販賣　朝鮮革具合資會社
京城本町大田春日町一
電話長二七一二番　振替京城九八七〇番



鞄は高木
鞄製造販賣　魔法瓶及中瓶取替
京城本町二丁目　高木鞄店
電話二一三四番　二五四番

登錄商標　ゑみ櫻
製造元 大邱府東雲町 棟居酒店
振替京城八七七〇番

价川輕便鐵道
大正十二年七月一日改正

下り 列車番號	一	三	五	七
新安州發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安州著	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北松里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
龍興里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
球興里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
价川著	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
价川發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
栗隅里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
泉洞著	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

上り 列車番號	二	四	六	八
泉洞發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
栗隅里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
价川著	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
价川發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
球興里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
龍興里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北松里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安州發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新安州著	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

朝鮮平安南道价川郡價見龍里　价川輕便鐵道

りん病　ばい毒　請合藥
定價 三日分八十錢 壹週間分 一圓七十錢 全治 三圓
定價 特製四圓 三圓 並製 二圓

百圓進呈

本劑りん病藥の主藥は治療劑として、ばい毒藥の主藥は本邦醫學界に於て世界醫學上第一有効と確認せられつゝあり且内務省衞生試驗所が檢査封緘せる高貴藥を配劑せる事を保證す若し分析の結果前述の證言に違へる事を發見せらるゝ時は分析料として
帝國醫科大學病院等に於て賞揚配劑せらる
金百圓を進呈す。
◎あらゆる治療法を講ずるも効なき患者は兎に角最後の手段として當商會に來れ。
◎花柳病病理模型は全國及び海外に設置の專賣所店頭に陳列しあるを以て參考の爲一見せられたし。
◎本劑は請合藥に付き他の藥店に販賣を許さず故に入用の諸君は下記專賣所へ直接申込あれ。

發賣元
關西・大阪三休橋北詰　電話船場一六一一・四番二三四番
關東・東京日本橋通四　電話本局一〇七七番三三八四番
有田ドラッグ專賣所

◎朝鮮
京城　南大門外　黃金町　鍾路四　龍山練兵町
仁川宮町二　大田春日町一　群山東栄町　全州高砂町　木浦榮町　光州本町　麗水町　大邱町　甘浦港　釜山辨天町　馬山京町三　慶南統營町　慶尙浦本町　平壤郵便局前　鎮南浦三和町　新義州常盤町　元山本町二　咸興本町二　羅南生駒町
有田ドラッグにお問合せに

齒の爲に一番よい　クラブ歯磨

資本金參千萬圓
年賦又は定期償還方法に依る産業資金貸出の外一般銀行業務を取扱申候
株式會社 朝鮮殖產銀行
京城府南大門通二丁目
頭取 有賀光豊
電話本局長六〇四一番　振替貯金口座四〇九番
支店及派出所
清津、羅南、咸興、元山、鐵原、平康、全州、光州、群山、公州、大田、江景、南原、井邑、木浦、裡里、金泉、尙州、安東、大邱、浦項、晋州、統營、馬山、釜山、東萊、京城、黃州、海州、平壤、鎭南浦、安州、義州、新義州、江界
右の外內地、朝鮮、滿洲、支那各地に代理店取引先有之候
預金を爲るには當行の定期預金に御加入なさい
そして毎月怠りなく一年間御預け下さいまし
貯金の御勘誘も致します

三菱玉子型煉炭
燃料界の福音!!
品質本位で値段の安い
一噸（正味一、六八〇斤）廿二圓五十錢也
三菱撫順炭　三菱煉炭
特約販賣店　京城黄金町一丁目　近藤謙助商店
電話光化門八三三番

ほまれみそ

京城日報

（夕刊今せて十頁）

本紙定價　每號壹部▲金錢參ケ月壹圓…▲六ケ月同…▲壹ケ年…
廣告料　…
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
發行兼編輯人　泥谷良次郎
印刷人　小川三之介
電話光化門…　振替京城三〇〇〇番

〇…に關する判中左の如く決定し十七日官報を以て告示する

…除隊軍人、府尹、名譽領事、名…完國內に於ける…不能…

〔安東縣〕…滿天省にては本年…

各大學…會決議…各大學…聯合會では今般左…

彈劾案脆くも破る

【倫敦十五日發電】解散前に於て野黨側の保護關稅政策に關する政府彈劾案が上程された時ロイドジヨージ氏は先頭に立つて政府に肉迫したが結局贊成百九十反對二百八十五を以て政府黨の喝采裡に同案は否決された

合同自由黨の將來

【倫敦十五日發電】十五日夜合同自由黨の政見發表がタイーンスホールで開かれたが肝腎のロイドジヨージ氏は出席せず前首相アスキス氏が代理として出席した　併し同黨の無勢力からず今後第三位の政黨となるに於ては政權にありつく見込なく現在の代議士數百十三名の上に更に二千名を加ふる事は期待され得ない　又鎖種運動にも寄遂の危險を持つてゐるものがあると見られてゐる

勃農民共産黨大赦

【ソフイア十五日發電】勃牙利政府は最近農民共産黨國事犯人に對し大赦令を發した

極東問題審議意嚮

【華盛頓十五日發電】英、佛兩國大使は第二次華府會議を開き更に極東問題に付審議したしとの意嚮を持つてゐると

露國團匪賠償金を
支那學校費に寄附する

【北京十六日發電】カラハン氏は露西亞の團匪賠償金を學校の經費に使用する事を申出でた

加州日人動搖

【華盛頓十五日發電】加州日人土地法に對する米國高等法院の判決は加州日本人に動搖を與へたが排日黨の徒輩は盛んに喜び廻つてゐる

東洋人排斥法案提出か

【桑港十五日發電】加州及び華盛頓州外人土地法に對する最高法院の判決を一層徹底せしむべく太平洋沿岸諸州選出の國會議員は東洋人を全然排斥する法案を提出するに決した

支那商標登錄條令
外交團では認めぬ

【北京十六日發電】商標登錄條例は外交團に於て之を認めない從つて登錄をしても無意味無效であると

吳氏巡閲使辭職

【北京十六日發電】大總統から吳佩孚氏は兩湖直魯豫巡閲使に任命されたが右は支那一流の形式任命に過ぎないので十三日同氏は洛陽より辭職の旨曹錕氏に打電した

廣東戰局迫る
聯合軍最後の決戰する心算

【香港十四日發電】陳炯明軍は益々迫り敵は廣東を去る三十餘哩の地に殺到し廣東市民の人にして外人租界及香港に避難する者夥からず而し聯合軍は白雲嶺を根據として最後の決戰を爲す決心を示してゐる

土匪佛人釋放條件

【香港十六日發電】既報廣州灣にて土匪に拉致された支那砲艦の艦長せる土匪の條件は臨城事件を眞似て一同を官兵に編入すれば佛國人を返すと云ふにある因に頭目は王宗龍である

實地を觀て安心した
支那人被害調査員一行

【東京電話】支那人被害事件調査員一行は十六日支那公使館に至り今後の調査方針を打合せたが彼等一行は實地を見て支那本國にて聞いてゐた事とは大變相違し安心したと云つてゐる

無電問題更に複雜

【北京十五日發電】目下日、米、支の三國間に纏れてゐる無電問題は更に佛國が割込み愈々複雜となつた

內閣對議會策態度

【東京電話】山本內閣が成立以來議會に對し一致を標榜し表面上各政黨に對し一視同仁の態度を執つて來たが臨時議會も漸く切迫したので此際對議會策の態度を確立し少くも臨時議會には總ての政黨を與黨とし政策本位で臨む事に確定した從つて政府としては決して自發的に出で挑戰的態度に出でず可及的消極的態度に出で止むを得ざる場合に於て始めて宣戰の態度を執るべく何れにしても臨時通常兩議會を通じて超然內閣として山本內閣が如何にして來議會を切り拔けんとするか頗る注目されてゐる

責任支出
一億圓に上る

【東京電話】臨時會議迄に責任支出として計上せらるゝ金額は優に一億圓に上るであらうと

各國に答禮使派遣
臨時議會の終了後

【東京電話】今次の大震災に付き世界各國より深甚なる同情を寄せられたるに對し近く國際的使命として答禮使を派遣する事となるので之等一行の飛錫として實業木會が世界漫遊の途に就くべく臨時議會終了と共に發表されるらしい

…田片岡兩博士の手で設計されることになつた

憲政政務協議

【東京電話】憲政會は十六日政務調査會を開き左記數件を協議し午後五時散會した

一、法制審議會に於ける經過並に結果報告の件

一、震災調査委員を廢し新たに震災復興委員を設置し今後の復興に對する黨の方針調査確定すること

四子內相訪問

【東京電話】研究會の領袖青木、黒田、小笠原、水野の四子は十六日夜麻布櫻田町の私邸に於て後藤內相と會見し種々懇談する所あつたが極めて重大問題らしい

外國暗電解禁

【東京電話】災害地域內に發受する外國私報に關する暗號使用の禁止は戒嚴令撤廢と同時に禁止され從つて譯文及原語等の提出を要する事なく外國私報には震災前の通り一般に暗號を使用する事となつた旨遞信省から發表になつた

憲政決議
合同更に具體化

【東京電話】非政友派の合同に付いては今更に態度を加へ十六日の憲政會幹部會は『現下の政局に鑑み非政友の基礎の上に同志を天下に求めて新政黨を組織し以て第二維新の實を擧げんことを期す』との決議をした

春繭增收

【東京電話】本年度春繭收穫高は三千八百九十八萬千九百四十五貫にして前年に比し四百九十二萬千三百七十四貫の增收であつた

大阪臨時小學
設備委員會

【大阪電話】大阪府では今回の震災に鑑み市內小學校の安全を期する爲め臨時小學校設備委員會を設け對策協議中であるが御眞影奉安室を如何にするかについて種々異論が出たが結局火事にも地震にも安全な第一の場所に作る事になり武…

大阪勞働賃銀

【大阪電話】大阪商業會議所調査に依ると大阪の勞働賃銀は十月中八十八種の內前月に比し騰貴したもの七種低落したもの十二種で他は保合である

京濱復興經費

【東京電話】十六日の復興院特別委員會で說明せられたる所に依ると東京横濱の復興經費の內容は横濱六千萬圓東京六億九千萬圓で東京市の負擔は三億九千萬圓とし之を五ケ年間無利子据置で政府から貸付る意嚮であると

慘憺たる滿洲財界
原因は大豆不作と守備撤廢

漸く出廻期に入ると共に滿洲に於ける救濟資金の放資も開始され從つて滿洲に於ける經濟界も漸く恢復すべしとは何れも觀察者の豫想して居る所であるが最近滿洲より歸來したる有力者の談を聞くに滿洲現在の狀態は頭腦に深刻化し出來ぬ慘憺たる情況で鈴木商店其他有力なる商店の引揚ぐるもの續々加ふるに大豆の不作は救濟資金さへ其必要を感ぜざる迄に沈衰し之が貸出も亦殆ど停止の狀態で相場は著しく低下して慘狀に近い狀態を呈して居るが之が原因とも云ふべきは唯さへに不安の伴ふ奧地の情況に鑑し守備隊の引揚は益に此の現象を誘致してゐる觀があり軍略よりとは云へ斯くの如き第一線にある守備隊を引揚ぐる事が果して國策として好適の方法であるかどうか軍略と云ふも內地に充分之を行ふ餘地のある間將に第一線の守備隊の引揚を斷行されたる事は考慮の必要がありはしないかと在住者は不安を感ずると共に陸軍側の措置に對し不滿を抱き敢然の如き自然消極的に傾くの外なき情態に陷つてゐて之が恢復は甚だ困難であると思はれてゐる

現銀輸出嚴禁

【安東縣】最近當地東邊道に達した報道によれば今回奉天省は東三省に對し新下管內に於て現銀の輸出を嚴禁する者ある由なるが右は殆ど大洋一圓と雖も之を許さず現小洋は三百圓を超ゆることを得ず此際嚴に現銀の輸出を嚴禁すべき旨を通達した

安東木材界活氣づく
而も資材薄で前途高見越

【安東特電】昨年震災以來安東木材界は好調に續きつゝあつた當地木材界は今秋採木公司並に金融業者後援の下に成立した製材同業組合の帳簿組織と共に鐵道局並に釜山滿山商會との船車運絡輸送運賃の協定と一面に於て組合委員分會高販ち才當り十七錢三厘より五間に約八萬尺締を豫定値段より五契約成立に加へ日本內地各方面より活況を呈し相場は震災前に比し約三割方の騰貴を示して居るにも拘らず資材は恰も羽が生えて飛ぶが如き盛況で支那木商は尙先高見越の實情なのと一方採木公司でも手持薄の折柄目下東上中の內田理事長より手持品賣見合せの入電があつた模樣で相場は前途尙一段の昂騰は免れぬであらふ、因に製材同業組合第一回の賣證は遲くも十六日頃までには開始の見込で目下各工場とも一齊に全能力を擧げ製材に努めてゐるので久しく沈衰の極にあつた安東經濟界に一道の光明を得た觀である

發筏高

	營林廠	內材	操縱材
發筏支廠	發筏高	尺〆	尺〆
惠山鎭	一九一、六五六		一、五六三
新乫坡鎭	六一、四〇		四、六六一
中江鎭	八四、七九七		三〇、三八九
江界	三一、九四五		四、七五〇
計	三一九、七二九		三四、七二六

着筏高

新義州貯木所着　壹三一、八〇〇尺締（本年十一月十二日現在）
二八八、〇〇二（前年同期）

中のもの七千餘尺締あり、之等は風向の關係上多少遲延せるも玆五六日中には全部新義州に着筏の見込である、本年度の鴨綠江流域に於ける作業成績概況は大の如し

即ち着筏高に就て觀るに十一月十二日迄に於て三十四萬二千八百餘尺締を算し前年同期に比すれば一割大分の增進を示し今後の殘上着筏見込高を算せむか約三十五萬尺締に達すべく前年度中の實績三十萬二千尺締に對しても亦同樣の增進に在り從つて本年度の流筏成績は明治四十二年度以降の各年次を通じて最良の記錄を示したものである

流筏概況
總督府營林廠

朝鮮總督府營林廠に於ける豆滿江側の流筏作業は既に十月上旬に於て終りを告げ、會寧府木所著筏高萬四千三百餘尺締を算し、鴨綠江側は十月來に於て上流各支廠の發筏を終了を見たれども、今尙豆滿江大吉里監視所（新義州よりも約三十里上流）の下流區間に於て流下運航の協定と一面に於て組合の…

製材販賣增加
客月中成績概要

本年十一月中に於ける總督府營林廠の製材々積は二三八〇〇尺締め（此價格一二五、三三〇圓）にして販賣製材々積は二〇、二九一尺締（此價格二二五、…）…木材用受入高は七〇、八二三尺締（滿洲木二八三尺締を含む）此價格四二八九圓）である

本年四月以降の累計によれば製材々積は一二五、七七四尺締

前年度繰越七、四〇八尺締を合む）賣拂材積九六、四八〇尺締（此價格一、〇〇五八二二圓）にして原木の製材用受入高三八二、二一五尺締（前年度繰越四四、四一六尺締を含む）販賣材積一六、六尺締（此價格九一、七七六圓）なるが之を前年同期に比すれば製材は數量に於て三一二七尺締價格に於て九〇、七三五圓を、原木は數量に於て六、五三二尺締價格に於て二七五、三二二圓を孰れも增加した

私製鹽狀況調

一年中朝鮮に於ける私製鹽の製造高を調査するに年末現在鹽田面積九百三十五萬三百五十三坪一年製造高一億二千三百五十五萬九千二百八十九斤價格二百五十二萬二千七百三十三圓にして內煎熬鹽最も多く製造高八百二十一萬九千百八十三坪製造高六千四百四十五萬七千二百五十六斤價格百四十四萬八千百二十六圓にして天日鹽（原鹽使用）製造高五千九百八十六萬四千五百九十一斤製造高五十八萬四千五百九十一萬四十五百九十一斤價格百三十三圓之に次ぎ最も少きは天日鹽の鹽田面積百十三萬千百七十八坪製造高六十四萬六千三百六十斤價格五千百七十一圓である

而して之が製造高數量を道別に觀るときは煎熬鹽は全羅南道の二千四十萬九千九百七十七斤最も多く慶尙南道の千八百十一萬四千二百十七斤京畿道の七百三十萬三百七十斤之に次ぎ忠淸北道は皆無にして平安北道の十三萬三千百斤最も少し

再製鹽は慶尙南道の四千四十三萬六千二百三十八斤最も多く咸鏡南道の百四十萬八千九百三十五斤咸鏡北道百四十萬九百七十六斤之に次ぎ忠淸北道忠淸南道平安北道は皆無にして江原道の九萬六千二百七十四斤最も少なし又天日鹽は平安北道に於て六十四萬六千三百六十斤を有するのみにして他道は皆無である

在滿領事會議
廿日より三日間

既報朝鮮總督府在滿領事官打合せ會は豫定の如く來る二十日より三日間京城に於て開催する筈であるが場所は本府第二會議室又は中樞院

鮮銀現狀と大藏省

【東京電報】鮮銀の實際部總裁鈴木總裁始め井理事片山理事松原支店長鹿島檢查部長等は先般來東京支店に集合し連日協議中なるが今期鮮銀の營業狀態は頗る不振にして同行が鮮滿地方にて發行する兌換券は漸次放縮され又コールは前に四千萬圓を搔き集め此上吸收の途なき鮮滿經濟界の恐れがあるにつて此際政府あり一億圓程度の低利資金の融通を受け之が貸付けをして難境を急ぎ脫し僅に當面の整理を遂げさんとの計畫であるが政府は之に對し早晩大藏省への移管を條件として應急手段を講ずる意嚮らしい

脫稅の一番に多いのは
酒稅と印紙稅
井上稅務課長語る

朝鮮の歲入に於ては其の大宗は租稅收入であることは屢々之を報道した所で大正十二年度の如きも其豫定額三千四百七十三萬五千百餘圓になつて居る。然しながら一般民衆の租稅に對する觀念如何を考察するに、寧ろ年々納稅義務心の如きは低下の傾向を示し從來盛んに勸獎し漸く良風を形成しつゝあつた協定納付の如きも漸次減退し、滯納の數は逐年累増するの趨勢にあつて、稅務當局の調查收稅事務の上に於ても少しも之を緩める能はざるのみならず、一層之に對し費用と手數とを掛けねばならぬ實況にあるのである。これは時代の不景氣に左右せらるゝ事は勿論であるが、亦納稅觀念の普及せざるも大なる原因の一であるのである。それが爲め現在の稅務は滯納處分に附せらるゝもの少くない狀態であるが、右に付き井上稅務課長は語る。

納稅者の租稅に對する自覺心の喚起は納稅觀念向上が必要であるので、それが爲めには納稅觀念の普及に努むることが…現今の如く滯納…之を恬として恥とせざるもの一部に存在する事は全く租稅に關する知識の缺如といふ事が大なる原因で、因て特に地方に於て租稅と地方稅の區別さへ知らざる者も少くないのである。更に甚だしきに至つては農會費や其他の組合費又は寄附金の如きものも稅金だと思つてゐる向もある事は屢々耳にする所である。實狀が斯くの如き有樣であるとすれば先づ租稅に關する知識を徹底せしむるの施設を講ずる事が最も必要であると云ふので今回地方的に租稅觀念普及講演會を開催する事となつて其第一回として過日村上事務官が京畿道及忠淸南道に出張したのである。これに引續き第二回第三回と講演會は開催する筈であるが、これによつても相當の效果を擧げたいと思つて居る。

現今の狀態では滯納の外に脫稅者も亦可成り多數に上つて居るが之は現在夫々檢束處分を行ひつゝあるが、これによると脫稅の多いのは酒稅と印紙稅である。酒類である點から恐らく酒の自家用は二石以上は釀造してはならぬとか幾許の印紙を貼付すべきかと云ふ樣な事を知らぬ連中が大分あるのであらうと思ふ。それと同時に一面に於ては一般民衆の自覺である、所謂租稅觀念と民衆の自覺と相俟つて始めて理想的の效果を擧げ得るものと思ふ。來年度から稅務行政を統一しようと云ふのも全く斯うした幾多の缺陷があるからに過ぎないのである。從つて租稅觀念に乏しいものは成るべく之を涵養し更に惡弊を矯へて滯納又は脫稅を行ふが如き、獨り國家の財源を侵蝕し、國費の支辨を妨ぐるが如き公秩を害する行爲はお互に注意し、只管納稅心の喚起を促して止まない次第であるのである云々

第二種教員試驗

…京畿道の第二種教員試驗…

詔勅の傳達式
憲兵隊司令部

朝鮮憲兵隊司令部は十七日午前十時三十分より同司令部に於て詔勅の傳達式を擧行し同司令部將校各員一同に對し同部の訓示を與へたが京城憲兵分隊等に於ても同樣の式があつた

天圖輕鐵開業

天圖輕便鐵道第一期線開通の豫定十月十四日より左の通り一般旅客及び貨物運輸營業をなす筈

▲圖們江岸（圖們鐵道上三峰對岸）龍井村間三六哩一分

▲列車運轉時刻（滿洲時に依る）

列車番號	圖們江岸發	龍井村着
二	前 六、五〇	前 一一、〇〇
四	後 一二、三〇	後 四、三五

列車番號	龍井村發	圖們江岸着
一	前 六、三〇	前 一〇、三五
三	後 一二、〇五	後 四、一〇

滿鐵連帶運輸
賃金割引規則

滿鐵會社經營朝鮮鐵道と滿鐵會社一部改正し業務紹介所の紹介に依り就職する者旅行の場合に於ては一定の割引證を設受し三等客運賃の五割を低減すること其他の件を加へた

醫師生命保險
社員會發會式

日本醫師共濟生命相互會社では今回社員會を組織し十五日午後六時より府內南山町松葉亭に於て其發會式を擧行した

出席者志賀總督府醫院長外京城關係醫師其他社員七、八十名に及び京城側は島崎京城醫師會長岡山側は佐々木鐵道病院長夫々議長席に著席社員會々則の逐條審議に入つたが滿場異議なく可決それより幹事推薦並に今後の方針に就て打合せを行ひ午後八時閉會してから別席に於て大宴會があつた

府選擧立會人

來る二十四日施行される京城府協議會員選擧の立會人として左の四氏が決定した

▲和田常市▲大和與次郎▲金漢奎▲李啓默

米豆檢查總數

大正十二年四月中に於ける各道米豆檢查總數は玄米六十六萬六千七百四十三叺內檢查合格數六十二萬二千九百十叺、白米三十一萬四千二百三十二叺內檢查合格數三十一萬三千三百六十四叺大豆十八萬四千八十一叺內檢査合格數十八萬一千三百十六叺合計檢査總數百十六萬五千五十六叺內檢査合格數百十一萬七千百九十叺であると

塩受拂手續廢止

十九日附總督府令を以て明治四十五年總督府令第六十四號鹽受拂に關する事務取扱手續は廢止さる

公會私會

◇總督領事招待　齋藤總督は二十日午後六時半より朝鮮銀行に在滿領事官會議列席者四十餘名を官邸に招待し晩餐の饗應をなす筈

人事消息

▲田村幘之助氏（代議士）十七日朝着釜十時北上（釜山特電）

▲松田貞次郎氏（第二浦製鐵所長）十七日朝退城

▲岡田竹五郎氏（金剛山電氣會社々長）十六日夜退城

▲中野太三郎氏（咸北知事）十六日夜入城不知火へ

▲松田徹太郎氏（全南道評議員）同上

▲高瀨巽氏（釜山日報社長）同上

▲式村茂氏（本溪湖煤鐵公司）十七日朝入城天眞樓へ

▲茶海菊氏（實業家）十七日夕入城同上

▲横川京城遞信局長　十七、十八兩日水原に於て開催の京畿道江原道北部郵便所長會に臨席の爲小堀監理課長を隨へ十七日朝出張

▲時實京畿知事　水原聯合物產品評會の狀況視察のため十七日朝出張十八日歸城豫定

▲佐藤京畿內務部長　同上

茶話

▲支那人被害事件調査員等は十六日支那公使館で今後の調査方針の打合をしたと▲彼等は實地を見て支那本國で聞いてゐたとは非常に事實が相違してゐたので安心したと云ふことだ▲だから始めから人の噂や誇張な言辭に對して常に…みたやうなものにギヤン〳〵騷がぬがいゝ▲今次の日本大震災に各國から寄せられた深甚なる同情に對しては我等日本國民は衷心から感謝し衷心から感謝するものである▲政府は近く國際的使命として答禮使を各國に派遣するとなつたのは洵に當に爲すべきことだ▲震災の女王とまで歌はれた伊藤燁子は柳原家へ出戾つてゐたがとう〳〵華族から除籍された▲戀の勝利者だなど云ふ事は出來ないがこの事象は要するに社會の何處かにか缺陷があるからだ▲有吉總監は十六日京都着十七日出發歸鮮とある

氣象日報（十七日）

十七日朝高氣壓は本邦中部に移動し其先端は朝鮮に擴張し滿洲及支那大陸は氣溫低し中部は晴天だが南は雨北は大概曇りに依りては降雪を見る十八日京城は概ね曇るも一時晴れ

天氣豫報（十八日）

曇一時晴

十七日正午	最高 攝氏	四九度七
十六日最低	零下 攝氏	二四度三

最新刊

大正十二年調查　朝鮮法令輯覽　…

大地震講話　…

半七捕物帳第二編　…

朝鮮各道府面間里程圖　…

京城本町二丁目　大阪屋號書店　電話本局六八四、二〇八六

保險金領收廣告

一金七千七百圓也

右は豫て大阪海上火災保險株式會社と契約中の處今回の罹災に付き迅速保險金の支拂を受けたり依て同社の確實なる事を廣告す

十一月十六日

京城本町二丁目二番地
契約者　尾琴屋
電話本局一三五九番

調劑ある助手入用
一誠齒科醫院
平壤本町　電話五五〇番

東華染素
…
染料一般　東華洋行
京城府花園町九七
電話本局三九二番　振替京城一二四〇五番

須藤外濱
右者本社々員と詐稱し各地を徘徊し廣告等の募集を爲す趣なるも本社には斯の如き社員無之に付き一般に御警戒相成度及社告候也
追て同人に對し既に廣告料御送り向は其金額及申込種類本社へ御一報を相煩度候
京城太平通二ノ三三
大陸自由評論社

瓦煉と火防
瓦煉は住宅は勿論
百年以上使用出來ます
京城煉瓦共同販賣所
電・本・3181番

先輩及同志各位の熱誠なる御推薦を蒙り
京城府協議會員
立候補　高山孝行
追白　小生今尙健康優れざる爲め御同情被下候各位に對し缺禮の點多々有之候事と存候間不惡御涼察被下度候

三上豐君選擧
應援演說會
十一月十八日午後八時　於浪花座
本町五丁目
辯士　田中半四郎君
主催者　東部有志

理想選擧を標榜せる
立候補服部豐吉君とは如何なる人？

理想選擧とは旆旗を押立て貧乏を標榜し戶別訪問が必ずしも理想選擧ではありますまい私共は情實因緣を離れ公平に適所適材主義の實現が理想選擧であると思ひます
今回服部豐吉君は遲馳せではあるが府協議會員立候補を宣言せられましたこれは吾々市民が理想選擧の第一步に入るものとして非常に力强く感じます同君は京城府第一課長の職にあること足掛五ケ年府政樞要の機務に參畫し大小諸般の事務に精通し而も最近官職を辭して民間事業會社の重務又は社長として幾多新しき試錬を加へられ今は行處として可ならざるなき陶冶渾成されたる人格者であります此見地より して同君が立候補は實に適所適材であり諸多の立候補者中恐らく第一人者ではあるまいか
府協議會員は頓て來るべき自治團體の前提であり又訓錬でありとすれば吾々市民として尊とき一票を情實因緣に因はれ賴まれるがまゝに投票する樣では絕間もなく頭上に落下する府政の善惡に對し餘りに無自覺無關心と嗤はれはしますまいか
有權者各位服部君は他の方々と異り地盤と云ふ團體的擁護者はありません所謂高材蹙々の窮に陷て居ます當選圈內には相當距離がありますまい有權者諸君各位が銳敏なる御觀測によりて高い處に士を盛るの愚を爲さず願はくば適所適材主義の理想選擧に共鳴せられ同君の爲に意義ある一票を吝まれないよふに願ひます
終りに臨み更に申上ぐれば府には其行政上色々の問題が横はつて居ります誰でも其大體を摑んでの意見はありましよふ議論もありましよふが（政見發表のそれの如く）それでは抽象論であつて少しも當業にあたらない隨つて殆んど其効果は見られないどうしても一人でも府政の機微にまでも精通せる協議會員の努力奮鬪の必要かある是が私共が服部豐吉君推薦の最大要點であります

推薦者一同

甘粕事件第二回公判
宗一殺しは大尉の命令と陳述した森曹長
甘粕もこれを是認

十七日軍法會議の續き―それより大杉事件に關する顛末を陳述森曹長より『被告の聲が小さい』と怒鳴る其內に森の答辯がシドロモドロになると『森曹長軍人精神を忘れるな』と怒鳴つて判士長から叱られる

【問】被告は何の爲めに大杉を憲兵隊に連れて行つたのか
【答】隊長の命令で隊に歸つてから大尉に大杉を調べたら殺してはどうかと申しますと御前は二階へ上つて居れと云はれました
【問】被告は大杉のセキについて甘粕と打合せたか
【答】打合せました
【問】然らば被告が話をしてゐる間に甘粕が殺すと考へたか
【答】殺すとは思ひません、
【問】然らば甘粕が來てからセキを決めても好いではないかと、突込まれ
【答】私は深い考へでセキの打合せをしたのではありませんと、苦しい答辯を爲す
【問】甘粕が大杉を殺すとき被告は室外に出て見張りをしたか
【答】人が來ると困るから室外に出て見張りました
【問】其時平井が階段で見張りをしてゐなかつたか
【答】よく知りません
【問】野枝を殺すことにつき甘粕と協議したか
【答】しました、其時子供と野枝を殺したらどうかと申しますと大尉は鴨志田を呼べと申されそして大尉は鴨志田に『今から子供を殺るのだがやれるか』と申されたやうに記憶して居ります
【問】只今の森の陳述は被告の陳述と相違するかどうか
此時法務官は甘粕を立たせ
【答】森曹長の申す通りと思ひます
【問】思ひますではいけない事實を聞いてゐるのである
【答】命令がなければならぬと思ひます、私は命令しました
【問】然らば森の申立は間違ひか
【答】間違ひであります

と責任を一人で負はんとする甘粕大尉の態度は傍聽人の同情を惹いた尚二三の問答あり平井の訊問に移る法務官は平井に對し從軍當時に行つた事や大杉等を連れて來た顛末について質問すると之に對し事實を述べた、法務官は再び森に向ひ
【問】片附けると云ふのは何の意味に解したか
【答】何か事務の事と思ひました
【問】野枝や子供を殺すのとは考へなかつたか
【答】さうは考へませんでした
【問】森曹長では片附けると云ふのは殺す意味に考へたと申立てゐるではないか
【答】憲兵官が御前が知らない筈はないと申されましたから左樣に申しました
【問】被告は室外で見張りをしてゐたか
【答】室內の事は知りませんが人の來るのに注意してゐました
【問】夫では矢張見張ではないか
【答】左樣であります
滿場哄笑す爾後死體の始末に付二三の問答あり三時休憩した

鴨志田の陳述
『理由は解らぬが上官の命令だから服從した』

十六日午後三時二十五分三度開廷鴨志田の審問に移る審問は進んで犯罪當日の狀況に入つたが鴨志田は『森曹長が大杉と野枝は殺したから御前と本多とは子供を殺せと云はれました』と述ぶれば
【問】森の言葉は誰の命令と思ふたか
【答】甘粕大尉の命であると思ひました
【問】子供を殺すのは職務上の命令と思ふたか
【答】主任の森曹長が甘粕大尉の命だと云ひましたから服從しました
【問】理由は解らんが上官の命だからと服從したのか
【答】左樣です
【問】甘粕から口止めされたか
【答】大尉が全責任を持つから口外するなと云はれました

本多の陳述
『大尉から子供殺しの手傳ひを命ぜられた』

次に本多上等兵の訊問に移る
【問】甘粕か森からか子供を殺せと云はれたか
【答】分隊長から鴨志田が殺すから御前も手傳へと云はれましたから殺す時に子供の兩手を押へました
【問】此の命令は誰の命令であると聞いたか
【答】森曹長から司令官の命令であると聞かされました
此時森曹長は之を否認し次で鴨志田本多は司令官云々の事は相違であると取消したので
【問】それは間違ひではないか
【答】聲がよく判りませんでした
【問】被告が自首した動機は
【答】一般に噂が立ちましたのと甘粕大尉が公判廷で子供殺しを否認されましたからです
之にて事實調べを終り十七日午前九時より開廷の筈である（東京電報）

競爭は頗る激甚
到るところ大混戰
電車切符を配った候補者もある
あと二日に迫つた選擧

愈々決戰の時機は切迫した、總攻擊の命を下して白兵戰を敢行せねばならぬ瀬戶際に直面して來た、或は二人組で東奔西走するもの、或は職人會役員が總出の總努力を傾注するもの、或は電車切符を配布して投票場への出馬を乞ふもの夜討朝駆の戰法を用ふるもの等今日此頃に至つては實に右往左往の有樣で選擧氣分が横溢し盡して來た東部方面は侵入、爭奪、混戰殆ど名狀すべくもあらず此の方面が最も激戰を演出するであらうと觀測されて居るが此處に轡を並べて激戰激鬪して居るは高木德彌、古城梅溪、高山孝行、澤田清、安藤靜、中井忠三等の勇士で地元の三上君は形勢甚だ危險に瀕して來たので內地に旅行中の處を急遽招電し極力對戰する事となり、其後見役たる田中半四郎君は此の情勢を憫し猛然起つて十八日夜八時から本町五丁目浪花座に於いて三上君の應援演說會を開き舌端火を發して東部方面の挽回を期し是非三上君を當選圈內に入れしむべく義俠の血を沸かして居る、

肥塚正太君 南大門外で必死運動を始めた所に唯一の師が集まつて數隊に分れて累日戶別訪問に餘念がない高木、古城と共に可なりに優勢である

安藤靜君 てくり主義で每日徒步で外套の襟を立てゝ有權者廻りに餘念ない、當選さへすればよいと云ふ主義で、運動員も別段ないので當落の瀬戶際に立つてゐる形勢である

武上安一君 多年總督府に奉職し京畿道々技師に歷任し先頃官を辭し町總代、京城神社大總代の公共事業に盡力して居るが日出町、壽町、倭城臺、大和町二三、四丁目、官舍會社を地盤に清き票を投ぜられんことに懇訪して居るので今の處形勢は安全地帶にあるやうである

曾我勉君 事務所を黃金町三の七六番地に置き佛教慈善會と云ふ宗教團體を地盤に黃金町三丁目、旭町三丁目、本町三丁目を皮切りに入り惡戰苦鬪を續けて居るが他所よりの侵入にも辟易せず知邊を辿つて戶別訪問して居る

十人十色の奮鬪ぶり
何れも必死の意氣込

中井忠三君 は櫻井町一二三丁目の陣地を確實に占領して外部の襲狙を許さず進んで花園町、黃金町四丁目、林町等に侵入し尚全市に散在する食料品組合と結合して威風あたりを拂つてゐる

堀直喜君 は最初の票數を幾らか蠶食された形跡はあるが比較的知識階級の應援者があり且つ辯護等の誠心誠意殆ど犧牲的奮鬪に依つて其陣地を固守し積極的進出をも試み攻勢を採つてゐる

平山利治君 も最初一旦占領した陣地を幾分蠶食された樣であるが之亦堀君と同じく一部階級の陣地を確實に把握してゐる

益永十作君 は京城在住十有八年といふので隨分古株に知合が多いので斯うした方面を味方として奮鬪してゐる

梅林卯三郎君 參謀もゐなければ本職の運動員もゐないと云ふ調子で師匠人とか親友とか云ふ連中が五六人集まつて運動してゐると云ふに過ぎない、從つて地盤と云ふのは就職組合の理事長をしてゐる關係上道廳に少しあるだけで今から一票宛克明に穫らねばならぬと氏は力んでゐる

大垣丈夫君 御大丈夫老を初め同氏を擁する人々は必死地盤を固守してゐるが高木一派の侵入も猛烈で甚だ苦戰を續けて居る此の老將軍が若し討死する樣な事でもあれば京城府の爲め惜いものだと義俠ならぬ某氏の述懷である、好漢最善の力を努すべしである

高山孝行君 職人會役員總出で必死當選を期してゐるが名乘りを擧ぐること早かつた爲に高山派優勢說を立てられ稍苦境に陷り氣味が最近榮兵町一帶が擧つて同氏を推すことになり一息ついた觀である

服部豐吉君 服部候補は以前京城府に勤務してゐたことがあるこの由緣を辿つて極力奮鬪してゐるが確たる纏まつた地盤を有せず、水平線に浮沈しつゝあるが故一票が運命の岐路だと言ふの

龍山方面
遂に白兵戰

龍山方面は十七日朝遂に白兵戰となつた、大村、惠日、福島、竹內各候補も十六日一齊に選擧事務所を設け各運動員は三々伍々、有權者名簿と首ツ引で出て來る腕車を飛ばして飛行機式に訪問するもあれば裏口からそつと覗く潜航艇的な運動員もあり形勢頗る緊張して來た

幾ら得票があれば當選するか
最低七十票位の見當

今回の府協議會員改選に當り有權者の數は總て九千三百餘で定員三十名の議員に對し立候補四十二三名である、此の四十三名に對し九千三百餘の票數が如何に振當てられるかは勿論今の所不明であるが、幾票位を贏ち得れば當選圈內に入るであらうかと云ふ事は候補者は言ふまでもなく一般の人も興味ある問題であらう、先づ考へねばならぬのは棄權者の數であるが之れまでの例を考へて見れば一割五分乃至二割五分位であらう、其中間の二割として見れば棄權票數一千八百餘で投票有效數はザッと七千五百票位のものであらう、然すれば四十三人に平均して一人百七十四票位である、最も之れは平均數であるから當選者の半數が平均票數以下であるとすれば最高は五百票近いものもあらうし最低七十票位を以て當選圈內と見て大差なからうと豫測されて居る、而して他の票數は落選組に割れるものと見ては如何なものであらうと、又內地人側のみの分を考へて見ると約四千の有權者の內二割を控除すれば三千二百で之を二十人に分割すれば平均百六十票で最高四百票以上と見半數以上の當選者平均得票を二百五十票とすればあと半數の當選者は平均六十餘票で當選圈內に入る事になる

候補者の立會演說
十八日夜開催 場所は公會堂

十八日夜は公會堂に於いて候補者の立會演說會を催す由であるが出演申込者は今の所高山孝行、安藤靜、大垣丈夫、益永十作、平山利治、肥塚正太の諸君である

白蓮除籍
愈々一平氏

伯爵柳原義光妹燁子（白蓮）伊藤燁子の除籍については宗秩寮で上奏中のところ既報の如く十六日御裁可あり左の如く發表された
華族令第二十四條第二項に依り華族の族籍を除く（東京電報）

にせ専賣局員
青松郡を荒す

慶北慶州郡內東面松田洞三八番地日傭稼李鍾九（三三）同迎日郡古老面鎭岩洞九〇七番地農李英根（三〇）の兩名は本年十月下旬頃より青松郡內に入り込み專賣局書記又は屬と稱して煙草の檢査をするとか又は專賣局書記に周旋すると稱し或は脅喝或は詐欺を働いた事を所轄青松署に於て探知し去る十月二十八日同郡縣東面月梅洞金鐵億方に立ち廻つた處を逮捕して取調べの上檢事局に送つた（大邱）

面職員の總辭職
移入面長排斥

平原郡公平面長朴榮泰は先般辭職して後任として永柔面の會計員金基福が任命された所公平面書記一同結束して辭職し目下紛糾中であるその原因は朴前面長は多年其職に在り德望高く公私共に信望厚き指導者として聲望があるばかりでなく殊に後任面長は他面より移入されたのは或る意味に於て吾々を侮辱するもので如何に賢明なる公平面と雖も總面長の人物は二三にして止まらぬに依つて新任の面長の下に甘んじて職に止まる事は出來ないと云ふにある

貴金屬專門に
泥棒を働く

全南莞島郡古今面生れ當時住所不定の黃東龍（三〇）は數箇月前より府內各所に忍び込み金指環、金時計等の如き貴金屬類を專門に竊取して居る處を鍾路署に檢擧され取調べを受けて居るが既に發見した被害額は五百圓に達して居ると

水死美人には
內緣の夫があつた
抱主の玉川では語る
家出當日は二人で酒を飲んだ

昨報＝漢江の水死美人の抱主玉川では語る『あの女は本年十月に雇入れたものです、金ですか二百圓貸して居ました、實は雇入るゝ當時同人には內緣の夫があるとの事でしたから斷らうと申したのですが仲介人が內緣の夫は近々の中に內地に歸ることになつてゐるから、雇つたらどうかと云ふので私も其氣になり雇つた譯です、本人はどちらかと云ふと陽氣な方でしたので豈夫死ぬるとは思ひませんでした、內緣の夫の名前は一寸申し兼ねます家出した十五日の日には、その男と二人で二階で酒をのんでゐました、少時すると女が出て行つたやうだと思ふと其男が二階から降りて來て、あの女が出て行つたから早く捜してくれと云ふので私も吃驚して交番に御屆けしたやうな次第です、まあ本統に綺麗な女でしたが惜い事をしました』附近で聞くと內緣の夫と云ふのは何でも黄金町二丁目にゐる松下某と云ふ左官を業としてゐる三十四五の男であるとの話だ

二棟全燒
講堂と道場
東京高師の火事

一部所報＝十六日午後零時四十五分小石川區窪町高等師範學校の火事は校內化學研究室から發火し西本館講堂道場二棟を全燒し新館東本館の一部を燒き二時三十分鎭火した原因は化學實驗後の始末が惡かつた爲であると因に同校內にあつた文部省事務所は幸ひ無事である（東京電報）

十七日拂曉
本町二の火事
全燒二戶、半燒三戶
損害は一萬二三千圓

府內本町二丁目の未曾有の大火があつて間もない十七日午前二時十分頃同町三の二三番地玩具商稻垣宗太郎方より出火し火焔は忽ち四方に魔の手を延ばして同家を烏有に歸した上隣家の餠屋中條久方に延燒し瞬く間に中條方を全燒して道路を距てた本町三丁目郵便所に飛火し一方火元たる稻垣方を襲ふた火勢は自轉車商久保田信一、雜貨硝子商齋藤嘉興次、鶴田武吉方に燃移り人家稠密した附近一帶は火の海と化しアワヤ本町二丁目の大火二の舞を演ぜんとした之より先出火と同時に出動した常備消防隊を始め義勇消防組は二手に分れて必死となつて消防に努め辛くも郵便所入口に燃え移つた猛火を喰止めたのに勇氣百倍し消火に努める內流石の猛火も下火となり全燒一棟二戶半燒三棟三戶を出して同五十分鎭火した

玩具が火鉢の中に落ちて
發火の原因

本町署では關係者を召喚して原因を取調べて居るが稻垣方の店先にあつた火鉢に玩具が落ちて失火したものらしく損害額約一萬二千三百圓の見込みであるが火元稻垣方は商品家具等に四千五百圓の保險に加入し其他も保險に加入して居ると

崇二洞の小火

十七日午前六時四十分府內崇二洞七九番地東大門巡查李漢楨方より出火したが常備消防隊の出動に依り即時消止めた原因は溫突の焚口に籾殼を置き昨夜焚火したものが掃除不充分の爲屋根に燃え移つたのである

慈善演奏
筑前琵琶
二十二日夜開催

在京中の神奈川縣筑前琵琶會長井上保次郎氏が神奈川縣を救への絕叫は鮮內各地に多大の反響を與へてゐるが京城では在京神奈川縣人會を旭紅會が主催となり朝鮮新聞、京城日々及京城日報の三社後援のもとに二十二日午後六時より長谷川町京城公會堂で筑前琵琶慈善演奏會を開催し其純益全部を大震災の被害劇甚で然も救濟の手が遲れてゐる神奈川縣の罹災民救護の費に充てる筈である當夜は在京筑前琵琶界の師匠連が出演し得意の秘曲を演奏すると云ふので頗る多に賑はしい演奏會であらう

俳壇の巨星
碧梧桐さん
九年振りにぶらりと入城
到着早々揮毫攻め

滿洲旅行中であつた新傾向俳句の巨匠河東碧梧桐氏は五龍背溫泉に浸つて長途の旅塵を洗ひ落し十七日朝ブラリと入城、俳句同人に迎へられて西小門官舍の中村烏堂氏宅に納まつた、が旅裝を解く暇もなく揮毫攻めに遭ひ床の間を背に堆く積まれた短册を一枚々々とりあげて專念に筆を走せてゐる『去月二十日に大連に渡り月末まで滯在して滿鐵沿線各地を巡講しながら哈爾賓に參りましたが內地と異つて滿洲で活動してゐる內地人は緊張味がありますね、私のやうに而かも懷的の講演をしても反響が非常に快い位です しかし更に哈爾賓に行つて在留邦人の緊張振りを見ると滿洲の人達が眠つてゐる樣な感じがします』碧梧桐さんは筆を擱いて書きたての短册と睨みッこしながらボツボツ語る『一本の樹木もない蒙古の曠野から鴨綠江を渡つて一歩朝鮮に踏入ると先づ眼につくものは青々した山です、大正四年に來鮮した時にはそうでもなかつたが今度安東縣から河一つ隔てゝ入鮮すると內地に歸つたやうな感じがしますね』話題は震災後の俳壇に飛火する『震災によつて直に俳壇に影響を及ぼすとは考へられぬが數年來を出して今まで小さい穴に籠居してゐた人達も時代に反省して飛び出す時が來るかも知れぬ、座敷に閉ぢ籠つて茶を啜りながら句作して居た時代はとうに過ぎ去つて居るべき筈ではあるが……』そう云ひながら又筆を執り短册に目を落して句作にふける處を本社の寫眞班がレンズに收めたのが此の寫眞である、因に氏は同日午後四時より鷺峯軒に於ける歡迎句會に臨み十八日午後一時より南山町美術俱樂部で一般のため『藝術の變遷と俳句』と題する講演をなし午後十一時五十分發列車で釜山に向ふ筈（寫眞は碧梧桐）

現代雲右衛門
非常な好評

京畿道警察部並に本社後援現代雲右衛門一行浪花館で開演中は初日以來警察部の聲援があり近來になき盛況で二日目は『馬賊襲擊警官の殉死』が非常な好評であつた十七日晝間は警官講習所の招聘に依り同所に於て口演したが各方面から日延べの要求が多いので十八日一日を日延べすることになつたが四日目演題は
龍川天一坊（桃中軒巴）成田利生記（桃中軒雲鶴）又以外の裁判藝者と力士（東家小雲雲）南部坂雪の別、信長戰亂美賞二席（雲右衛門）

柔道大會
講道館支部で

黃金町二講道館支部では十八日午後一時から秋季柔道大會を開催する筈

圍碁大會

京城俱樂部にては十八日午後一時より南米倉町本部にて俱樂部員の圍碁大會を催す

阿片を密賣

府內々資洞九五番地韓相五（三七）は阿片を自宅に隱匿して鮮人に密賣して一儲けして居る處を十六日晩鍾路署に檢擧された

朝鮮滿洲を股にかけて
荒し廻つた女詐欺師

[illegible]で拘留に處しその行動に就き嚴査したところ意外にも詐欺、竊盜の[illegible]

[illegible]來り南町某屋旅館に滯在中病氣でもないのに慈惠病院に行き患者を裝ふて診所へ通ふうち八千代町の[illegible]

同一手段で三十圓を詐取した[illegible]減えて十一月八日午後五時頃櫻町[illegible]

[illegible]取するのに百十五圓しかないからと百五圓を詐取した[illegible]

[illegible]貨商の者[illegible]なく手當り次第に女用バック、マント、ショウル[illegible]

[illegible]者であることも判明した、生來淫奔者で到る處男を拵へ男の爲めに次から次と詐欺や竊盜をしては注ぎ込んで居たのである

關東地方未曾有の大震火災に因り[illegible]度に異常動搖した人心は其後時日の經過に連れて漸次平靜に歸し[illegible]

[illegible]の財界は左らぬだに今夏の大水害[illegible]後要難不振續だしく[illegible]

謝近火御見舞 京城本町三丁目 音羽すし 電話本局一七四四番

謝近火御見舞 京城本町三丁目 製菓御用 櫻堂

謝近火御見舞 京城本町三丁目 森川食料店 電話本局九三五番

謝近火御見舞 京城本町三丁目 本町市場

謝近火御見舞 御料理仕出し はりま壽司 京城府本町三丁目 電話本局一二四一

謝近火御見舞 電燈其他工事、設計監督及請負 モーター、扇風機、材料一式販賣 機械器具 電氣 松本電氣商會 松本國六 京城府本町三丁目十六番地 本町三丁目商業銀行ノ通用門ノ角 電話本局四〇一六番

謝近火御見舞 京城本町三丁目郵便所長 波多江千代藏

謝近火御見舞 時計商 加地時計店 京城本町三丁目二四 電話本局三五三八番

謝近火御見舞 西洋家具、室內裝飾 諸官衙御用達 青木製作所 京城本町三丁目十六番地 電話本局三八一八番

謝近火御見舞 本町三ノ二二 イケダ書店

謝近火御見舞 合名會社 巴屋洋服店 京城府本町三丁目 電話本局三一三番 振替京城七九六五番

謝近火御見舞 鶴屋帽子店 京城本町三丁目二五 電話本局三五三八番

謝近火御見舞 衣服小袖反物 加藤衣服店 京城府本町三丁目 電話本局二〇五七番

謝近火御見舞 東雲 京城本町三丁目十六 電話本局三五七四番

謝近火御見舞 米穀商大山商店事 川部幸一 京城本町三丁目六〇 電話本局三五五八番

謝近火御見舞 ▲呉服京染▲美術刺繍▲白生地▲帶▲縮緬▲羽二重▲友染▲八掛▲地類 誂染時約店 京城本町三丁目 ゑらぎ屋 電話本局三〇六八番 振替京城五八三番

謝近火御見舞 京城本町三丁目 御料理 松風館 小坂恒吉

謝近火御見舞 京城本町三丁目 金物商 近藤安吉商店 電話本局一五六二番

謝近火御見舞 京城本町三丁目 橋詰呉服店 電話本局一八〇一番

謝近火御見舞 京城本町三丁目 呉服京染 ゑにや 中村榮藏

ひげ●むなげ●うでげ●すね毛 凡て餘分の毛
毛深き方
凡て毛深き方へ害なく毛生止め並に脫毛劑をハガキにて御申越あらば說明書進呈す 東京市外淀橋局區內柏木九三五 池田はな子

てんかん
ヒキツケ他療法無効の人も迷はず切手封入申込あれヒミツに治す責任良藥急送 全快者頗多 ▲和歌山市片岡町 藥劑士 富吉繁作

油斷大敵 円珊瑚

コツマク炎にて身體の何れを問はずアナあきウミ流れハレ痛み▲關節炎にて節々痛み▲セキズイ病にて手足シビレ 兵庫縣明石市郵便所前 長壽園 製藥所

ほねくさり

一石材 右購買ス供物 十一月ヨリ五月以降ノ 朝鮮總督府 土木部釜山出張所

謝近火御見舞 ラーチ號、ケント號、鬼タイヤ エルジン號、デビリン號、エフケリ 自轉車及タイヤ發賣元 自轉車商 ツヅキ商會本町支店 京城本町三丁目 電話本局三五七三番 京城代理店

謝近火御見舞 京城勸農園本店 南大門支店 齋藤嘉與次 京城府本町三丁目 電話長本局七〇五番 振替口座京城五四六番 電話本局二八三番

謝近火御見舞 京城本町三丁目 田中嘉助 三好喜六 阿部藥房 松月菓子店 山本下駄店

謝近火御見舞 東神火災保險株式會社代理店 佐藤半次郎商店 京城府本町三丁目 電話本局一二四〇番 振替口座京城一二〇一番 受電略號ケイジヨウストーフ ケイジヨキンコテン

謝近火御見舞 回天堂京城支店 藥品器械問屋 森川定次郎商店 京城本町三丁目二十三番地 電話長本局三三七六番

謝近火御見舞 株式會社朝鮮商業銀行本町支店 京城本町三丁目一八 電話番號本局一五八二・二六九九番

鮮內金融好化傾向
各銀行の預金貸出果進的增加

本年十月末に於ける朝鮮內各組合銀行の預金貸出總額を見ると預金一億一千十一萬九千圓貸出一億三千二百九萬一千圓であつて之を前月末に比すれば預金に於て六百六十八萬一千圓の減少を示して居るが貸出金に於ては二十三萬五千圓の增加である。此の預金の減少したのは鐵道工事資金又は商品代決濟の爲めに引出たものもあり其他一時融通されたる

對內地爲替取組

大震和された爲に震災地へ向けて付替たるもの等あつて預金の減少を助勢したのが其主なる原因のしたのである次に貸出金が比較的伸びないのは金融業者が幾分引締めて居るからでもあらうか併し銀行としては適當なる投資物件あり且健實なる事業に對しては進んで融通を圖る筈であるから之は要するに商人側に於て此際資金消化に就ての準備が充分整ふて居ない爲に積極的に資金を仰ぐ向が少い關係に基因するのではなからうか更に本月末の預金貸出を前年同月末に比すれば預金に於て五百二十三萬圓、貸出金に於て六百二十八萬二千圓各增加して居る。此れに由つて觀れば朝鮮の金融界は昨年秋季に比して幾分好化されて居る筈に拘らず事實に於ては却て沈衰に陷りたる形勢を現し一般商人が資金を喚つ腰も一層高い樣である殊に最近鮮內財界に倒産者を出したと云ふことは益々人氣を滅入らせる嫌があるのである、此の原因に就ては未だ的確なる材料を見出さないから何とも論斷することは出來ないが

關東震災の影響

を蒙り居ることも其一であらうと思ふ然し前記の如き狀態も此後決して永續すべきことではなく今や帝都復興も其緒に就き朝鮮に於ける秋季收穫も總て新穀出廻り期にも入るから各銀行の米資金放出等あつて多少市況の活躍を見るであらう今朝鮮內各組合銀行預金貸出を本年十月末と前月末及前年同月末との比較を示せば左の通りである

▲預金

	本年十月末 千圓	前月末 千圓	前年同月末 千圓
京城	三〇、九六八	三八、六〇五	三二、一三三
仁川	九、〇〇一	九、四八八	九、一八〇
釜山	一三、三六八	一四、三六八	一二、三三六
平壤	一四、三三三	一四、三三八	一四、八三六
元山	二、五九四	二、七三三	二、六三三
大邱	六、四八一	六、七六四	三、六六七
計	一一〇、一一九	一一六、〇〇〇	一〇四、九六八

▲貸出

	本年十月末	前月末	前年同月末
京城	六六、八六九	六三、八六八	五六、三三三
仁川	一四、四三三	一四、六一九	一一、六八九
釜山	一七、一〇四	一七、三三三	二二、一〇二
平壤	一七、三三三	一七、六六三	一六、四九四
元山	四、〇三八	三、九七〇	三、四八〇
大邱	一六、一〇一	一六、〇三三	一四、四三九
計	一三三、〇九一	一三三、八六六	一二四、八〇九

運賃關係
鮮米移出と

海運界は震災後復興事業に關し益々繁忙し來り爲めに朝鮮線にも影響して本月一日仁川、阪神間米穀運賃は社船協定値九十圓となつたが社外船は八十圓見當にて競爭して居る併し之を阪神芝浦間の運賃より計算すれば仁川阪神間社船百二十圓近くの割合となり從つて不定期船は朝鮮航路を喜ばず自然往復減少すべく鮮米移出期に際し甚だ好ましからぬ狀態を呈してゐる

の撤退によつて增收を計る外致しかないのであるが、併し米國の撤作地帶は最早擴張の餘地に乏しく上述の如き供給の大過追を作付反別の增加によつて根本的に救濟し得る見込は絕無とのことである

生糸賣止交渉

【東京電報】信州の製絲組合代表者の申出に係る八王寺二千五十圓以下賣止め問題は十五日午前十一時橫濱側と會見協議の結果二千五十圓を二千卅圓迄に卅圓方引落して兩者讓歩を示したるを以て賣止解決者は橫濱側と目下交渉中である

京城金融
預金減貸出增

京城組合銀行十五日現在帳尻は次の通り前月末に比し預金二百八十七萬五千七百五十一圓を減少し貸出は米穀資金の出廻りで五萬三千九百八十五圓を增加し有價證券持高に於て二百八十四萬九千八百五十圓を增加した

	十一月十五日
▲預金	
定期預金	三七、三一三、五五七
當座預金	八、六三六、五七〇
特別預金	一〇、二五四、九〇七
諸預金	一四、六九八、二二九
合計	七〇、八〇五、三一三
▲貸出	
貸付金	四八、五六五、二九五
當座預金	一〇、三五七、五六五
特別當座	一〇、九五五、九五三
諸預金	二一、八二三、五六八
合計	六九、八〇〇、三四九
▲貸出	
貸付金	三三、四四五、四六二
當座貸越	四、五三六、八〇四
割引手形	三八、六九〇、一〇六
爲荷替手形	一、七一〇、六六六
合計	七八、六〇四、二三一
▲手許在高	
有價證券	三一、六〇六、四〇一
預ケ金高	一、六六、八二六
金銀有高	三、三五七、三六六

輸出餘力（下）
米棉
增收見込無し

斯くの如く米棉需給は一大危機を豫想され、然も此の危機は凡らゆる點より見て實現の確實性を有するのである當局機關等誇張し消費を可及的に抑壓するでなければ此の危機の到來は防止し難いであらう十一月一日米國政府發表の新棉收穫高最終豫想は千二十四萬八千俵であるが十月二日の前回豫想に比して八十五萬七千俵の減少又九月一日の發表に比較するも五十四萬俵の減少である。本年度米棉の作付反別は三千八百二十八萬七千町歩と見積られ、昨年度に比して約一割の增加に相當し作付反別の最高記錄である、然るにその收穫は過去十五ケ年の最低記錄たる昨年度と大差ない結果に終らんとして居る、蓋し暉當り收穫の激減に基くものである、暉當り收穫率の激減は天候の具合にもよるが主として害蟲の蔓延に原因するものであつて、其根本的恢復は經濟的にして且有効なる害蟲撲滅法の發見されぬ限り到底期待し得ぬのである故に今後當分の間米棉は作付反別

商品市況

砂糖（反落）海外は輸りながら品不足を材料に買進み過ぎの內地は反落して分蜜十一月もの十九圓九十錢精糖二十八圓を唱ふるに至り鮮內も軟化して二十八圓七十錢を唱へのぜーも二十三十錢下押し氣勢である內地軟弱は鐵道輸送の如く捌けざるも一因にて大阪は日々出荷表と睨つ子であるが端境期の折柄何しても相當捌けて居るの好景氣であるものと一掃されんとする態であるのである但し瓜哇は十一月十八盾五十仙十二月十八盾六十仙半二月十九盾三十五仙と手堅く來年度への持越量は二十萬八千餘屯にて昨年より持越量四十六萬屯に比し半數にも達せず相場は金城鐵壁視されて居る砂糖弗々出廻り五弗五十仙唱へ

麥粉（海外安）十一月五日一弗七仙八分の五を示して居る原因に就ては手持筋の賣急ぎが主にて米國政府の農民保護の捗々しからざると歐州再懇化等がその副因である但し四十八弗八分の七の米日爲替或は更に軟轉せんかの氣配もあり太平洋運賃昂騰に內地は保合ひ滿州小麥も五圓六十錢見當なるべきに九十錢を唱へて居る從つて大手の煙み合ひに伸び惱み居る朝鮮は綠ダイヤ三圓四十五錢二燕三圓四十錢と變らざれど幾分安氣配である

綿絲布（閑散）米棉高鎖塊高によりて三品相場は三分の二圓高を示し市況聢りなれ共一般買氣迷深く今一つ捗々しき賣行きも無く市況閑散なり粗布三エ一二百五十八圓九艶二百五十三圓大エ一二百四十八圓金剛山二百二十八圓金閣二百十七圓白頭山百七十六圓煙管二百十圓長鼓二百二圓樂錢二百二圓細布飛犬（十三封度）十三圓六十錢世樂鳥十二圓晒金巾進軍十三圓四十錢金册十二圓八十錢綿絲扇面（十六封度）二百六十五圓双女二百三十七圓晒木綿竹一圓十錢梅一圓四十八錢

鮮魚（閑散）前日來と同じく各地よりの入荷尠く引續き閑散氣味なり たい四十五圓小たい五十五圓もえび七十圓ぶり二十五圓さば十二圓さわら三十圓あなご十五圓ひらめ二十圓いか三十五圓にべ十七圓

雜記帳

▲京城府中の小賣値段が不同である事は餘り珍しい事で無いが需要者に取つては氣持の好いもので無い▲尤も公設市場が出來てから大分この弊害が除かれたやうだが日常の必需品で公設市場と一般小賣値の一定せぬものが澤山ある▲物に依つて市中小賣値よりも公設市場の方が高いのもあるが概して市中の小賣値が高い、小賣商の中には幾分相場を無視した遣り方をするものがあるとの事だ▲早い話が鷄卵などは卸値と小賣値に四割以上の開きがある其他三割以上の開きのあるものが大分あるやうだ需人の立場になつて見ると相當の經費は掛るも少々の利益で遣り切れ無いであらう▲併し需要者側になつて見ると收入は殖へず物價は幾分でも上る脚の今日値段が不同では安いのなら好いが高くされては困る譯だ

株式（十七日）
京取戰に移る
前場は硬調 後場は續騰

今朝は大阪大新七十五圓六十錢の變らぬ移りに氣配は變らず依然見送りの商狀であつたが京取仁新には主力筋の買進みがあつて强調を呈した即ち大新は七十五圓五十錢と寄り付跡六圓臺の小高き入電に六圓ドタと昂げ五圓九十錢と脫りに打止め三十錢高仁新は三十二圓九十錢と小高く寄り付三圓ドタと上乘せ十錢二十錢とヂリ高歩調を辿りしも大引は出來ず結局七十錢高京取は當三十三圓八十錢と六十錢高に寄り付た跡氣四圓五十錢五圓ドタと奔騰四圓五十錢と押し四十錢と打止め一圓二十錢方昂騰先物は三十三圓六十錢と寄り付四圓五十錢を高値として三圓八十錢と底堅く打止め七十錢

京取稍活氣付

大新に人氣の集中せると何等花々しき當材料のない爲めに單に小締りを告げつゝあつた丈で一向活躍なる値動きを示さなかつた京取は今朝俄然活氣を呈し當物は五圓ドタ先物は四圓五十錢の高値があり減切り强調を呈した併し一般の手振から見て人氣が彼に集中した譯ではなく矢張り買方主力の煽揚に因るものと見られ同時に從來買方主力の手口から見て此上更に突進を爲すべしとも思はれず從つて相場も一氣の高値は望み難いとせられて居る併し京取市場としては旣に短期復活の申請を爲し其實現も單に時日の問題とせられるに至つたのと大新に對する鞘の縮少とは何れも京取株の前途に多少の光明を投げつゝあるもので而かも買方の態度は目先の騰ゞは眼中に置かず長期計畫の許に頑强に買掘つて押目〳〵と買進んで居り其足取りからも尺進寸退で徐々に引締りつゝある爲めにまだ買方の投げを誘致するまでに至らない從つて夫丈高値は殘つて居りまだ天井は

買氣轉向の一例

新鐵に對する主力筋の買玉は依然として維持されつゝあるは勿論であるが所謂一般的の買氣は漸次他に移動し來り居る姿であると稱せられて居る、其一例としては本月の新鐵新甫値五十八圓九十錢であつたが昨今は約二圓餘の安値を保ち居るに反し大新の新甫値七十四圓卅錢のものが昨今二圓餘方の高値に居れる一事は確に一般的の買氣は新鐵を去つて大新に馳せたるを物語るものであると解せられ東新高と相俟つて大新の今後に對し幾分望みを嘱さるゝ傾向となつたと

東株淸算再會
一般に良好

十五日再會した東株淸算市場は電線故障の爲め詳報に接せなかつたが今朝漸く入電があつた『震災で窓も戸もない立會場內に立錐の餘地もない迄に參集人が詰めかけ復興の意氣込が張り滿々から始まつた取引は順序よく進行し淸算市場の氣配も好く立會へは諸株を通じて概して買物多く當限は實物相場に比して概して寂十錢乃至二三圓高く先も順鞘を示したが一般に今日（再會日）の成行を見た上で出動して も遲からずと手控へた者が多く出來高は左程多くはなかつたと

彈力ある商狀

打たぬものと見られて居る金融方面も旣に有力なる融通口を控へて居ると稱せられて居る上に軟派としては大阪市況の外には弗當り賣り叩く可き材料はなく安値は手詰めんとの振合がある爲めに下値は無いと見られて居る此昇一氣の昂騰は望み難いとしても今後は矢張り一張一弛尺進寸退の裡にヂリ〳〵高歩調を辿るものと解され押目は買ふより外仕方はあるまいと見られて居た（前場）

復興相場の一巡せると綿絲市況が一と息の商狀を呈した爲めに人氣は買傾向を呈した大阪市場過般六十四圓八十錢と高値から全く十圓方の下押しを告げ而かも離合された綿絲市況が此邊見直りの機勝がある所より之れを動機に人氣一轉の形勢があり鐘新を中心とせる買氣は依然弛まず買氣は更に僞進したと稱され今朝の人氣は此昇實り込まんより尚卅目は買組はんとの振合が窺はれ殊に今朝地株の强調に刺戟された傾きもあり今朝の如き只警戒すると云ふ丈で大した賣物

仁取逆日步

仁取は今十七日現在の喰合で四十枚の株不足となり逆日步となつた

現株中値出來値（十七日）

銘柄		前場 當限	前場 先限	後場 當限	後場 先限
京取	寄	三三・八〇	三四・六〇	三三・九〇	三四・三〇
	引	三四・四〇	三四・〇〇	三五・〇〇	三三・八〇
仁取	寄	九〇・〇〇	…	…	…
取新	引	…	…	…	…
同新	寄	三三・〇〇	…	…	…
鮮銀	寄	一六・〇〇	…	一六・三〇	…
同新	寄	一八・〇〇	…	…	…
殖銀	寄	四四・三〇	…	…	…
同新	寄	一一・三〇	…	…	…
實業	寄	一一・三〇	…	…	…
商銀	寄	四四・三〇	…	…	…
漢銀	寄	三五・三〇	…	…	…
同新	寄	一七・三〇	…	…	…
東拓	寄	二三・〇〇	…	…	…

銘柄		寄
同新	寄	二二・〇〇
鮮士	寄	三三・三〇
朝紡	寄	…
滿毛	寄	四〇・三〇
京電	寄	一四・三〇
同新	寄	…
電興	寄	三三・三〇
釜電	寄	一八・三〇
朝郵	寄	三三・三〇
圖們	寄	…
京南	寄	八・三〇
金剛	寄	一三・三〇
滿鐵	寄	三〇八・〇〇
同新	寄	三三・三〇
東亞	寄	九・三〇
同新	寄	一・六〇
勸信	寄	四・八〇

短期取引

銘柄		寄付	大引	高値	安値
大新	前	七五・三〇	七五・三〇	七五・八〇	七五・三〇
	後	七五・七〇	七五・八〇	七五・八〇	七五・五〇
仁取	前	…	…	…	…
	後	…	…	…	…
同新	前	三三・八〇	三三・三〇	三三・三〇	三二・九〇
	後	三三・九〇	三三・三〇	三三・九〇	三三・三〇
新東	前	…	…	…	…
紡績	前	…	…	…	…
拓新	前	…	…	…	…
滿鐵	前	…	…	…	…
取新	前	…	…	…	…
安取	前	三三・八〇	…	…	…
	後	…	…	…	…

銘柄		寄
朝信	寄	六・〇〇
勸信	寄	六・〇〇
滿取	寄	…
信奉	寄	三・〇〇
安取	寄	…
大新	寄	…
新大	寄	…

大阪短期取引

銘柄	十七日 前場 寄付	大引
大新	七五・六〇	七六・七〇
天取	二六八・五〇	二六九・五〇
鐘新	七六・七〇	七六・六〇
大新	…	…
天取	二六九・五〇	二六九・五〇

安東株式

		十六日後場 寄付	大引
安取	當	一五・三〇	一五・二〇
	先	一四・九〇	一四・九〇
		十七日前場 寄付	大引
安取	當	一五・三〇	一五・四〇
	先	一四・九〇	一四・九〇

鎭平銀

	十六日後場 寄付	大引
當限	一・二〇一	一・二〇三六
先限	一・二〇四七	一・二〇四五
	十七日前場 寄付	大引
當限	一・二三八	一・二三七
先限	一・二〇四八	一・二〇四八

出來高

▲長期千六百十枚累計三十一萬九千三百六十一枚短期千五百十枚累計二十五萬四千八百三十枚

定算

仁取出來ず、仁新三十川圓、大新七十六圓

日步

仁取逆五十錢、仁新七十五錢、朝紡五十錢、拓新十錢、滿取十錢、安取十錢、大新四十錢

諸株喰合尻

▲京取當三、四三〇現供七四〇
▲同先二、一四〇現供二〇〇
▲仁取四一〇不足四〇
▲仁取一、五二〇代引一二〇
▲大新三、七〇〇代引三、九〇〇
▲安取三、三〇〇代引一、一八〇

後場手振

▲大新、新田、定岡、井口、賣り、吉見、金龍、田中、中村、白樂、閔買六百五十枚▲京取當金龍、新田、有田賣り、吉見、洪柱、定岡、中村買五百枚▲同先有田、井口、南賣り、金龍、李胃、家岡買五百枚

大阪長期取引

銘柄	十七日 前場寄付	十六日 後場大引
大株	九五・九〇	九五・九〇
同新	七六・〇〇	七六・二〇
郵船	八二・五〇	八二・七〇
同新	…	…
商船	一一二・〇〇	一〇・九〇
同新	二八四・一〇	二八三・七〇
鐘紡	二五七・五〇	二五七・八〇
同新	二一一・九〇	一一〇・九〇
東紡	九七・五〇	…
日糖	…	…

銘柄	十七日 前場寄付	十七日 後場寄付
大株	九六・〇〇	九六・四〇
同新	七六・一〇	七六・九〇
商船	八二・五〇	…
同新	…	…
鐘紡	二八六・三〇	二八六・三〇
同新	二五八・〇〇	二五八・五〇
東紡	一一〇・七〇	一一〇・九〇
日糖	九七・四〇	九六・四〇

米況（十七日）
仁川期米
前場更に昂騰

今朝天候晴天大阪寄三十三圓八十一錢と前日の止値より十八丁安を入れしも當所は前日上げ盜つた丈に反響薄く當中出來ざりしも先限には割安思いの買物續出して二十七圓十五錢と逆に十四丁高に寄付▲第二節當出來ず大阪二節三十四圓五錢の移りに中七圓五十錢先三十錢より小口賣方の狼狽崩れに五十錢と更に噴き上げ買方の利喰いに四十五錢と小弛みして引▲第三節當出來ず中四十五錢先四十錢始め大阪跡十五錢の移りに五十錢と締りしも買方の警戒に四十錢と押して引▲第四節當出來ず中五十錢先四十錢に始め卅七錢と下返りせし團先大阪跡四十錢高を早耳せる買物に煽ち六十五錢と更に新高値へ噴上げ四錢と手堅く引▲第五節當出來ず中六十錢先六十三錢より五錢と締りしも大阪の安喙に四十錢と叩かれて引▲第六節當中出來ず大阪跡三圓八十五錢の反落を入れて先十錢より〇八錢と崩れたるも押目は强氣の買直しに二十錢と返し十七錢引▲第七節當中出來ず大阪止め十一錢の移りに先二十七錢より二十錢と手堅く大引

渡米の買附

阪地の軟派主力が結束して中先の兩限に實米戰を試むべき企圖のある事は別項の通であるが其の後聞く處によると仁川にも其筋の正米買注文が續々入込み來り十二月十日積又は一月十日積として相當商談纏りたるが如く今後の阪地成行きに付ては此際特に注目されて居る樣である

賣買差引殘

	賣方	買方
㊃	八〇〇	四六〇〇
㊀	三三〇〇	二四〇〇〇
㊅	一五〇〇	二〇〇〇〇
㊂	三〇〇〇	一四〇〇〇
㊁	一〇〇〇	一〇〇〇〇
丸大		一〇〇〇〇
藤		六〇〇〇
丸張		一〇〇〇

ぎないから之れ以上の高値は却て强氣が身を滅す基となりはすまいかと

	十七日前場	十七日後場
寄付	二七・一五	二七・二五
止値	二七・二〇	二七・二〇
高値	二七・六五	二七・三五
安値	二七・〇八	二七・〇五
○前場公定値		後場公定値
一節	二七・一五	二七・二五
二節	二七・四二	二七・二〇
三節	二七・四七	二七・一六
四節	二七・四五	二七・一四
五節	二七・五九	二七・二九
六節	二七・一六	二七・二〇
七節	二七・二〇	二七・三〇
限月 受渡 當限		二七・〇五
中限		二七・〇〇
先限		二七・〇五
取組高 當限	八千三百石	
中限	一萬〇七百石	
先限		
出來高	十四萬五千石	
累計	三五一〇三〇〇石	

後場跡高

▲第一節 當中出來ず大阪後寄三十三圓八十三錢と氣甘き移りなりしも先二十七圓二十五錢と氣丈に寄附▲第二節 當中出來ず大阪の頭重き移りに双方見送り姿にて先二十錢一本値に引▲第三節 當中出來ず先十八錢より二十錢と締り十二錢と押し十三錢引▲第四節 當中出來ず先○五錢より二十五錢と跳返して引▲第五節 當中出來ず先二十五錢より三十五錢と好勢に引▲第六節 當中出來ず先三十七圓三十錢大引

京取稍活氣付

軟派の貰米

阪地軟派主力の一人たる井谷は買方主力の山內及び林より中先六萬石の貰ひ米總合ひが成立したる由但し値段は不明であるが今朝阪地三十四圓臺に沸騰したのは此の解合ひが原因であつたらしい

要は出穀の如何

當所は今の處之れと云ふ手口もなく餘り問題とする程の事もないが然し阪地は三期に亘つて四十萬石から大取組を有し殊に賣方は中先に力瘤を入れ愈々賣米戰の結束が出來た樣に傳へられて居る果して此の納りがどうつくか之れが今後の見物である若し買方の理想通り第二回豫想の大減收で農家が手易く賣出さぬとすれば賣方としては甚だ面白からぬ結果に陷らねばならぬが然し釜山群山等で買附けをしたか米が順調に阪神地方へ廻着して愈萬石と云ふ大玉が實米化する事になれば時節柄買方は自滅の外なからうが何れにせよ要は今月末より來月にかけて正米の出廻り具合に依つて最後の勝負が決せられるのであらう

强弱の言ひ分

帝都震災當時は一般の思想が非常に萎縮して獨り米のみならず總ての物が恢復絕望と云ふ人氣に一致して居たが偖て今日になつて見ると日用品を始め株で御座れ米で御座れ甚しきは海賃までも船腹の不足を告げて値上げをするといふ狀態となり一般の豫測は全く裏切られて居る之れと云ふのも震災で總てを極度に悲觀し過ぎた咎めで今日としても未だ前途不安の人氣が去らはい爲めに兎角人氣は戾り賣りに傾いて居るが今後此の人氣が改まらない間は客易に局面の轉換は望み難いと云ふのが强氣の說である然し弱氣に云はせると其も程度問題で今日の値頃から云ふと總てが震災前の相場に復活しては居るが其も財界の事情が根本から直つたと云ふ譯でなく只兵阪地方に停滯して居た物資を一時に震災地へ供給した一時的の中間景氣に過

米界餘聞

今年の天候は一體に片意地なとは屢々いふ通りで前月邊りの上日和に引替へて今月の天候は强張りなつてない▲秋の日和と人の心は變り易いのが常とは云へかうも毎日七面鳥の樣に降つたり照つたりの變り様では農家の取入れが益遲れる一方で現物市場を覗いて見ると問屋さん達は相手の代物が出て來ない爲め皆ストーブを取卷きながら小首を傾けて居る▲さうして陰濃しに時々延べ取引を行ふて居るが之れも定期と同樣季節や値頃に惚れて買つた者は容易に浮ばれない▲然し間屋さん達はどちらかと云ふと今の內に相場が高くなつて內地の商人へドッサリ賣込んだ頃から弗々正米が出廻つて吳れると安い物が買ふて渡せるのでこんな時には出廻の遲れるのが却つて儲だと云ふて居る向もある▲何れにせよ地廻りの粳は入津が日々殖へて來たしおまけに久しく續れた天候もどうやら本直りになりそうであるから賣方の賴みとせる最盛期も餘り長い事はあるまいすると買方も調子に乘つて今度はアベコベに逃げるに逃げられず其れかと云ふて頑張れば米を抱かねばならぬと云ふ痛し痒しの瘡頭にならぬ樣致許注意が肝要である

京城穀物

正米現物

粳は日毎に出廻り增加の模樣にて賣物隨所に現はれつゝあるも買人の見送り態度に商內捗しても七錢一杯が關の山らしく日の出神力の交りにて六錢三四厘迄出來したるものもありとかにて今朝は定期高や各地正米の高移りも利目なく地摺玄米の如き賣物の潤澤に却つて一二十錢方の安氣配を唱へ神力上物二十五圓五六十錢處となり賣物カスレの合格品も地摺に壓されて伸惱み四等二十八圓二十錢見當の持合ひ唱へである

延

期米約六十丁方の躍進を演じ今朝更に一二十錢高に出來した十一月末限二十七〇〇▲十二月中限二十六九〇▲十二月末限二十七二五▲一月中限二十七二五

大阪期米

	十七日前場	十七日後場
當寄	三三・三九	三三・四九
止め	三三・五〇	三三・六〇
中寄	三三・四〇	三三・六〇
止め	三三・五三	三三・五〇
先寄	三三・八一	三三・六四
二節	四〇・一五	三三・八三
三節	一・一一	三三・八三
四節	一・一九	一・八六
五節	一・二四	一・七七
六節	一・一八	一・九〇
七節	三・八六	一・八九
八節	一・八一	…
九節	一・九〇	…
十節	…	…

兵庫期米

	十七日前場	十七日後場
寄付	三二・五六	三二・四五
止め	三二・五〇	三二・三九

下關期米

	十七日前場	十七日後場
當限 寄付	…	止め
中限	…	寄付
先限	三三・九〇	三三・六〇

桑名期米

	十七日前場	十七日後場
寄付	三四・三〇	三四・一一
止め	三四・三一	三四・三〇

大阪三品

	十七日前場寄付	前場大引
十一月限	二六五・〇〇	二六五・一〇
十二月限	二六五・三〇	二六五・四〇
一月限	二六五・三〇	二六五・四〇
二月限	二六六・三〇	二六六・八〇
三月限	二六七・〇〇	二六七・一〇
四月限	二六七・四〇	二六七・三〇
五月限	二六七・三〇	二六七・四〇
○十七日後場寄付		後場大引
十一月限	二六四・一〇	二六四・一〇
十二月限	二六六・四〇	二六六・二〇
一月限	二六八・三〇	二六七・三〇
二月限	二六八・八〇	二六八・八〇
三月限	二六九・五〇	二六八・九〇
四月限	二六九・九〇	二六九・九〇
五月限	二六九・九〇	二六九・四〇

東京期米

	十七日前場	十七日後場
寄	三五・四七	三五・五九
先節	四五	五四
二節止	四九	五五
三節	七八	五五
四節	六一	五八
五節	…	…
大節	…	…

大阪期米

四節	六一
五節	七八

大豆

賣人は相變らず高張り勝なるも買氣不引立にて聊か高ナゲレの模樣である金幷今月渡し十五圓四五十錢運鐵今月渡し十六圓賣十五圓八九十錢買の唱へに同來月二十日渡しは十五圓三十錢に出來した

仁川正米

定期高を受けて丸キ四等二十八圓八十錢地摺上物二十六圓五十錢神力八錢三厘在來種八錢見當の唱へなるも賣物薄にて商談少なき模樣である

釜山正米

現物二十九圓五十錢十一月末限二十七圓九十錢十二月中限二十八圓三十錢十二月末限二十八圓四十錢より八圓一月中限二十八圓三十七錢より七圓八十五錢出來高一萬石

群山正米

現物三十圓十二月末限二十八圓十三錢より〇八錢一月中限二十八圓二十三錢より〇八錢出來高一萬七千石

大邱正米

現物二十八圓三十錢十二月末限二十七圓六十錢より五十錢一月中限二十八圓〇五錢出來高一萬三千石

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町三丁目
㋑今村覺次郎
電話長 三一三番 三六七番 三六八番

株式取引所仲買人 廣澤正次郎 仁川海岸町三丁目 電話長一六六番

胃腸 胃病ズラシ
マルスタ－ゼ 新藥

效能
▲服めば不思議に腹が飢く
▲吐氣と腹痛すぐ止まる
▲腸の緩和に大妙藥

到る處の藥店にあり品切の際は本舖へ
販賣元 京城府元町貳丁目四拾參番地 胃病ズラシ本舖 電話龍山五一六番 振替京城一一六二七番

ヴィタミン主劑
人類最高の榮養素
体質改造劑
精力素
健康素の分析比較：精力素 三八・五〇％、鷄卵 一〇・一〇％、牛乳 〇・七四〇％

容量	定價
一分ケ月入	金貳圓
二分ケ月入	金參圓八拾錢

（說明書進呈）
前東京芝公園 國民体力改造同志會
大阪市外玉出町（總本部）振替大阪一〇七六七番 電話天下茶屋三四七番
代理店 大阪市東區平野町 丹平商會分店
◇全國藥店にあり

測量諸機械
在庫豐富
京城本町一丁目 篠崎商店 電話本局一三〇三・二四八番 振替口座京城一五四番

壁の素ポーライト
凡有輸入品を凌駕する純國產品優美粧室塗料
粉末ポーライトを水に溶いて唯一本の刷毛で小供でも塗れる簡易にて危險なき美くしい粧室衞生塗料一坪分僅か四十錢也
朝鮮一手特約店 大邱府上町 大邱物產貿易合資會社
特約店御希望の方は弊社へ御照會を

醫學博士岡崎桂一郞先生創案
人體營養の素
ヴィタミン
ABG含有
ウイタシュム錠劑
百五入二圓五十錢 半百五入五圓
發賣元 京城天滿山 藤田藥鋪 電話長八一番

通俗太閤記

松林伯知講演 加藤由太郎速記

二百九十八回

野武士として『百姓出』といふ名の付いて居る鉄花活に今川家累代秘蔵の重寶千鳥の香爐といふ宗祇所蔵の名器を進上いたしました千鳥の香爐といふのは天下の名器

皮膚科 (診察夜九時迄) 皮膚病 泌尿器 (入院隨意) 京城明治町二丁目 佐藤醫院 電話一三〇七番

僕大いに喜び之を秘蔵いたしましたが後に木下藤吉郎拝領をいたし一代秘蔵となつた、これなる香爐は前以て家の吉凶を知らせるといふ不思議な品、彼の石川五右衛門が太閤の邸に忍び込んで盗まんとしたのもこれである、此の氏實といふ人は天下無双の蹴鞠の名人、今で云ふとフートボールと云つたやうなもので鞠を矢張蹴るのだ信『是非一度見せて賜はりたし』と信長の強ての所望、氏實も辭むに由なく相國寺の庭において諸将兵卒並ぶ前にて蹴鞠の技を信長にお見せ申す、實に何うも其妙術といふものは神に通じて居る、信長これを見て『勿體ないものが上達したものぢやアないか、武藝に上達したならば今頃の名家に生れたものが武藝を懸心しなくてもいいものを、ヤレ〳〵無の蹴千萬である』と嘆て其技を笑ふといふ、イヤ惜しい事、彼是いたして居る處へ容易ならざる出来事が起した、夫は甲州の武田勝頼大軍を起して三州長篠の城を攻め圍むこと急なり、而も其の勢い甚だ猛烈にして城兵殊の外難儀を致し居れば一日も早く御援兵御加勢を願ひたいと云ふことだ、信『さては……』と驚いて信長に於て援兵とるものも取敢ず十三日に岐阜を發足して十五日三州岡崎に着き玉ふ、時に鳥居強右衛門長篠城中を免れ来り信長公に面謁して『兵糧既に盡き兵士盡く疲れ、城主奥平九八郎定昌将に討死せんとす少しも早く御加勢なくば落城旦夕に迫ります』信『如何にも承知いたしたり』とあつて直様兵を牛久保に進め来る鳥井は此事を少しも早く知らせんと路軍に先立つて出立いたしましたが、偖て長篠城の奥平九八郎といふのは本年僅に二十一歳、今年二月二十八日長篠の城を拝領して之れに住したのでありますが、武田勝頼三萬七千の兵を率いて寄せ来り、五月一日より城を囲み十一日に至り鳶合の砦を攻むること甚々急に、定昌必死となつてこれを拒ぎ戦ふと雖も更に其甲斐なく、十二日には寄手は本丸の下を掘らせて攻め入らんとする日夜の戦争の際旅籠職の戦争には穴を掘つては進みましたが、如何にもこれは旅籠ばかりではない、昔も城に坑を掘つて攻め込むといふ事はあつた定昌は早くも之れを察して定『彼れ本丸の下を掘つて攻め入るとならば吾が方よりも掘つて掘り来る兵士共残らず斬殺せ』とドン〳〵此方から掘つて行つた、丁度同じ見當に掘り當たものと見えて一つ穴で鑓を見合せオヤ〳〵と呆れる『ソレ』と云ふので槍を取つて突合ひに寄手を斬崩し追ひ返したから、サア寄手も躊躇攻めあぐんで搦手の外あるべからずと長篠をズーと四方から圍んで居る先づ勝頼は醫王山に本陣を構へ武田左馬允信豊は大通寺山に、穴山入道梅雪、一條右衛門太夫信龍、小山田備中守は岩代川の邊りに厥くに備へを立てた、備また鳶の巣山の砦には名和無理之助、飯尾彦四右衛門、五味與惣右衛門其外雑兵人數の備へを嚴めて兵糧の與力となし、瀧澤川大林川の要りに陣子を引いて忍びの者を攻め殺し城の鳥居鑑となりまして隠れ出づる透き間もなく、寄手は攻旗を打つて脅かすと雖も城中に於ては少しも屈せず隙を合せ鑓を合せては居りますやうなもの、實はもう城中兵糧は十日ばかりよりなく、若し其後となれば餓死いたすの外はございませぬサア類が類ではありません。

名藥 松の葉 貴生室製薬 明治屋 發賣元

◇珍草と水仙の配布 新年の觀花盆栽として珍賞せらるゝは福壽草水仙金大ダイ等なるが其名産地たる信州下高井郡延德村の高井園農社へ送料荷造費共二十錢を送れば濃黄金色八重掬巨大々輪一芽に數輪著花福壽草六芽一組を送り二組四十錢三組五十錢又水仙濃黄金色八重狂咲巨大輪五球十五錢十球三十錢外に賞紅色渾山賞付金大ダイ二本一組四十錢二組七十錢にて何人にも急送する由

將棋新手合(四)

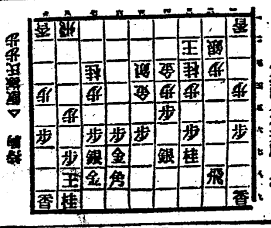
於仙台市東一番丁佛具木將棋所 飯塚五段歡迎會席上

▲五段 飯塚勘一郎(東京)

角落▲三段 石井萬之助(宮城)

圖は前號指了迄の局面

▲持駒 石井氏 歩



(指手續) 稽古

△四五歩▲三五歩▲同歩△同角(ト)△四四銀▲六八角(チ)△六五歩▲同歩(リ)△同桂▲六六銀△五七歩▲三六銀(ヌ)△三五歩▲四七銀▲四六歩▲同銀△三六歩▲四五歩(以下次號)

▲(ト)同角の處矢張七五歩と突く處なり

▲(チ)六八角引き弱し二六角と引き決戦策を採る方大に優れり

▲(リ)同歩は面白からず此處樂かに三五歩と位を採りて指す方面白し

▲(ヌ)三六銀は惡手なり此處六五銀同金六六歩六四金三六桂と決戦する方面白し

十一月十九日

(舊曆十月十一日) ▲一白▲西北方▲月曜 ▲丙午▲友引▲畢宿

▼一白▲萬事滞りなき日轉居旅行移轉等不利矢せ物用心坤の西が吉

▼二黒▲心を勞してばかりゐて利得は少い半吉の日坤と乾が吉

▼三碧▲好運の日思はぬ儲け事に廻り合はする待人必ず來る巽が吉

▼四緑▲慌てゝは駄目落着いて事を行ふて收益の多い日西と巽が吉

▼五黄▲念に念を入れても破れ易なる日大阪見合と東と乾が吉

▼六白▲擬に比べて利の多い日正しい事は行ふて益々吉東と乾が吉

▼七赤▲目上の引立に逢ふ事ある日和らなければ概ね吉東と乾が吉

▼八白▲足元の見えぬ事がある推むよりは退くに利巽と坤と乾が吉

▼九紫▲心に迷ひを生じ方針を誤り易い日、飲食物注意西と艮が吉

關釜連絡船

	發 釜山 午前十一時	午後九時三十分
十七日	朝、昌慶丸	夜、景福丸
十八日	朝、昌慶丸	夜、景福丸
十九日	朝、昌慶丸	夜、景福丸

新柄ネクタイ新荷着 柄自慢 明治町通り 富屋

流感風邪に一番よくきく 複方ピラミドン 販賣店各地藥店にあり 京城府龍山元町二丁目八八 本舗 (H) 林藥房

南洋行郵便物 取扱規則改正

第一號中「通常郵便物の書留」の下に「價格表記」を加ふ 第二號中「小包郵便物」を「書留…

固い握手

食物と味の素とは固い握手の戀人同志 ドンナお料理でも味の素と握手すれば立所に美味しくなります、美味、重寶、經濟之れが調味料味の素の三大特色です

味の素

11-B

醫療器械及諸機械自家製作装飾金具鍍金一式

京城本町二丁目五十三番地

開正舎工作所

銀行本町支店横入 電話本局三九三六番

仁川本町二丁目 朝鮮銀行仁川支店 電話(一二一番)

仁川本町四丁目 朝鮮殖産銀行仁川支店 電話(七二四九〇番)

仁川本町二丁目 株式會社安田銀行仁川支店 電話(一五〇八一番)

仁川本町二丁目 十八銀行仁川支店 電話(九一・一八番)

仁川本町三丁目 朝鮮商業銀行仁川支店 電話(四九八番)

仁川海岸町 朝鮮實業銀行仁川支店 電話(三一三番)

敏活なる事務家……は常に

腦病良藥 健腦丸を持薬とす

毎に腦を過勞する人、腦の惡しき人

腦神經衰弱の人

速かに試みよ!!

效主 腦充血、神經痛、頭痛、腦貧血、耳鳴、眩暈、逆上症、卒中、中風、健忘、便秘

特長 逆上を引下げ、便通をよくし、恐る可き中風卒中を未発に防ぎ、腦充血を快治し記憶力を増進す

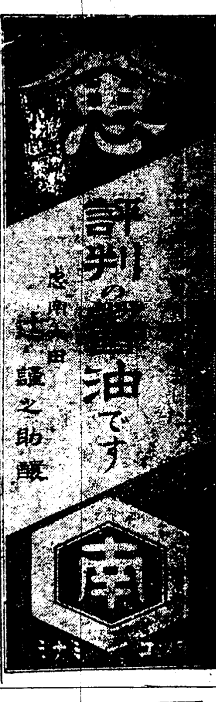
定價 四日分六十錢より十四日分七圓迄 各種

本舗 丹平商會藥房

流經 新藥レスノリン 月經

閉止四五ヶ月以内に確實の流經を以て容易に目的を達し得られ優秀なる作用を有す 一箱一圓五十錢 送料四十五錢 郵便切手代用は二割増 説明書は三錢切手添申越次第呈す

大阪市北區曾根崎上一丁目三六地 振替大阪二八三七〇番 常盤藥院



安心して御愛兒に與へ得るものは最良品だけです。是非ネッスルフードを御求めあれ。現今種々模造品が廣告されてゐますから御注意下さい。ネッスルフードは五十餘年間定評ある品です。御愛兒の健康、家庭の幸福、本品に依つて得られます。

小兒、病弱、老衰者用營養品

藥店食料店にあり

ネッスル ミルクフード

見本送呈 (京城日報) 此の廣告切取り御送付の方に見本及説明書進呈す

倫敦ネッスル及アングロス井ス煉乳會社 神戸江戸町八十五番地

F 1-4-22

京城旭町二丁目八番地 外科 皮膚科 瀬戸醫院 院長 瀬戸潔 (電話本局二四九八番)

(兒童保健相談所) イケタ内小兒科病院 京城三越呉服店前へ入る南山町二丁目 電話 病室二三四番 自宅三〇四番 院長 池田季[illegible]

黒朱子 紺朱子 白朱子 何れも優れた 足袋は福助

足の試驗

皆様のお足が之はよいと見定められた足袋が福助です 福助は恰好にも穿心地にも染色にも及第して居ります

福助足袋株式會社

朝鮮郵船定期

朝鮮郵船株式會社 電話光化門 一八四・一八五・一八六・一八七番

○釜山支店 佐藤町 電話 六一・六二番

●元山支店 ●仁川出張所 海岸町 ●京城代理店 龍山漢江通 電話 龍山二七〇番

●元山代理店 吉田運搬會社

釜山丸 十一月廿一日 大阪行

濟寧丸 十一月廿五日 下關行

鏡成丸 十一月廿日 江原行

立神丸 十一月廿九日 敦賀行

平壌丸 十一月十九日 清津行

成鏡丸 十一月廿一日 清津行

京城丸 十一月廿六日 雄基行

清津丸 十一月廿三日 雄基行

○釜山代理店 大池廻漕部

昌福丸 十二月四日 濟州行

新義州丸 十一月二日 大阪行

會寧丸 十一月廿八日 下關行

ひより丸 十一月廿一日 濟州行

京畿丸 十一月廿三日 北海行

清津丸 十一月廿一日 沿海行

宗信丸 十一月十六日 濟州行

雄基丸 十一月廿二日 濟州行

濟州丸 十一月廿五日 濟州行

統營丸 十一月廿一日 沿海行

○木浦代理店

昌福丸 十一月三日 濟州行

新義州丸 十一月廿九日 大阪行

昌原丸 十一月廿一日 釜山行

慶翔丸 十一月廿二日 濟州行

公州丸 十一月廿一日 多島海行

全州丸 十一月廿七日 仁川行

ひより丸 十一月廿二日 濟州行

江原丸 十一月廿三日 濟州島大廻行

○仁川取扱店 堀岡商部

昌福丸 十一月一日 濟州行

新州義丸 十一月廿七日 大阪行

ひより丸 十一月廿五日 鎮南浦行

全州丸 十一月廿二日 木浦行

豆濟丸 十一月廿四日 海州行

多德丸 十一月廿四日 鎮南浦行

江原丸 十一月廿六日 大連行

平安丸 十一月廿一日 安東縣行

大阪商船出帆

仁川出帆

●大阪行(群山木浦經過)

天智丸 十一月 日 午後三時出

宮島丸 十一月 日 午後三時出

大信丸 十一月 日 午後三時出

●南浦安東縣行

東榮丸 十一月 日 午後三時出

築士原田丸 十一月 日 午後三時出

元山出帆

●城津清津行

武昌丸 十一月 日 午後五時出帆

●釜山、門司、宇品、神戸、大阪行

湖北丸 十一月 日 午後四時出帆

大連出帆

●上海福州基隆高雄行(但し○印は青島寄港)

湖北丸 十一月 日 午前三時出

盛京丸 十一月 日 午後二時出

內地各港出帆主要航路

●歐洲行毎月十三回●濠洲行一年十回●濠洲行毎月一回●南米行毎月二回●北米行毎月二回●南洋行毎月一回◎印一等旅客…

大阪商船株式會社仁川支店 電話一、二、一〇、五五

切符發賣取扱所 京城内國通運會社支店 電話七〇番 仁川京城通り 旅館 電話一六番 事務仲次 仁川太町 電話二八番 荷捌 仁川港町 電話四二番

三菱商事 仁川出入

往帆

尾道阪神行 長浦丸 十月 日入 十月 日出

三瓶山丸 月 日

鎮南浦行 大黑山丸 月 日入 月 日出

長浦丸 十月 日出 十月 日入

三菱商事株式會社船舶部 仁川代理店

稲葉醫院 平壌本町 電話七〇九番

漸く蒲團に有付いた東京の罹災民

頻々たる火事沙汰に 旋毛を曲げた警察部長
府民は大いに反省せよと ・火の用心論を高調

最近府內に出火が頻々として起るので馬野警察部長は大いに旋毛を曲げ此の際府民の自覺を促すべく左の如く火の用心を高調した

京城府民は今尚火災に對する自覺と反省とに乏しく、殆ど毎日の如く二三件の失火を見ない日はないと云ふ實況である、殊に去る八日の夜の如きは岡崎町、本町二丁目及櫻井町二丁目の三箇所に殆ど時を同じふして火を失し而も何れも府內の目抜の場所であつた關係上燒失戶數も亦從つて多額に上り、近來稀に見る大火となつたのである爾來僅に數日にして餘燼歇まざる內に十七日拂曉復々本町三丁目に火災を起し是亦相當多額の被害を生ぜしめたといふ事實があるのである

統計に據つて見ても京城府內に於ける火災損害は全鮮の約半に達し其額實に一ケ年百萬圓に上り京城府の經常歲入と略ぼ同額であるのである、而かも其の原因は殆んど悉く過失であつて之を大正十一年中の例に徵すると左表の通りである

失火二九九件▲放火八件▲雷及不審火四件▲計三一一件

即ち火災件數三百十一件中放火及落雷等に依るものは僅かに十二件で總數の約三分八厘餘にしか當らんのである

其失火の內でも溫突の焚火に原因するものが其最高を占め次は溫突の煙突受災の不始末其他吸殼類やストーブの殘火等が之れに亞ぐ實況である失火は申す迄もなく强盜や窃盜等の犯罪と異り消防手や警察官の力で之を防ぐ事は出來ぬのである失火が頻發するからと言ふて消防や警察の無能を叫び其存在を疑ふなど、謂つた所で夫れは大きにお門違ひと申すの他はないのである。自ら十分に防ぎ得るに拘らず不注意の結果火を失し獨り自宅のみならず、他人の家財道具まで燒燬しておきながら、警察や消防の惡口を謂ふが如きは實に言語同斷であると評するの他はない

警察官は毎日毎夜巡察の都度、溫突の焚火を注意し火氣の始末を促しつゝあるのである、巡査の注意を受けたる場合は餘儀なく始末をするが翌日再び行つて見ると、更に多量の薪を溫突の焚口に積み重ねて知らぬ顏をして居る事實は枚擧に遑ない程あるのである、如何に警察官が矢釜しく注意を促しても府民各自が自覺しなければ火災は永久に絕ゆる期はないと思ふ斯くては如何に消防の設備を充實し消防手の數を增加しても、府民が何時までも現在の如き無自覺の狀態に在つたのでは、徒らに經費倒れに終るに過ぎぬのである、愚劣と謂はんか、無神經と謂はんか、殆んど評する辭を知らぬ有樣である、失火にも刑罰がある、自分の家を燒くのは勝手だといふ樣な屁理屈は通用せぬのである。而かも斯く頻々として失火があり、加ふるに他家に累を及ぼすが如き場合は刑法の認むる極刑に處すべきである事と思ふ

今府民各位は先づ寢に就くに方り第一に火氣の始末如何を調べ次ぎに戶締りの如何を見たる後にあらざれば床に就かぬ訓練を遂ぐる事が何より大切であると思ふ今や火災期に入るに當み余輩は切に府民各位の自覺反省を促して歇まぬのである

蒸汽ポンプを 四五臺殖やす
道の消防擴張計畫 寄附を募集してでもやる積り

去る八日朝殆ど一齊に起つた火災で府民は幾分か防火と云ふことに注意するやうになつたが事實は反比例して大火後一夜一件か二件かあると云ふ調子であるので馬野警察部長は別項記載の如く府民に警告する處があつた亦當局としても消防の充實に全力を盡すことゝなつてゐる。『京城の消防は完全とは云はれぬ狀態であるので是非共これを充分なものにする決心である、只今五箇年計畫でやるつもりで府尹の諒解を得てゐるものは蒸汽ポンプを四五臺增加し其他附屬品等も揃へる方針になつてゐるがこれが實現すれば實に堂々たるものとなる、そして消防所を各警察署の如く獨立したる役所として所長には警視を置くことゝして只今の南大門の消防所を敦化門の前に移して、今の消防所の敗地に煉瓦建の消防所を建てることになつてゐる、それに義勇消防の方でも少し人數を殖す自論見である。これは確定した譯ではないが一日も早く實現させたいと思つてゐるが府の方で怎うしても出來ぬと云ふならば大銀行大會社とか亦は大商店から寄附金でも募つて其實現を期したいと思つてゐる次第である』と馬野警察部長は語つてゐた

皇后陛下行啓
十九日濟生會へ

皇后陛下には十九日午後一時御出門恩賜財團法人濟生會麴町分院、日本赤十字社本部產院、賛育會、財團法人濟生會駿河臺產院に行啓遊ばさる旨十七日仰出された（東京電報）

株式內氣配

[illegible]因つて創一段の高値を現はせるに至つたが昔は勿論大株に對する[illegible]かこれには軟派主力たる新田の今後の態度が其成行に多大の關係を[illegible]組に過ぎない是等は値の崩落に從ひ直に崩れも投げも現れ易いのであるが[illegible]派の機會待ちの買進みとに因つて相場はヂリ高歩調を辿り[illegible]取戰は相場が高値に移つて行くと云ふ丈け下押して人氣が緊張し現在の買方が其玉を都合よく整理[illegible]であると共に買方の態度が極めて重大なる關係を有するとせられて居る[illegible]軟派が腰を据へて賣り應して居る以上而して相場の運命が見越されて居る以上[illegible]を斷然に一段高に進むことになるであらうと見られて居るが昨今の大阪市場は[illegible]るに過ぎない狀態で目先大阪市場の活況は望み難い現狀で[illegible]

冬の衛生
外出する時 マスクは不要
誤つた素人の使用法
京城府衛生課長 加藤醫學士談

段々寒さに向ふ折柄咽喉を保護し傳染病を防ぐ爲めには必ず鼻から呼吸せねばならぬ、寒くなると餘計に鼻汁が出るのは自然の生理で鼻孔內の毛にベツトリと鼻汁が付いて居て塵埃を防いで空氣の濾過作用を行ふのである、又鼻から空氣を吸ひ込むと肺臟に至るまでの通路が長く且曲折が多いから空氣が熱に觸れる所が多いので乾燥した空氣にも水蒸氣を與へる事が出來る然るに口から吸ふと通路も短く面積も狹く塵埃なども止まる場所がない、從つて傳染病に侵され易いのである。所が流行感冒とか扁桃腺とか咽喉加答兒とか猩紅熱等の傳染病を防がんが爲めマスクを掛けるが此のマスクの掛け方に就て素人の考へは大に間違つて居る素人は外出する時マスクを掛け室內や車內に入つた場合はヤレ〳〵と云つた風にマスクを外すが之が抑もの間違ひである是等の傳染病は外では滅多に傳染するものではない屋外では假へ病菌があつても空氣中に擴散して仕舞ふから危險はないが室內や車內や狹い所が最も危險なのである。

先年京都市に於いて感冒大流行の際電車の運轉手や車掌に就いて調査して見た所が運轉手には極めて少かつたが車掌は大部罹つて居た之は何故であるかと言ふに運轉手は空氣には多く接するけれども客に接する度合は車掌の方が多いからである、即ち大氣中には病菌が少なく狹い車內に多いと云ふ證據である斯ふ云ふ次第であるから外出の時マスクを掛めるのは殆と無意味であるマスクに依つて塵埃を避けようとか空氣を濾過しやうとか云ふことは到底不可能の事で、マスクを掛めた爲め吸ひ込む空氣の量が不足する所から直接口を開けて呼吸する事になる、斯うなればマスクの效能どころの騷ぎでなく寧ろ害こそ多いのである、そんな餘計な用心などするよりも人間は人間らしく鼻から呼吸するのが最も自然で最も安全なのである、要するに口を結んで鼻から呼吸すれば大丈夫なんだ。

鮮人遭難者は 總持寺へ
警視廳では・合葬の意嚮

荒川放水路に埋られてあつた百餘名の內鮮人の白骨は十四日一先づ寺島の共同墓地に埋葬した警視廳の白神警務主事は朝鮮總督府及東京府と交渉して同共同墓地に內鮮遭難者の碑を建設して合葬を圖つたが朝鮮總督府では最近內地人と別に葬る事に略意見一致し東京市內在住鮮人中の有力者等と遺骨處置に就て協議を重ねた結果鮮人の遺骨は鶴見總持寺に埋葬すとの希望說最も有力となつたが警視廳では內鮮人全體の爲め飽までも合葬說を唱へて居るため兩者の主張一致せず未だに交渉を重ねつゝあるが警視廳當局は結局被服廠跡へでも合葬することにならうと語つた（東京時電）

御造營中の朝鮮神社
社殿の大部分は組立を終る
全部の竣工は明後年十月か 南山の大半が神域になる

總督府が大正七年以來十四年度まで八ケ年繼續總額百五十萬圓の豫定で御造營に著手した官幣大社朝鮮神社は工事區域六十萬坪の內下の廣場より中の廣場に至る間を除いた土工と第一から第三までの大鳥居造營とは全部工事を終り正殿瑞垣門、祝詞舍、拜殿、神庫、神符授與所等の組立及神饌所手水舍の基礎工事も既に終了を告げた爲め目下各社殿の屋根葺を急いで居り更に明年の春から明後年にかけては祭器庫、勅使館、社務所、神饌所等の工事と境內玉垣及下の廣場前の大鳥居を營造し全部の工事を終る豫定である尚內苑は僅々十萬坪外苑は十三萬坪で大南山の西半面は殆ど神社の境內となる都合であるが此の分で進めば明後年の十月頃には全部の仕事が終り十年の初めには鎭座祭も行はれることになるだらうと御造營事務所の一人は語つてゐた

御自作の童謠を 歌はれた德惠姫
日出小學校の學藝會

府內日出小學校では十七日午後一時半から同校講堂で秋季學藝會を開催した定刻司會者の挨拶がありプログラムに入り四年女生徒の『銀の月夜』に始まり、二年男生の『つみ木』は三人の子供達が仲よく遊んでゐる處に鬼の子供二人が飛出して惡戯をした後鬼が負かされ一緒に仲直りをして面白く遊ぶと云ふ筋なので父兄達は大喜び五年女生徒の獨唱『三人娘』は緩急に應じて高朗した聲調は滿場鳴りを靜め、數番の合唱、談話朗讀あり第二部の六『あべこべ學校』は滿場を笑はせ四年女生の合唱『ぴら』は同校四學年に御在學中の昌德宮德惠姫の御自作童謠を丸山物次郎氏が作曲したもので德惠姫を中心に十名の女生徒登壇、德惠姫は高らかに他の生徒と共に二節の歌詞をお歌ひになつた、續いて『雪やきりぎりす』の對話唱歌があり、午後四時散會したが來觀の父兄一千餘名講堂に溢れ非常な盛況であつた

此處を先途と死物狂ひ
最後の五分間に直面した各候補
到る處で物凄い白兵戰

府協議會員選擧期日も愈々あと一日となつた各候補者間の接觸も益々激しい所まで進行して火の出る樣な最後の一戰の幕が今に開かれむとしてゐる最後の五分間は此所だとばかり必死懸命の努力で殆ど起つて居ても濟まされぬ樣な緊張さを示してゐる、一方府當局では選擧當日の陣立として事務分擔の打合せ會を開き各係の事務範圍の說明及び注意を示して全く準備を整へたが各係は左の通り

庶務係、澤村事務官外七名
設備係 駒田建築技師外四名
會場取締係 長尾理事官外九名
入口受付係 柳府屬外二名
說明及豫備受付係長尾理事官外二十九名
會場內受付係 第一より第八に至る八組で各三名宛を配して居る
開票事務 澤村理事官外十三名
朗讀係 三組で七名
採點係 三組で各組八名宛
選擧錄の調製其他の事務は高島府屬外二名
用度係 眞野府屬外二名 以上

選擧の當日 滯納金を納付
すれば投票が出來る 但し領收証を携帶する事

府協議會員選擧期日の切迫するに隨ひ府財務課は事務益々多忙を極め長尾課長其他徵收係員の如きは多數殆ど休執務してゐる譯は府稅滯納者が選擧權を行使する爲滯納額を完納する者續出したると又中には有權者より自己滯納の有無を念の爲問合せする向多く係員は滯納額の收納其の他應接等の爲忙殺されてゐる狀況を呈してゐる滯納額收納事務は十九日午後四時を以て一應締め切り滯納處分執行中の故を以て選擧當日投票を爲さしめざる者に付いては十九日夜に名簿に夫々記入整理を爲すのであるが選擧當日に至りて滯納額を完納する向に對しても其領收證を選擧會場に携帶し立證するに於ては投票を爲し得るのであると

鮮人青年會館 再建計畫
八萬圓の豫算

神田區內にある朝鮮人の基督青年會館支那人の基督青年會館內地人の基督青年會館は共に今回の震災に丸燒となつた元より此三會館は何れも亞米利加人から寄附されたものであるが今回も其新築方を米國へ懇請中で日本人の基督青年會館では既に設計書を送つたそうである朝鮮人の會館も同じく新築費八萬圓の設計書を送ることに數日前教會の幹部呉其善以下數人協議の上決定したそうである其新築會館の位置は未だ定まつて居ない八萬圓の設計が無事承諾されゝば元の會館よりは一層高くなる筈であるそうして目下は先づ以てバラックを元の處へ建て教會堂に充てる計畫である（東京特電）

新築青年會館 開會式
二十三日擧行

豫て新築工事中であつた太平通り二丁目の京城基督教青年會館は愈々二十日を以て竣工するので今回創立十五週年記念會を兼ね二十三日午後二時から新築會館に於て開館式を擧げることになつた、當日は石川正氏司會の下に青年會員聖歌隊の讚美歌『聖きかな』があり笠谷幹事聖書を朗讀し、秋月牧師祈禱をなし杉本氏『京城基督教青年會十五年の歷史』に就て口演し齋藤忠郎氏工事を報告し丹羽總務開館の辭を述べ再び音樂隊の讚美歌『榮光堂に入る』を奏し來賓祝辭の後三たび讚美歌『主をたゝへん』を奏し三井理事の挨拶で式を閉ぢることになつてゐる

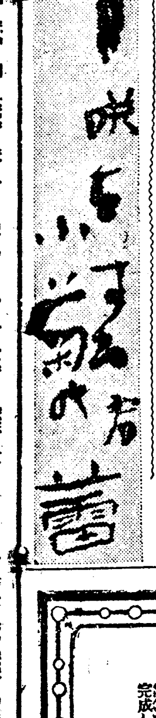
飛行家安君
明春東上する

目下論山郡松洞二一三實姉[illegible]方に同居してゐる飛行家安昌男君は東京震災以來空よりも地上を恐れて東京には住かぬと震へてゐたが復興の東京が耳に入つてそろ〳〵武藏野を俯瞰する愉快が慕はしくなり明春東上する事に宙返りし此頃

女學生の五哩マラソン
十七日仁川高女で擧行
記錄は五十二分四十秒

仁川高等女學校では十七日百六十名の生徒を八組に分け先發は九時五十分スタートを切り引續き二分間毎に校門出發月尾島迂廻長距離（五哩）徒歩競走を試みたが第一著生の所要時間は五十二分四十秒昨年の五十五分五十秒より三分早く新記錄を作つた藤田教諭は語る「校門出發後幸町を經て萬石町から外人墓地を迂廻して花房町海岸線に沿ひ突堤を通過月尾島を右廻して亦元の途筋に出るのであるが毎年秋季決行してゐるので成績は至極いゝ目的が長距離徒歩競技と云ふよりも健脚を試練するので早著を主眼としてゐない所謂自由徒歩で今後時々行つて見たいものだと思つてゐる」と

▲一著要甲（四年）▲二著根本（三年）▲三著山本（二年）▲池田四著（二年）▲中本五著（二年）



碧梧桐さん歡迎會
十七日午後靜陽軒の清興 こゝでも亦揮毫攻め

河東碧梧桐氏の歡迎會は十七日午後四時から鷺谷の靜陽軒で催された。烏堂、虎耳、眞敏、鳳三其他ほんとうに氏を理解する二十幾名のあつまりであるだけに他の何れにも見られない打解けかた。漸く興を覺ゆる頃、硯を運び出される此日朝からの揮毫攻めに疲れきつてゐるにも拘らず氏は莞爾として筆を執る。

水仙に水させば我明か也
毛を刈る馬が寐てやすんどる
走り咲きをする小菊の蕾
ペーチカうんと焚き込んだ顏しる

書けども〳〵果てしがない。氏は遂に筆を投げたそして更に暫らく寛ぎ語り合つたのち十時頃散會したが折角の機會にしみじみ句作する暇のなかつたのは殘念であつた

講道館の 柔道大會
なか〳〵の壯觀

府內黃金町二丁目講道館支部で十八日午後一時より秋季柔道大會を開催した出場選手は京中、龍中、京師、水原高農、高工、高商等の中等專門學校を始め警察官講習所各警察署、武術會、鮮銀の粒選りで定刻前より道場に詰かけてゐたが軈て定刻となるや河津、倉田、岡野、吉武、片岡氏交々審判の下に劈頭幼年組の三本勝負より開始され各選手は孰れも四股を鳴らし肉彈相搏つ壯觀に片唾を呑んで居た續いて紅白勝負に入るや益々白熱化して勝負毎に雷の如き拍手を浴せかけ最後に有段者十組の試合があつた

活動館で掏摸

當時住所不定金鍾命（二七）は十七日晚府內貫鐵洞優美館で某鮮人の懷より現金八圓在中の財布を掏摸取逃走する所を西大門署刑事に逮捕された

青葉町の 火事は放火
犯人嚴探中

去る十三日午後十一時三十分頃龍山青葉町三の三番地雜貨商許興西方の小火は所轄龍山署で實地檢證の結果同家の屋根は軒際より地上まで約六尺の高さで道路に面して居るが煙突はなく軒下に燃殘りのマツチが棄てゝあつた點より何者かゞ放火したものに相違なく犯人を搜索して居ると

商議選擧と龍山
・出馬の噂のある人々 松本彌三君だけは既に決定

府協議員の改選に次いで直ぐ行はれる商業會議所議員の改選に出馬する候補者もそろ〳〵動き始めた龍山方面では松本彌三氏が二級から立候補する事が十六日夜某所で開かれた有志會合の上決定した尚藤田安之進氏も二級より出馬する計畫があるが新龍山でも三角地附近では既に二級候補者を物色し第一候補に椋木氏第二候補に田川常次郎氏を推擧して居り、又山崎新氏も二級より起つだらうと觀測せられて居る或は府議改選當時の混戰を見るやも知れず現在では松本彌三氏の出馬丈けは確實である

高陽郡の 强盜殺人
人蔘畑の慘劇

十七日午後十一時頃高陽郡元堂面の人里離れた人蔘畑で强盜殺人事件が突發した、同時刻頃同面食寺里の人蔘畑に二名の賊が現れて畑を荒し人蔘を强奪逃走する所を折惡く番人の李根守（三〇）に發見された、李根守は曲者の逃走するのを見て直に追跡し人蔘畑西側の堤防で上になり下になつて大格鬪を續ける內李根守は二名の賊の爲に[illegible]となり遂に殺害された、急報に依り所轄一山署では直に係官が現場に出張檢視すると共に非常線を張り犯人搜索中である尚現場附近に朝鮮木綿一尺が遺棄してあるを唯一の索線として引續き活動中

▲神經を鎭めて冷靜に働け▲

現代の如く複雜な社會狀態では一般の男女が頭腦を刺戟する事が劇しいので其結果神經衰弱症の人は頗る多い是が原因から神經過敏、心悸亢進或は不眠等を來すが可成り苦しいものである、治療するには攝生を保ち根本原因を去ると共に鎭靜劑を用ひたが能い、鎭靜劑には品に依つて副作用や危險な藥があるから素人では見當が付かぬが獨逸のアダリン錠〇、一瓦のものは普通藥で危險がなく分量も間違はず最も適した鎭靜催眠劑である、バイエルから賣出てゐる。

準禁治產公告

京城府觀水洞四六番地 金世元 明治三十七年十月十五日生

京城府長沙洞二一八番地金昌鉉ノ申立ニ依リ當院ハ前記金世元ヲ浪費者ト認メ準禁治產者ト宣告ス

大正十二年十一月一日 京城地方法院

中風と腦病

中風又は腦病にて半身不隨言語もつれ步行困難或は腦が痛み便秘がちに夜眠られず困難の方は二錢封入申込あれば懇くヨクキク新發見家庭治療法無代送附す

兵庫縣尼ケ崎市 東南新藥研究所

鼻耳內服藥 チクノール 蓄膿症……肥厚性鼻炎

等難病も短時日の內服で治し腦神經衰弱にも卓效あり

鼻昇

價十日分三圓五十錢、廿日分六圓五十錢送料四十錢新聞名記入申込者に「鼻耳の衛生書」服用者實驗「狀集」無代進呈

製造發賣元 東京西巢鴨宮仲二六六八 三鱗製藥社 振替東京四一二六番

朝鮮代理店 京城本町二丁目 山岸天佑堂 振替京城二〇三番

類似品續出チクノールの名稱御注意

最新刊

沖野岩三郎著 白路を見つめて 一、九〇

山本文三著 大地 一、五〇

大杉榮著 日本脫出記 一、六〇

諏訪德太郎著 地震の智識 一、九〇

水木梢著 教育教授の高等批評 三、〇〇

朝鮮史學會 朝鮮史講座（第二號） 一、〇〇

振替京城二五七三 大阪屋號書店 電話本局 六八四、二〇、八六

資本金 壹千五百萬圓

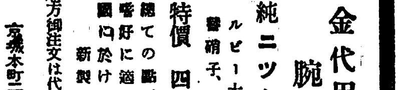
積立金繰越金 貳百拾六萬圓

株式會社十八銀行京城支店 京城府黃金町二丁目 電話本局六〇一、八番 振替貯金口座京城一〇四番

同 新龍山支店 京城府漢江通り十三番地 電話龍山五五〇番 振替口座京城一八三三番

同 龍山出張所 京城府元町二丁目 電話龍山一八番

銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候



白金代用最高級 腕卷時計

純ニツケル型無地

ルビー十五石最上器械 硝子、舶來リボン、箱付

特價 四拾五圓

總ての點が最も現代の嗜好に適せるスイス本國に於ける新製品です

地方御注文は代金引替に送ります

京城本町二 村木時計店 長電四〇七番 振京三〇九〇

咲良喜の文化施設

一 宴會の廣間も小間も『スチーム』の設備あり溫暖心地よきこと此上無し

一 料理は時代文化に順應し美味滋養實質本位

御宴會は特に勉强薄利安値

『スチーム』は毎日焚いて居ります

咲良喜 旭町二丁目電話本局一八二八番

花柳病物語

世に花柳病程恐る可きものはない、可惜有爲の才を抱きながら、本病の爲めに顏色は蒼白に變り、頭腦又明晰を欠き、輕症は神經衰弱に、重症は不具の身となりて再び活動し能はざるに至る。

一 淋病や梅毒に苦む方は、一刻も早く信用ある製藥會社の藥を選んで、速に此厭ふべき亡國病を滅し、其苦痛から遁れる事が急務である

二 東洋第一の我が星製藥株式會社は、國家的衛生の見地より、下記の如き權威ある理想的治療豫防藥の研究を完成して、之れを發賣す。

梅毒 內服藥 ホシサヨリン 五拾錢 一圓 二圓

淋病 內服藥 ホシゴノール 五拾錢 一圓 二圓

淋病 注入藥 ホシズルファミン 五拾錢 一圓

花柳病 消毒藥 ホシサンテ 卅錢 五拾錢

東京大崎 星製藥株式會社 各地特約店にあり